

---

---

# 武蔵野市子どもの読書活動に関する調査

---

---

## <報告書>

令和2（2020）年3月

武 蔵 野 市



# 目 次

調査の概要	2
第1章 小学3年生調査	3
1 回答児童の属性	4
2 調査結果	5
(1) 読書の状況	5
(2) スマートフォン・タブレットと読書・調べもの	9
(3) 家庭・学校の読書環境	11
(4) 市立図書館の認知と利用	14
(5) 読書の動機付け指導	17
第2章 小学5年生・中学2年生調査	19
1 回答児童生徒の属性	20
2 調査結果	21
(1) 読書の状況	21
(2) スマートフォン・タブレットと読書・調べもの	28
(3) 家庭・学校の読書環境	31
(4) 市立図書館の認知と利用	39
(5) 読書の動機づけ指導	47
(6) 読書冊数と読書内容の変化<中2のみ>	51
(7) 電子書籍・インターネット上の小説の閲読状況<中2のみ>	54
第3章 保護者調査	57
1 回答者の属性	58
2 調査結果	59
(1) 子どもの読書状況	59
(2) 保護者自身の読書状況	62
(3) 読書に関する子どもへの働きかけ	64
(4) 武蔵野市による子ども読書推進活動に対する保護者の意識	66
第4章 4つの調査の横断分析	71
1 回答者属性	72
2 調査結果	73
(1) 読書の状況	73
(2) 子どもにとっての読書	75
(3) 子どもの読書を促進する環境	77
(4) 調べものをする時の本とインターネットの使い分け	84
(5) 市立図書館の利用状況	85
(6) 武蔵野市による子ども読書推進活動の効果	87

# 調査の概要

## 【調査の目的】

平成 23 年度に策定した武蔵野市子ども読書活動推進計画の見直しを行うにあたり、市内の小学 3・5 年生、中学 2 年生の読書状況等を把握するとともに、児童・生徒の保護者の読み聞かせ状況等を把握することを目的として実施した。

## 【調査対象】

- ①武蔵野市内の児童生徒（小学 3・5 年生、中学 2 年生）
- ②武蔵野市内の小学 3・5 年生、中学 2 年生の保護者

## 【調査方法】

各学校を通して配付、回収

## 【調査期間】

平成 30（2019）年 10 月

## 【回収結果】

	児童生徒				保護者			
	計	小学 3 年生	小学 5 年生	中学 2 年生	計	小学 3 年生保護者	小学 5 年生保護者	中学 2 年生保護者
配布数								
有効回収数	894	348	367	179	782	310	324	148
回答率								

## 【小学校の内訳】

第一小学校  
第二小学校  
第三小学校  
第四小学校  
第五小学校  
大野田小学校

境南小学校  
本宿小学校  
千川小学校  
井之頭小学校  
関前南小学校  
桜野小学校

## 【中学校の内訳】

第一中学校  
第二中学校  
第三中学校  
第四中学校  
第五中学校  
第六中学校

---

## 第 1 章 小学 3 年生調査

---

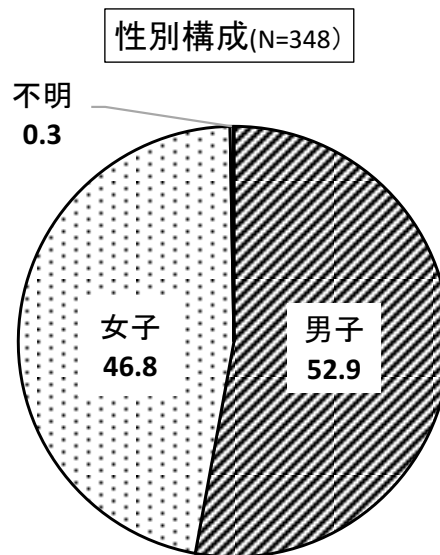
# 1 回答児童の属性

## ◆学校別構成

	全体	第一小	第二小	第三小	第四小	第五小	大野田小
回答件数	348	35	25	31	30	28	31
構成比	100.0	10.1	7.2	8.9	8.6	8.0	8.9

境南小	本宿小	千川小	井之頭小	関前南小	桜野小
28	33	20	28	25	34
8.0	9.5	5.7	8.0	7.2	9.8

## ◆性別構成



## 2 調査結果

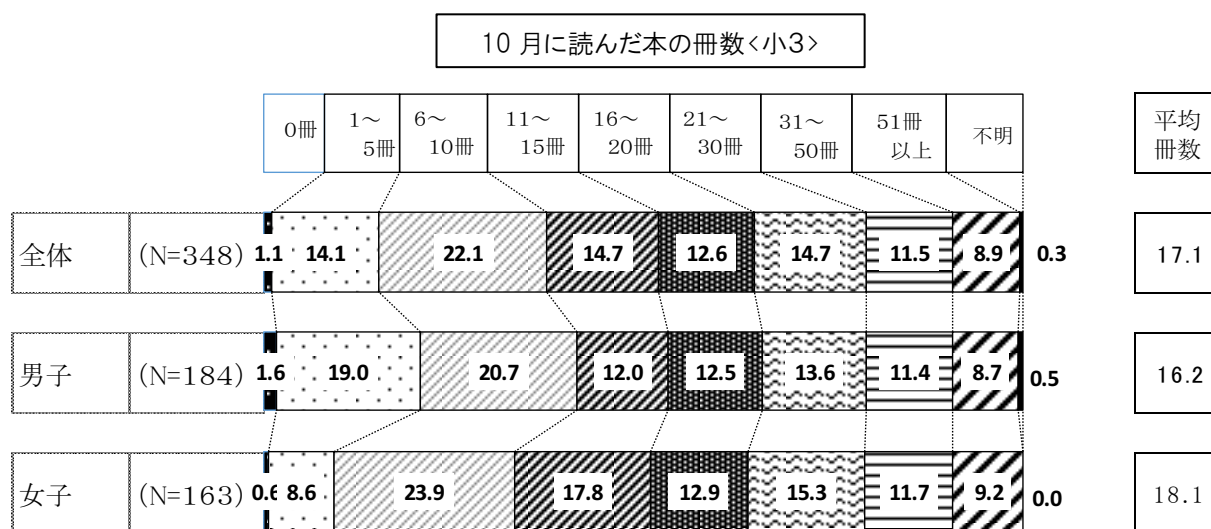
### (1) 読書の状況

#### ①10月1カ月の間に読んだ本の冊数<小3>

問3 あなたは10月1カ月のあいだに、本を何冊ぐらい読みましたか。

調査直近時期の10月1カ月の読書冊数は「6～10冊」が最も多く22.1%、ついで「0～5冊」「16～20冊」「31～50冊」が15%前後で続いている。平均読書冊数は17.1冊であった。

性別では、男子は「0～5冊」と「6～10冊」がともに20.7%で、合わせると10冊以内が41.4%と4割を占める。一方、女子は「16～20冊」(17.8%)、「21～30冊」(12.9%)、「31～50冊」(15.3%)の合計が46.0%となっており、全体に女子の読書冊数の方が多い。平均冊数も男子の16.2冊に対し女子は18.1冊になっている。



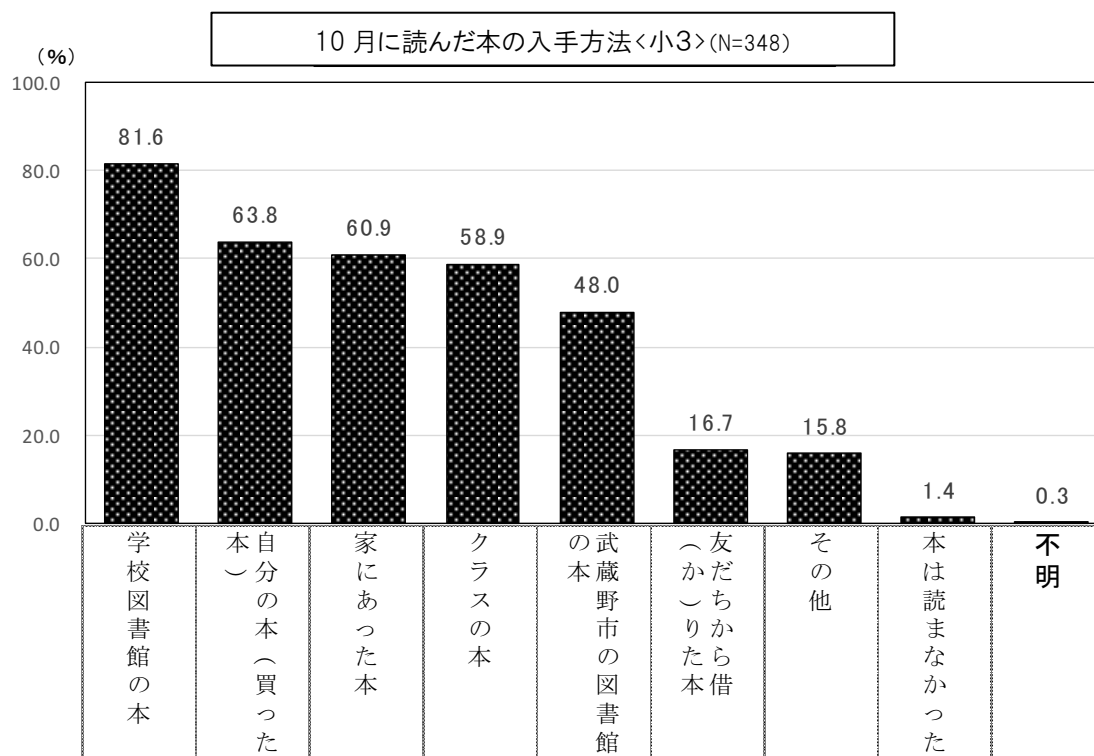
注: 51冊以上は異常値として平均冊数算出から除外

## ②10月に読んだ本の入手方法<小3>

問4 問3の本は、どのような本ですか。(あてはまるものすべてに○)

10月に読んだ本の入手方法では「学校図書館の本」が81.6%ともっとも高く、ついで「自分の本(買った本)」「家にあった本」「クラスの本」が60%前後で続く。

先の(1)で見たように女子の方が読書冊数が多いためか、いずれの入手方法においても女子が男子を上回っている。特に「武蔵野市の図書館の本」では、男子の39.1%に比べ女子は57.7%と、18.6%の差がみられる。



性別:10月に読んだ本の入手方法<小3>

		(%)								
		学校図書館の本	自分の本(買った本)	家にあった本	クラスの本	武蔵野市の図書館の本	友だちから借りた本	その他	本は読まなかった	不明
全体	(N=348)	81.6	63.8	60.9	58.9	48.0	16.7	15.8	1.4	0.3
男子	(N=184)	78.3	60.3	56.5	55.4	39.1	12.0	18.5	2.2	0.0
女子	(N=163)	85.3	67.5	65.6	63.2	57.7	22.1	12.9	0.6	0.6

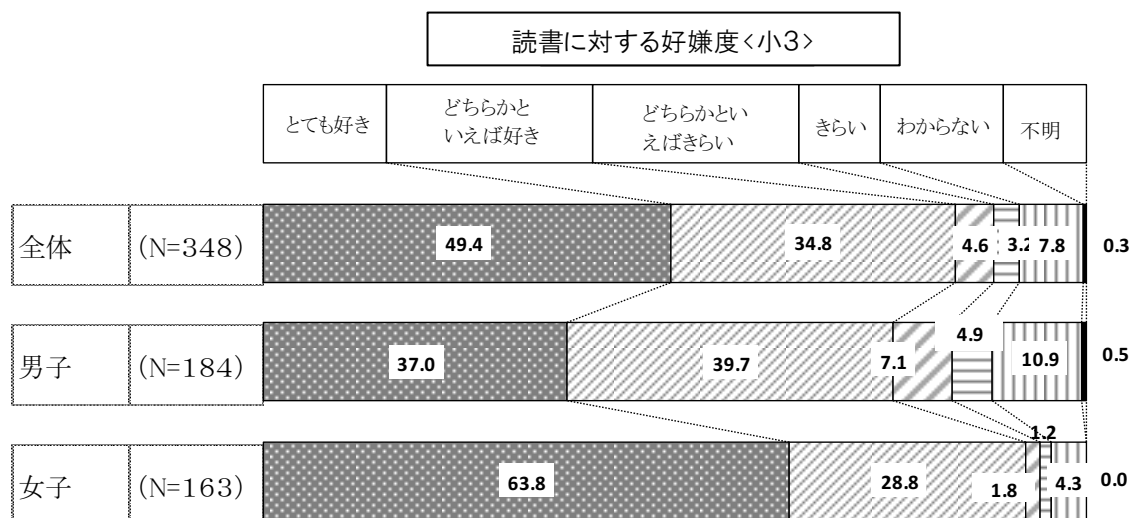


### ③読書に対する好嫌度<小3>

問5 あなたは読書が好きですか。(○印1つ)

読書に対しては、全体の半数にあたる 49.4%が「とても好き」と回答し、「どちらかといえば好き」の 34.8%を合わせると 84.2%が「好き」としている。

性別では、女子は「とても好き」が 63.8%で、男子の 37.0%を大きく上回っている。「とても好き」と「どちらかといえば好き」をあわせた「好き」は、女子の 92.6%に対して男子は 76.7%であり、女子の方が読書に好感を持つ比率が高い。

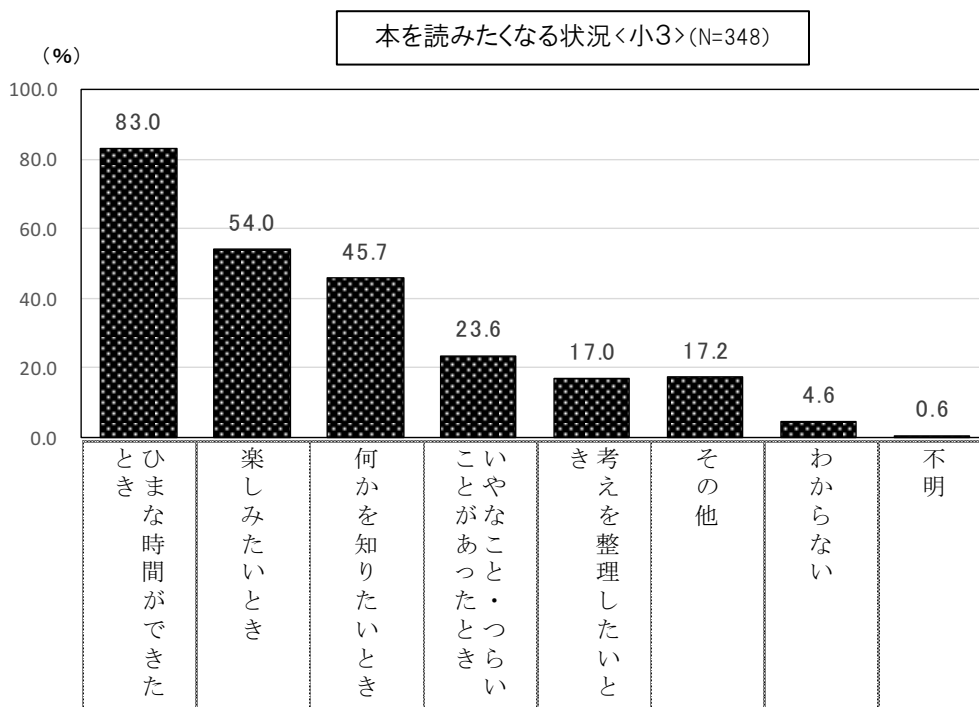


#### ④本を読みたくなる状況<小3>

問6 あなたはどんなときに本を読みたくなりますか。(あてはまるものすべてに○)

本を読みたくなるのは「ひまな時間ができたとき」が83.0%ともっとも高く、ついで「楽しみたいとき」が54.0%、「何かを知りたいとき」が45.7%と、5割前後となっている。

性別では、女子は「ひまな時間ができたとき」の91.4%を最高に、「楽しみたいとき」が63.2%、「いやなこと・つらいことがあったとき」が32.5%と、いずれも男子に比べて17ポイントほど高く、女子の方が様々な機会に本と親しんでいる。



性別:本を読みたくなる状況<小3>

(%)

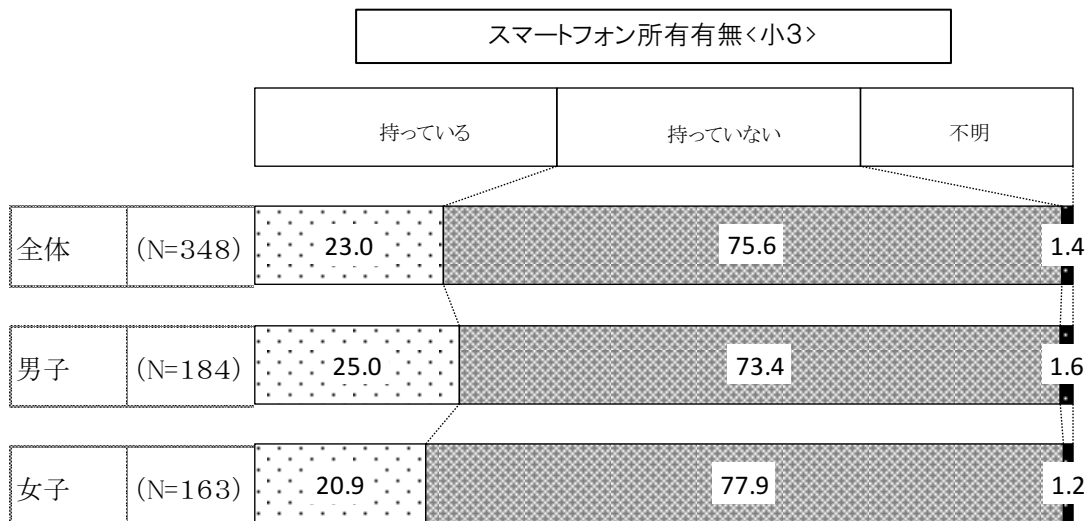
		ひまな時間ができたとき	楽しみたいとき	何かを知りたいとき	いやなこと・つらいことがあったとき	考えを整理したいとき	その他	わからない	不明
全体	(N=348)	83.0	54.0	45.7	23.6	17.0	17.2	4.6	0.6
男子	(N=184)	75.5	46.2	45.7	15.8	16.3	16.8	7.1	0.5
女子	(N=163)	91.4	63.2	45.4	32.5	17.8	17.8	1.8	0.6

## (2) スマートフォン・タブレットと読書・調べもの

### ①自分自身のスマートフォン所有有無<小3>

問7 あなたは、あなた自身のスマートフォンを持っていますか。(○印1つ)

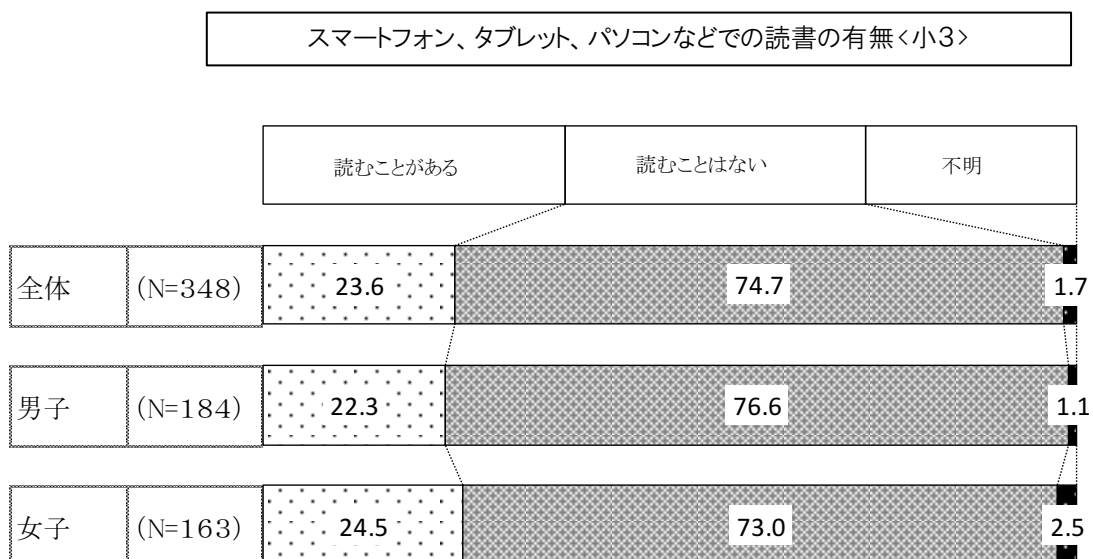
自分自身のスマートフォンの所有は 23.0%と4人にひとりとなっている。  
性別では、男子が 25.0%、女子が 20.9%とわずかであるが男子が多い。



### ②スマートフォン、タブレット、パソコン等での読書の有無<小3>

問8 あなたはスマートフォン、タブレット、パソコンなどで本を読むことがありますか。(○印1つ)

スマートフォン、タブレット、パソコンなどで読書をする児童は 23.6%とほぼ4人にひとりとなっている。  
男女の間で差はあまり見られない。

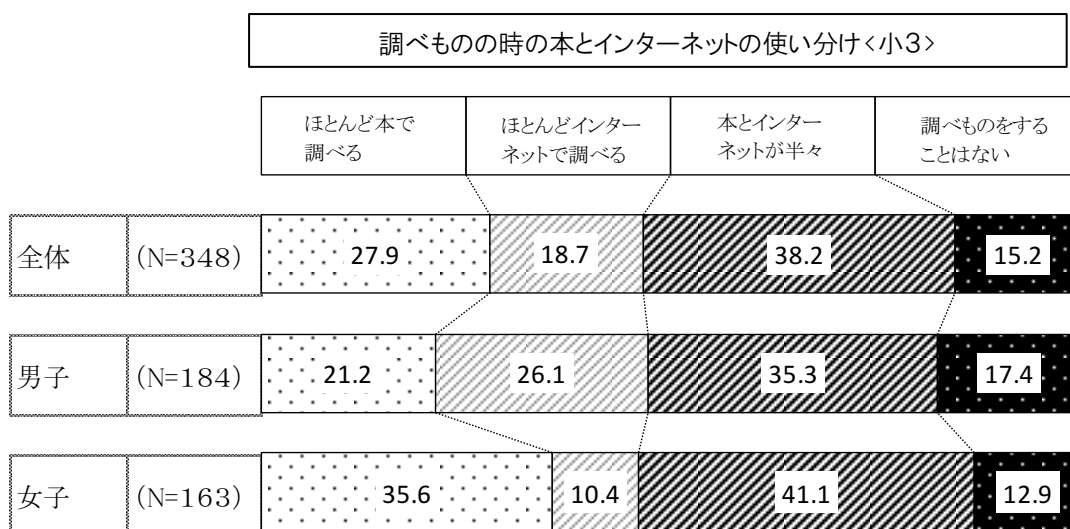


### ③調べものの時の本とインターネットの使い分け<小3>

問9 あなたは本やインターネットで調べものをすることがありますか。(○印1つ)

調べものをする時の本とインターネットの使用状況を見ると、「本とインターネットが半々」が 38.2%でもっとも高く、ついで「ほとんど本で調べる」が 27.9%で続く。「ほとんどインターネットで調べる」は 18.7%で、どちらかといえば本で調べる方が多い。

性別では、男子は「ほとんどインターネット」が女子に比べ16ポイント高く、女子は「ほとんど本で調べる」が男子に比べ14ポイント以上高い。男子はインターネット傾向にあり、女子は本で調べものをする傾向にあることがわかる。



### (3) 家庭・学校の読書環境

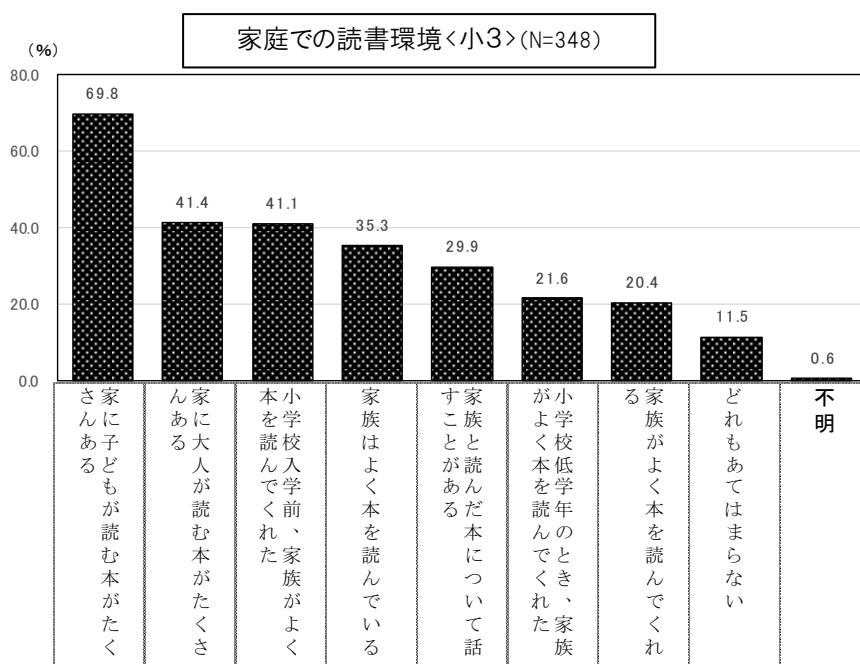
#### ①家庭での読書環境<小3>

問 10 家での読書について、あなたに近いものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

家庭での読書環境をみると、「家に子どもが読む本がたくさんある」(69.8%)が最も多く、他の項目を30ポイントほど引き離している。ついで「家に大人が読む本がたくさんある」(41.4%)、「小学入学前、家族がよく本を読んできた」(41.1%)、「家族はよく本を読んでいる」(35.3%)が続く。

いずれの項目も男子より女子の方が高く、特に「家に子どもが読む本がたくさんある」は男子は60.9%に対して女子は79.8%と、女子が19ポイント高くなっている。

読書環境(項目)別に平均読書冊数をみると、全体では「家族と読んだ本について話すことがある」が平均22.3冊でもっとも多く、ついで「家族はよく本を読んでいる」が21.2冊となっている。



#### 性別:家庭での読書環境<小3>

		性別:家庭での読書環境<小3> (%)								
		家に子どもが読む本がたくさんある	家に大人が読む本がたくさんある	小学入学前、家族がよく本を読んできた	家族はよく本を読んでいる	家族と読んだ本について話すことがある	小学校低学年のとき、家族がよく本を読んできた	家族がよく本を読んできた	どれもあてはまらない	不明
全体	(N=348)	69.8	41.4	41.1	35.3	29.9	21.6	20.4	11.5	0.6
男子	(N=184)	60.9	40.8	35.3	31.5	27.7	19.0	20.1	18.5	0.5
女子	(N=163)	79.8	42.3	47.2	39.9	32.5	24.5	20.9	3.7	0.6

家庭での読書環境別：10月1か月の間に読んだ本の平均冊数<小3>

(冊)

		全 体	さん ある	家 に あ る	家 に 大 人 が 読 む 本 が た く さ	小 学 校 入 学 前 、 家 族 が よ く 本 を 読 ん で く れ た	家 族 は よ く 本 を 読 ん で い る	家 族 と 読 ん だ 本 に つ い て 話 す こ と が あ る	小 学 校 低 学 年 の と き 、 家 族 が よ く 本 を 読 ん で く れ た	家 族 が よ く 本 を 読 ん で く れ る	ど れ も あ て は ま ら な い	不 明
全体	(N=348)	17.1	18.9	18.6	19.8	21.2	22.3	17.2	20.9	9.9	8.5	
男子	(N=184)	16.2	17.9	17.2	19.6	19.3	22.7	18.0	20.9	9.8	7.0	
女子	(N=163)	18.1	19.6	20.3	19.8	22.8	21.9	18.2	20.8	10.7	10.0	

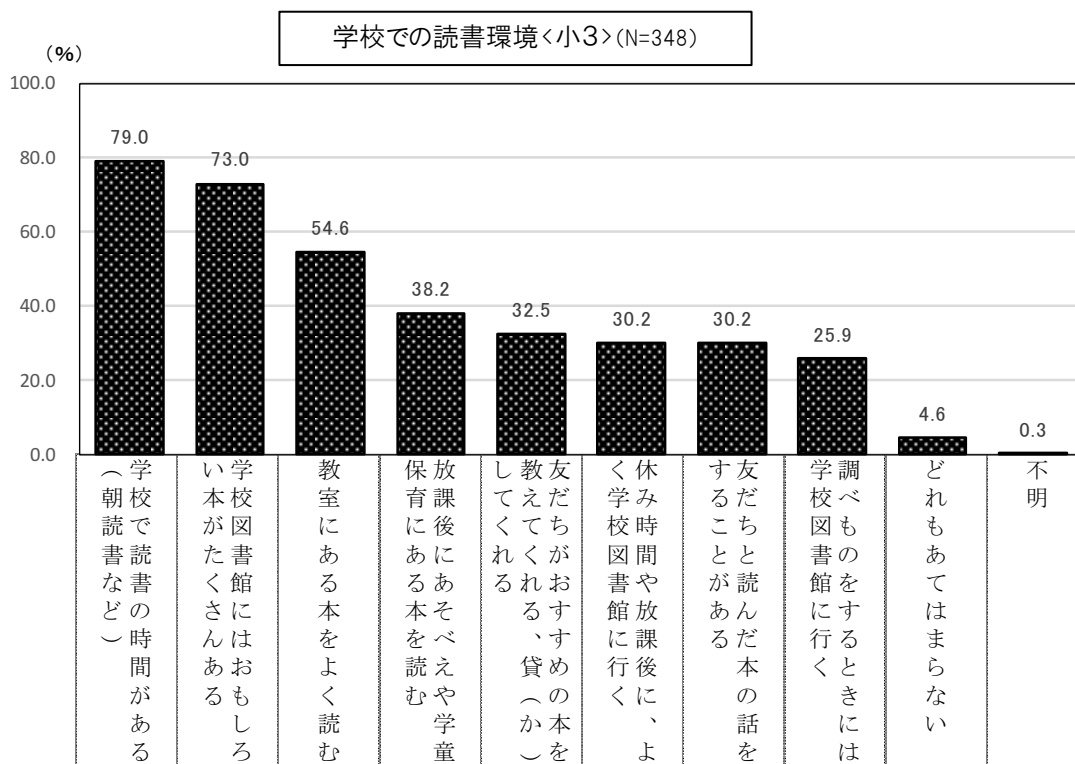
※51冊以上は異常値として平均冊数算出から除外

## ② 学校での読書環境<小3>

問 11 学校での読書について、あなたに近いものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

学校での読書については、「学校で読書の時間がある」が 79.0%でもっとも高く、ついで「学校図書館にはおもしろい本がある」(73.0%)、「教室にある本をよく読む」(54.6%)が続く。

性別では、「放課後にあそべえや学童保育にある本を読む」が男女ほぼ同じ割合である他は、いずれの項目も女子の方が高く、中でも「学校図書館にはおもしろい本がある」は、女子の方が男子より16ポイント高い。「友だちがおすすめの本を教えてくれる、貸してくれる」、「学校で読書の時間がある」、「友だちと読んだ本の話をする事がある」も女子の方が 10～13 ポイント高くなっている。



性別:学校での読書環境<小3>

		(%)									
		学校で読書の時間がある(朝読書など)	学校図書館にはおもしろい本がたくさんある	教室にある本をよく読む	放課後にあそべえや学童保育にある本を読む	友だちがおすすめの本を貸してくれる(か)	休み時間や放課後に、学校図書館に行く	友だちと読んだ本の話をする事がある	調べものをするときには学校図書館に行く	どれもあてはまらない	不明
全体	(N=348)	79.0	73.0	54.6	38.2	32.5	30.2	30.2	25.9	4.6	0.3
男子	(N=184)	72.8	65.2	51.6	38.6	26.1	25.5	25.0	21.7	7.1	0.0
女子	(N=163)	85.9	81.6	58.3	37.4	39.9	35.0	36.2	30.7	1.8	0.6

## (4) 市立図書館の認知と利用

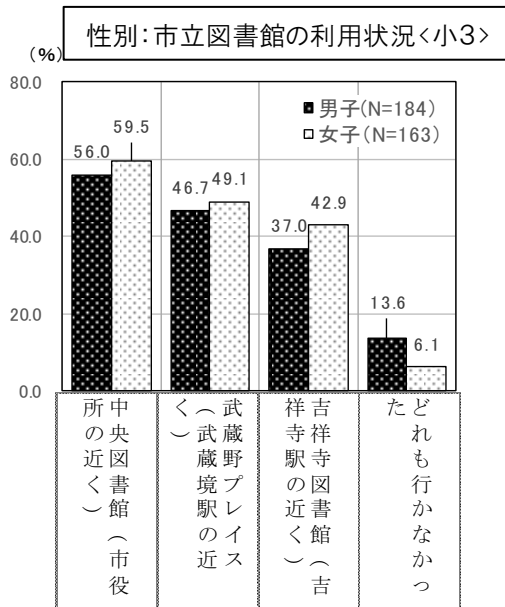
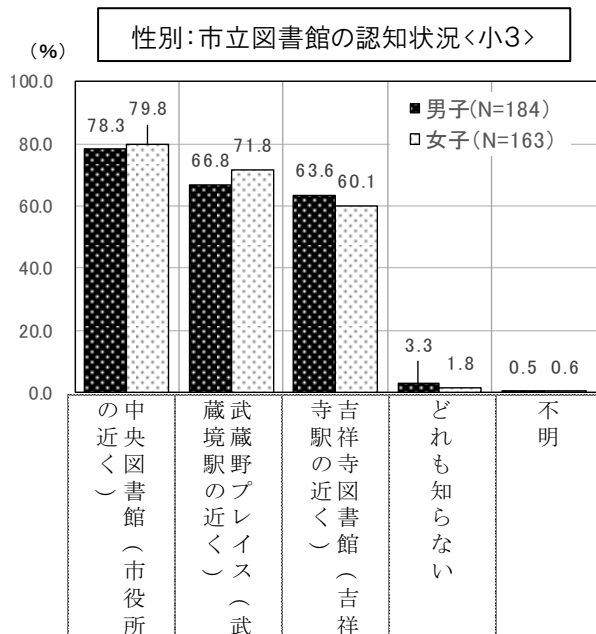
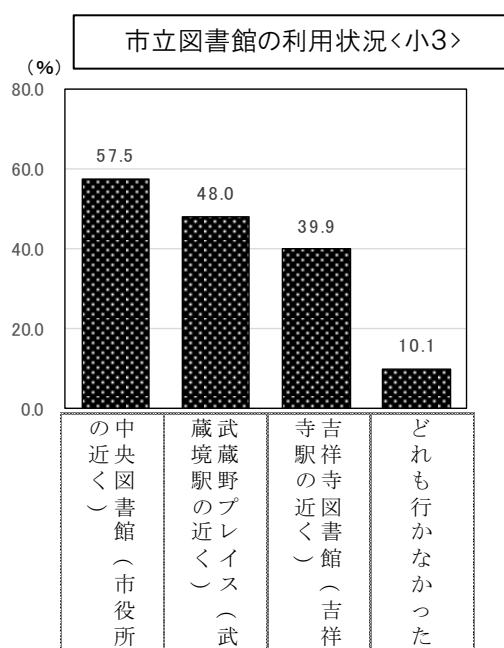
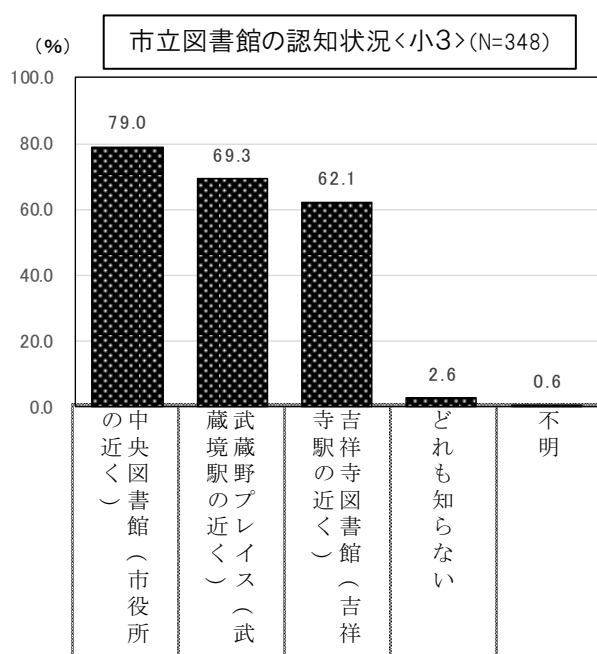
### ① 市立図書館の認知と利用状況<小3>

問 12 あなたはどの市立図書館を知っていますか。(知っているものすべてに○)

問 14 あなたはこの1年間に、市立図書館に行きましたか。(行ったことがあるものすべてに○)

認知では「中央図書館」が79.0%でもっとも高く、ついで「武蔵野プレイス」(69.3%)、「吉祥寺図書館」(62.1%)が続く。「どれも知らない」は2.6%にとどまり、ほぼ全ての小学3年生が3つの図書館のいずれかを認知している。性別による大きな差異は見られなかった。

利用状況も、認知と同じく「中央図書館」が57.5%でもっとも高く、「武蔵野プレイス」(48.0%)、「吉祥寺図書館」(39.9%)の順となっている。性別では、男子に比べ女子の方がやや高い傾向にある。



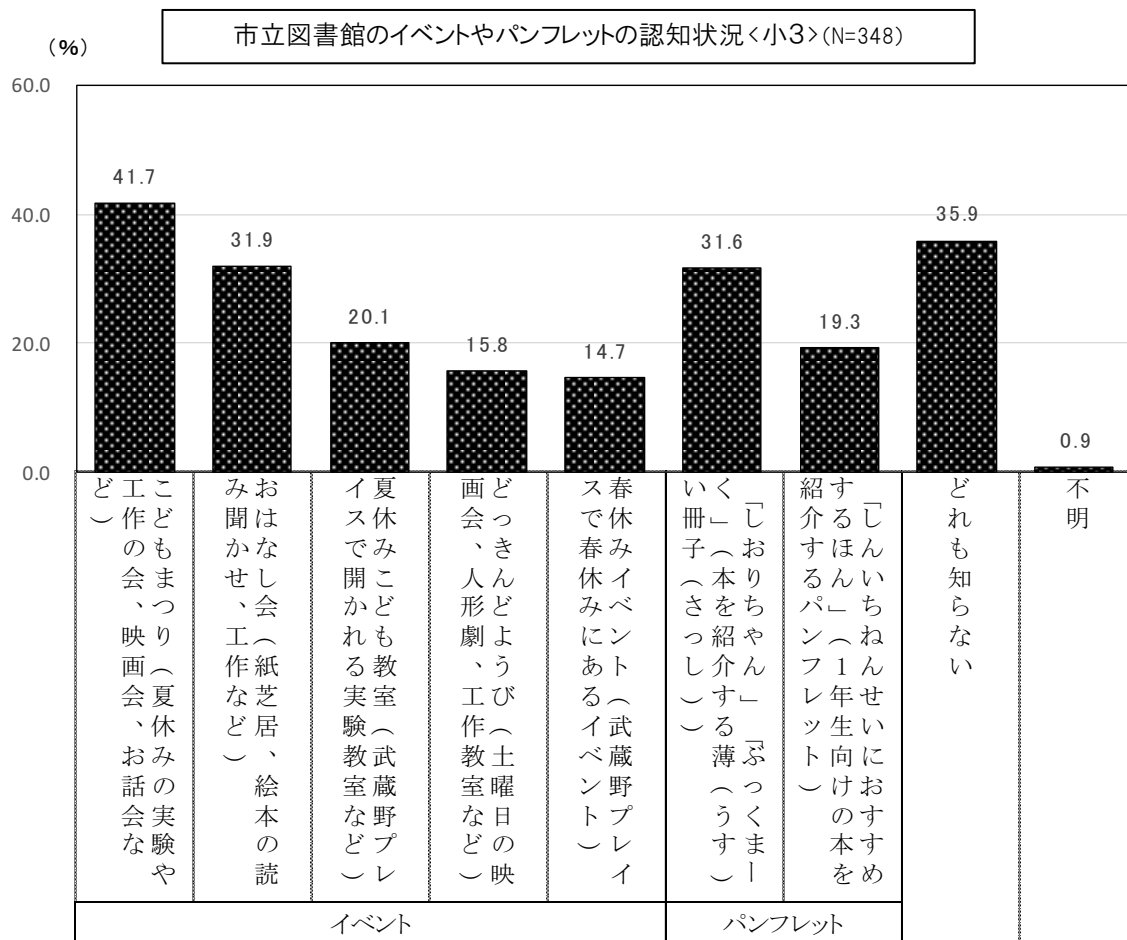


## ②市立図書館のイベント・パンフレットの認知<小3>

問 13 市立図書館のイベントや配っているパンフレットなどで、知っているものはどれですか。  
(知っているものすべてに○)

市立図書館のイベント・パンフレットの中でもっとも認知が高いのは「こどもまつり」(41.7%)であった。ついで、「おはなし会」(31.9%)とパンフレットの『「しおおりちゃん」「ぶっくまーく」』(31.6%)が 31%台で続く。「どれも知らない」は 35.9%であった。

性別では、女子で全体に認知が高く、特に「こどもまつり」(44.8%)、『「しおおりちゃん」「ぶっくまーく」』(40.5%)、「おはなし会」(39.3%)はいずれも4割前後となっている。一方、男子では「こどもまつり」が 38.6%であった一方で、「どれも知らない」(44.6%)が女子の 26.4%を 18.2ポイント上回っている。



性別：市立図書館のイベントやパンフレットの認知状況<小3>

		イベント					パンフレット			どれも知らない	不明
		子どもまつり（夏休みの実験や工作など）	おはなし会（紙芝居、絵本の読み聞かせ、工作など）	夏休み子ども実験教室（武蔵野プレイステーション）	どつきんどよび（土曜日の映画会、人形劇、工作教室など）	春休みイベント（武蔵野プレイステーション）	冊子（本を紹介する薄）	「しんいちねんせい」の紹介	「しんいちねんせい」の紹介		
全体	(N=348)	41.7	31.9	20.1	15.8	14.7	31.6	19.3	35.9	0.9	
男子	(N=184)	38.6	25.0	20.7	8.7	14.7	23.4	17.9	44.6	1.1	
女子	(N=163)	44.8	39.3	19.6	23.9	14.7	40.5	20.9	26.4	0.6	

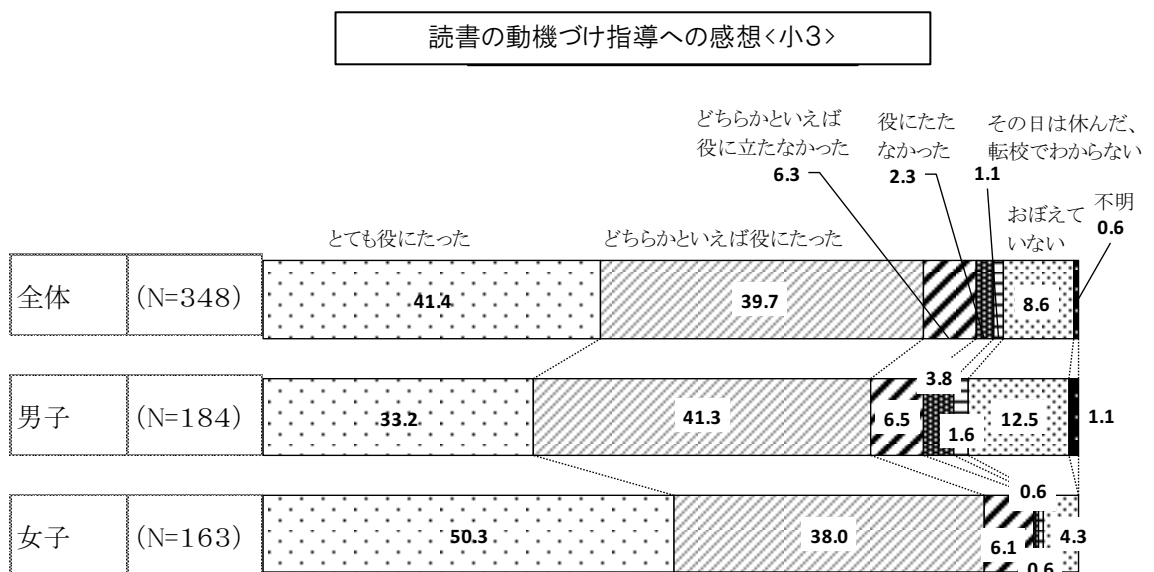
## (5) 読書の動機付け指導

### ①読書動機づけ指導への感想<小3>

問 15 今年の5月(6月)に、学校で、市立図書館の人やよその先生が本を紹介して、その本をクラスにプレゼントしてくれる読書の動機づけ指導がありました。どう思いましたか。(○印1つ)

読書動機づけ指導については、「とても役に立った」(41.4%)、「どちらかといえば役に立った」(39.7%)を合わせた「役に立った」が81.1%であった。

性別では、女子の方が「役に立った」とする比率が高く、「とても役に立った」が女子は50.3%、男子は33.2%となっている。「どちらかといえば」を合わせると女子は88.3%、男子は74.5%であり、いずれも高い比率ではあるものの、13.8ポイントの差が見られる。

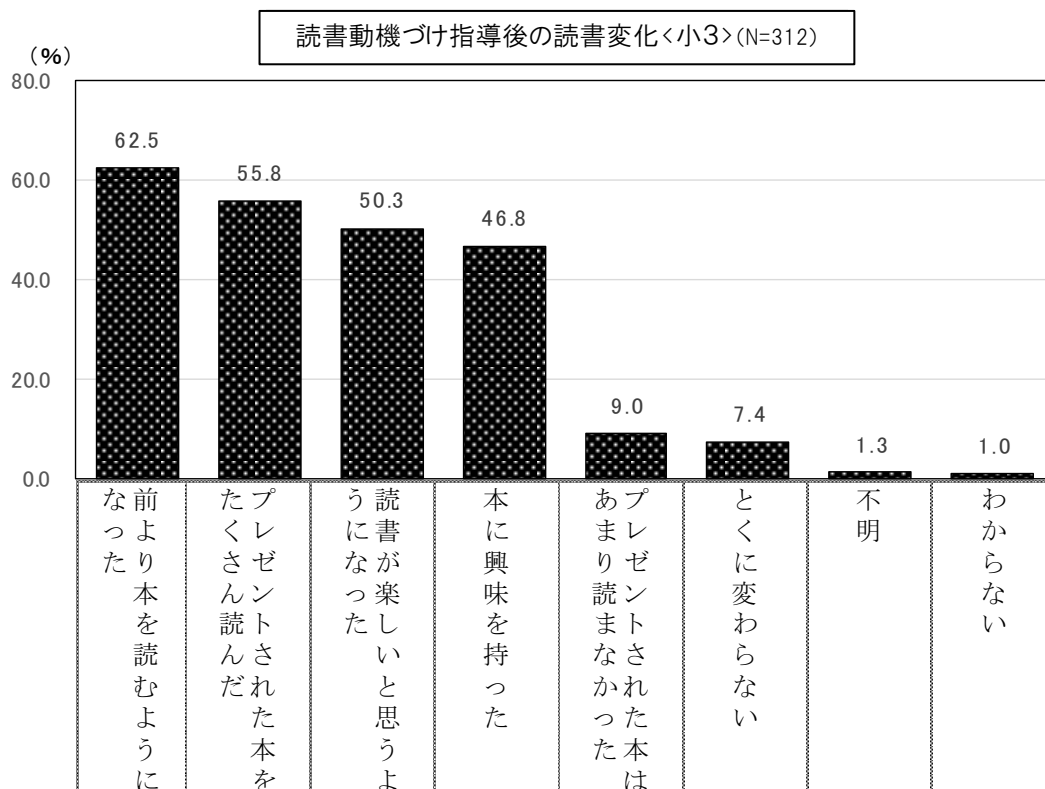


## ② 読書動機づけ指導後の読書に対する変化<小3>

問 16 (問 15 で「1～4」と答えた人にたずねます)この読書の動機づけ指導のあと、あなたの読書に変化はありましたか。(あてはまるものすべてに○)

読書動機づけ指導後の変化では、「前より本を読むようになった」(62.5%)がもっとも高く、ついで、「プレゼントされた本をたくさん読んだ」(55.8%)、「読書が楽しいと思うようになった」(50.3%)、「本に興味を持った」(46.2%)など、児童の読書意欲の高まりに好影響を与えていることがわかる。

性別では、男子に比べ女子の変化が大きく、「前より本を読むようになった」(66.5%)、「プレゼントされた本をたくさん読んだ」(60.0%)がいずれも男子よりは 8 ポイント以上高い。「読書が楽しいと思うようになった」(58.1%)は、割合では第3位ではあるものの、男子より 15 ポイント高くなっている。



性別：読書動機づけ指導後の読書変化<小3>

		前より本を読むようになった	プレゼントされた本をたくさん読んだ	読書が楽しいと思うようになった	本に興味を持った	プレゼントされた本はあまり読まなかった	とくに変わらない	不明	わからない
全体	(N=312)	62.5	55.8	50.3	46.8	9.0	7.4	1.3	1.0
男子	(N=156)	58.3	51.3	42.9	46.2	11.5	10.9	1.3	1.3
女子	(N=155)	66.5	60.0	58.1	47.7	6.5	3.9	1.3	0.6

---

## 第2章 小学5年生・中学2年生調査

---

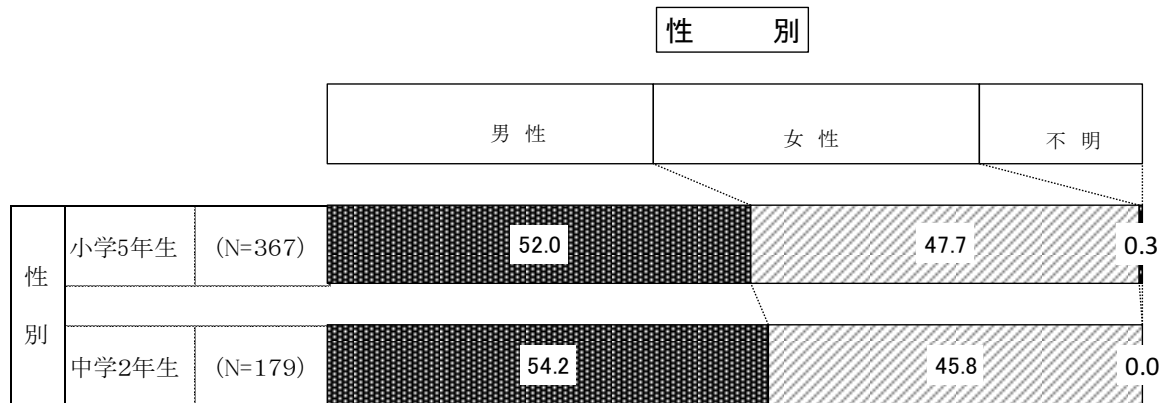
# 1 回答児童生徒の属性

## ◆学校別構成

		母数	第一小	第二小	第三小	第四小	第五小	大野田小	境南小	本宿小	千川小	井之頭小	関前南小	桜野小
小学5年生	実数	367	35	30	29	21	36	32	37	30	28	27	25	37
	%	100.0	9.5	8.2	7.9	5.7	9.8	8.7	10.1	8.2	7.6	7.4	6.8	10.1

		母数	第一中	第二中	第三中	第四中	第五中	第六中
中学2年生	実数	179	28	33	29	30	28	31
	%	100.0	15.6	18.4	16.2	16.8	15.6	17.3

## ◆性別構成



## 2 調査結果

### (1) 読書の状況

#### ①10月1カ月の間に読んだ本の冊数 <小5><中2>

問4 あなたは10月1カ月のあいだに、本を何冊ぐらい読みましたか。

##### 【小学5年生】

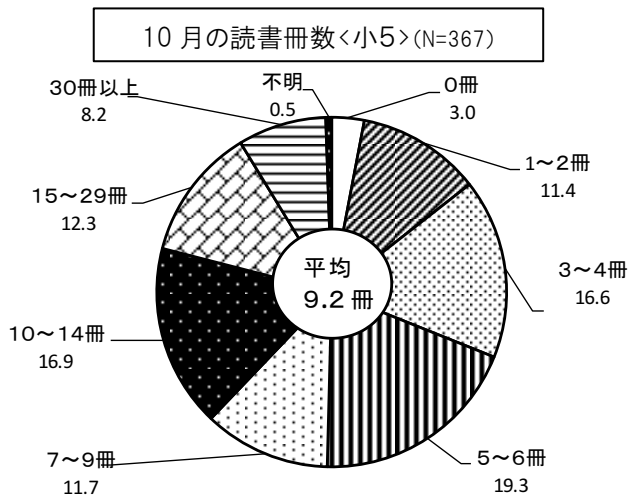
小学5年生の10月の読書冊数は「読まない(0冊)」から「30冊以上」まで幅広く分布し、平均冊数は9.2冊となっている。

全体に女子生徒の読書冊数が多く、平均冊数は、女子10.4冊に対し男子は8.2冊であった。

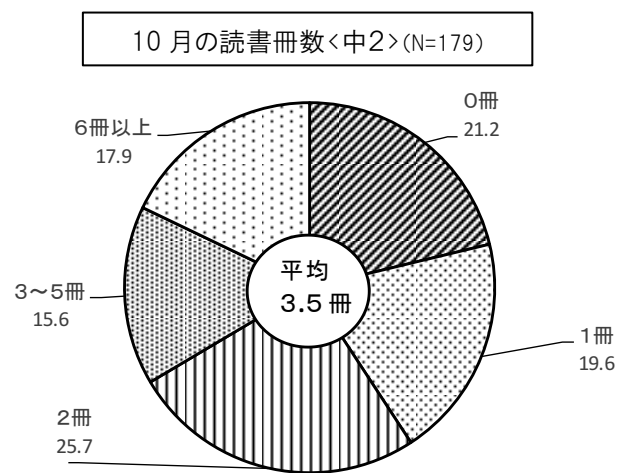
##### 【中学2年生】

中学2年生では読書冊数が小学5年に比べて減少し、「読まない(0冊)」(21.2%)が2割を超えている。「読まない(0冊)」は、女子(14.6%)に比べて男子(26.8%)の方が多く、12.2ポイント差であった。

全体の平均冊数は3.5冊で小学5年(9.2冊)の半分以下まで減少している。男子より女子の方が多くの冊数を読んでおり、男子の平均冊数3.3冊に対して女子は3.7冊であった。



注: 51冊以上は異常値として平均冊数算出から除外



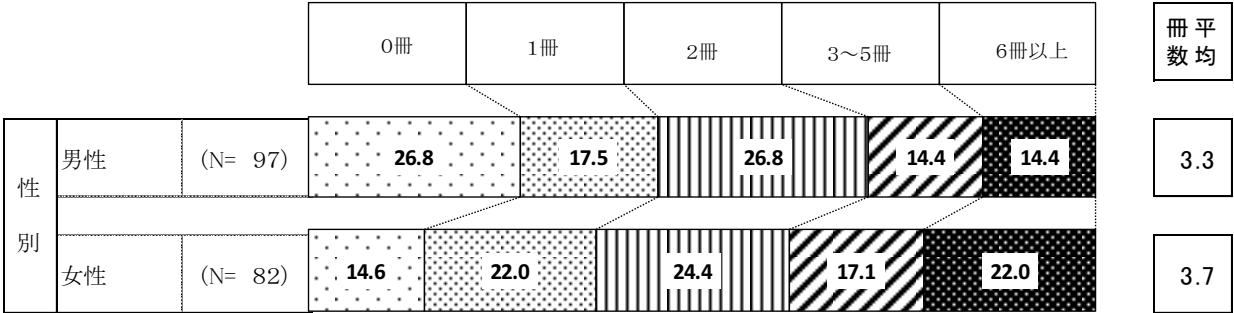
注: 51冊以上は異常値として平均冊数算出から除外

性別: 10月の読書冊数<小5>

		0冊	1~2冊	3~4冊	5~6冊	7~9冊	10~14冊	15~29冊	30冊以上	不明	冊平均
性別	男性 (N=191)	3.0	11.4	15.7	17.8	14.1	16.2	13.6	4.7		8.2
	女性 (N=175)	5.2	12.6	17.7	21.1	9.1	17.1	10.9	12.0		10.4

注: 51冊以上は異常値として平均冊数算出から除外

性別:10月の読書冊数<中2>



注:51冊以上は異常値として平均冊数算出から除外



## ②10月に読んだ本の入手方法<小5><中2>

問5 問4の本は、どのような本ですか。(あてはまるものすべてに○)

### 【小学5年生】

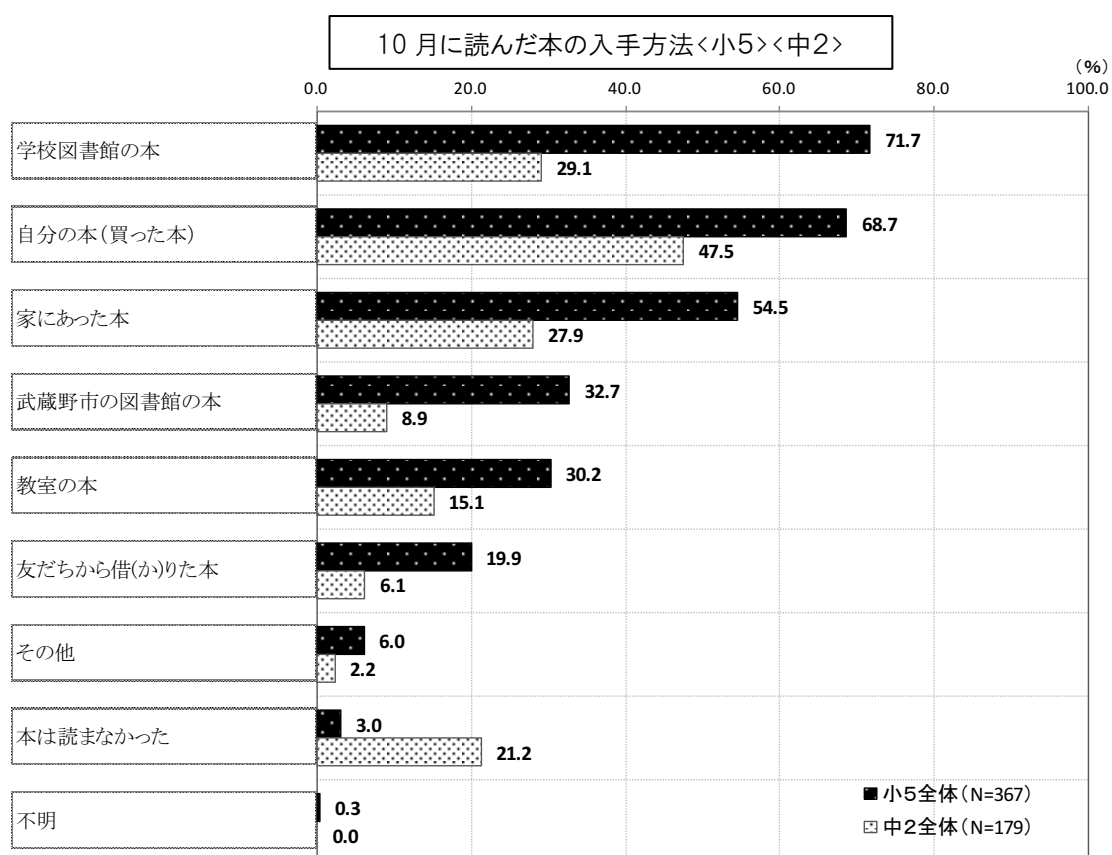
10月に読んだ本の入手方法では「学校図書館の本」(71.7%)、「自分の本(買った本)」(68.7%)がいずれも7割前後と高い比率となっている。ついで「家にあった本」(54.5%)、「武蔵野市の図書館の本」(32.7%)、「教室の本」(30.2%)が続いている。

性別では、いずれの入手方法でも女子が男子を上回っており、特に「学校図書館の本」(82.3%)は男子より20ポイント上回った。

### 【中学2年生】

中学2年生では、「自分の本(買った本)」(47.5%)がもっとも高く、ついで「学校図書館の本」(29.1%)、「家にあった本」(27.9%)が続いている。

男女ともに「自分の本(買った本)」の比率もっとも高いが、女子では男子を16ポイント上回っている。その他の入手方法については男女に大きな差はみられない。



性別：10月に読んだ本の入手方法<小5><中2>

(%)

		母数	学校図書館の本	自分の本（買った本）	家にあった本	武蔵野市の図書館の本	クラスの本	友だちから借りた本（か）	その他	本は読まなかった	不明
小学5年	全体	367	71.7	68.7	54.5	32.7	30.2	19.9	6.0	3.0	0.3
	男性	191	61.8	61.3	47.6	28.8	29.8	14.1	8.4	5.2	0.0
	女性	175	82.3	76.6	61.7	37.1	30.9	26.3	3.4	0.6	0.6
中学2年	全体	179	29.1	47.5	27.9	8.9	15.1	6.1	2.2	21.2	0.0
	男性	97	26.8	40.2	28.9	8.2	15.5	5.2	1.0	26.8	0.0
	女性	82	31.7	56.1	26.8	9.8	14.6	7.3	3.7	14.6	0.0

### ③読書に対する好嫌度<小5><中2>

問6 あなたは読書が好きですか。(○印1つ)

#### 【小学5年生】

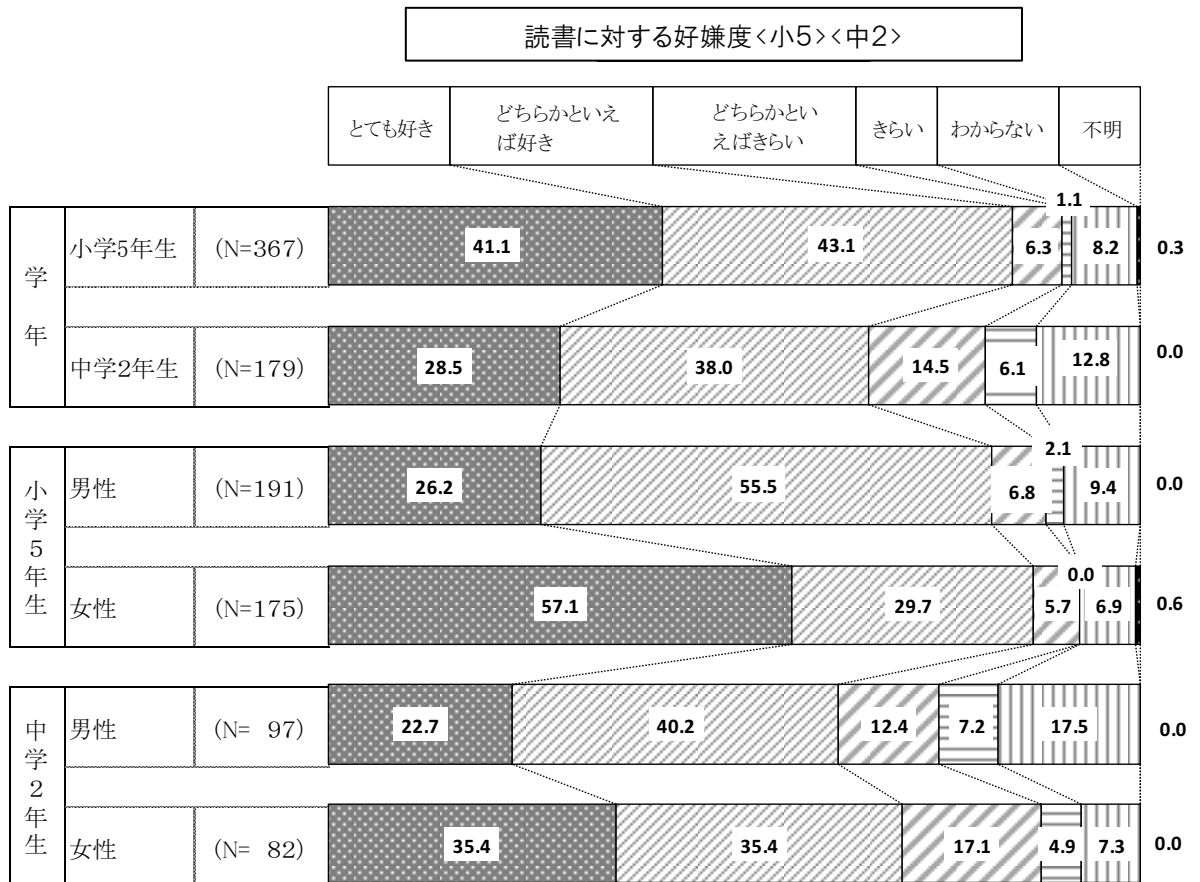
読書に対する好き嫌いでは 41.1%が「とても好き」と回答し、「どちらかといえば好き」(43.1%)を合わせると 84.2%が「好き」と答えている。「きらい」と「どちらかといえばきらい」は、あわせても 7.4%にとどまった。

性別では、女子で「とても好き」が 57.2%で、男子の 26.2%を大きく上回った。「とても好き+どちらかといえば好き」を合わせた「好き」の割合でみると男子が 81.7%、女子が 86.8%で、やや女子が高くなっている。

#### 【中学5年生】

「とても好き」は 28.5%、「どちらかといえば好き」が 38.0%で合わせて 66.5%で、小学5年生に比べると 18ポイント程度低くなっている。「きらい+どちらかといえばきらい」は 20.6%で、小学5年生より10%以上高かった。

性別では、小学5年生と同じく、「とても好き」は男子が 22.7%、女子が 35.4%と、女子が高くなっている。



#### ④本を読みたくなる状況<小5><中2>

問7 あなたはどんなときに本を読みたくなりますか。(あてはまるものすべてに○)

##### 【小学5年生】

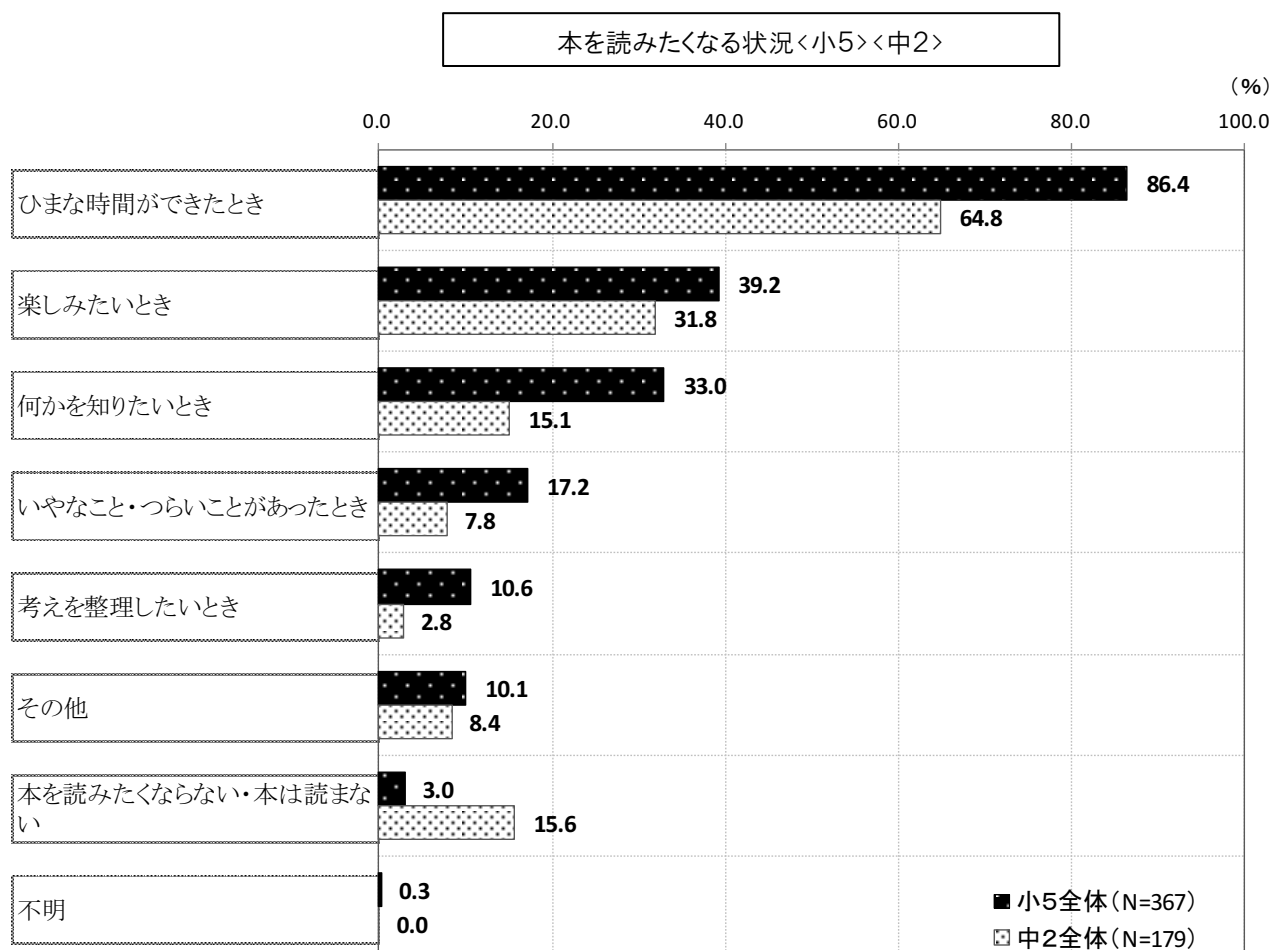
本を読みたくなるのは「ひまな時間ができたとき」(86.4%)がもっとも高く、続く「楽しみたいとき」(39.2%)、「何かを知りたいとき」(33.0%)との間で 50 ポイント程度の大きな差がみられた。

性別では、女子では「ひまな時間ができたとき」(90.3%)が 9 割を超え、次いで「楽しみたいとき」(53.7%)も 5割を超えている。一方で、男子では、もっとも高いのが「ひまな時間ができたとき」(82.7%)であるのは女子と変わらないが、次は「何かを知りたいとき」(33.5%)となっている。「楽しみたいとき」(25.7%)は女子より 28 ポイント低い。

##### 【中学2年生】

中学2年生においても「ひまな時間ができたとき」(64.8%)もっとも高いが、比率は小学5年生より 22 ポイントほど低くなっている。ついで「楽しみたいとき」(31.8%)、「何かを知りたいとき」(15.1%)が続く。

性別では、全体に女子の方が数値が高い。「いやなこと・つらいことがあったとき」は、男子が 2.1%であるのに対して、女子は 14.6%となっている。



性別：本を読みたくなる状況<小5><中2>

(%)

		母数	ひまな時間ができたとき	楽しみたいとき	何かを知りたいとき	いやなこと・つらいことがあったとき	考えを整理したいとき	その他	本は読まない	本を読みたくならない	不明
小学5年	全体	367	86.4	39.2	33.0	17.2	10.6	10.1	3.0	0.3	
	男性	191	82.7	25.7	33.5	11.5	12.6	9.4	2.1	0.5	
	女性	175	90.3	53.7	32.0	23.4	8.6	10.9	4.0	0.0	
中学2年	全体	179	64.8	31.8	15.1	7.8	2.8	8.4	15.6	0.0	
	男性	97	60.8	27.8	13.4	2.1	4.1	9.3	13.4	0.0	
	女性	82	69.5	36.6	17.1	14.6	1.2	7.3	18.3	0.0	

## (2) スマートフォン・タブレットと読書・調べもの

### ①調べものに使えるスマートフォン・パソコン等〈小5〉〈中2〉

問8 自宅に、あなたが調べものなどに使えるスマートフォン、タブレット、パソコンなどがありますか。  
(あなたが調べものなどに使えるものすべてに○)

#### 【小学5年生】

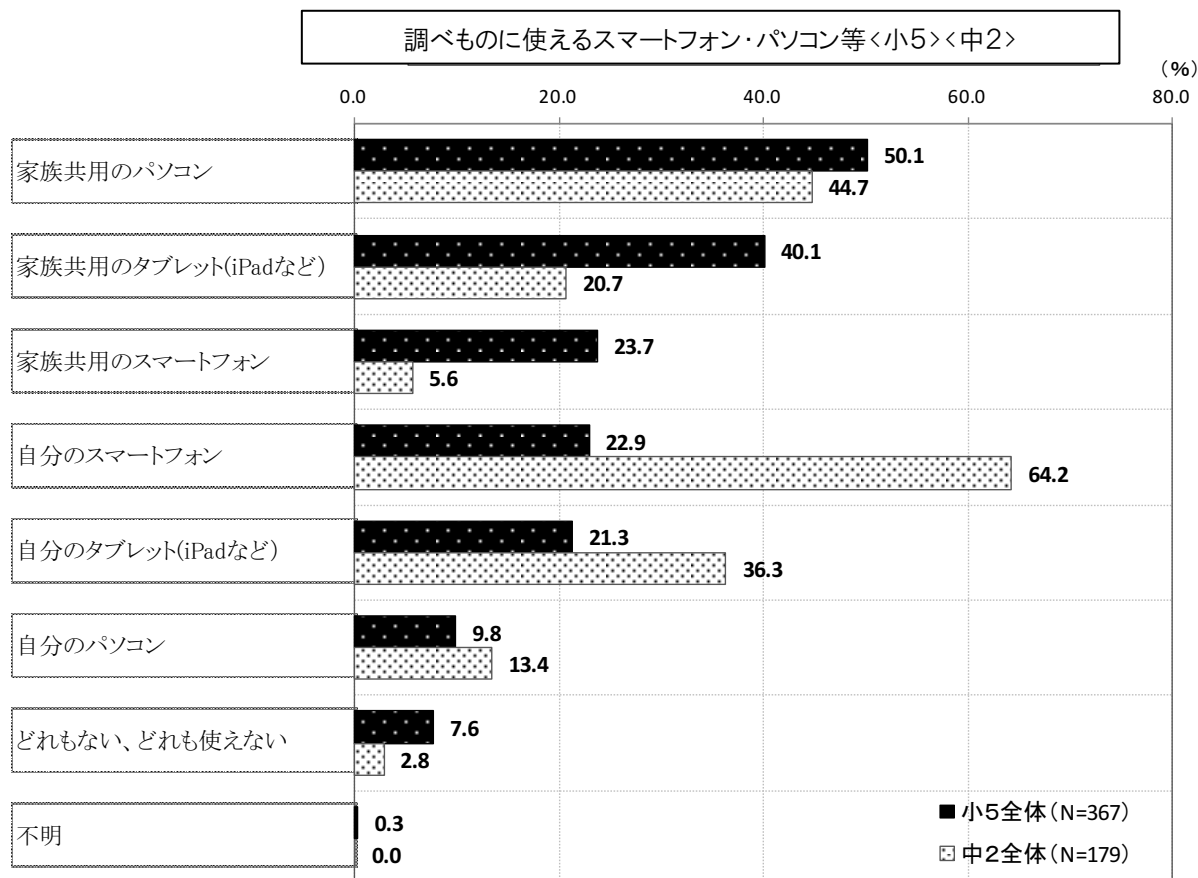
調べものをするときに使える情報端末は、「家族共有のパソコン」(50.1%)、「家族共有のタブレット」(40.1%)、「家族共有のスマートフォン」(23.7%)と、上位3位を家族共有の端末が占めている。

本人所有の端末は「スマートフォン」(22.9%)、「タブレット」(21.3%)、「パソコン」(9.8%)であった。男女の間で差はあまりみられない。

#### 【中学2年生】

中学2年生では、「自分のスマートフォン」(64.2%)、「自分のタブレット」(36.3%)など、小学5年生とは異なり、自分専用の端末で調べものをする生徒が多くなっている。家族との共用では「家族共有のパソコン」(44.7%)、「家族共有のタブレット」(20.7%)であった。

性別では、男女ともに「自分のスマートフォン」が第1位であるが、男子 52.6%に対して女子は 78.0%と、女子の方が 25 ポイント高くなっている。反対に「自分のタブレット」は男子で 44.3%と、女子(26.8%)より 18 ポイント高かった。



性別：調べものに見えるスマートフォン・パソコン等〈小5〉〈中2〉

(%)

		母数	家族共用のパソコン	ト家族共用のタブレット (iPadなど)	フ家族共用のスマートフォン	ン自分のスマートフォン	自分のタブレット (iPadなど)	自分のパソコン	使えない、どれも	不明
小学5年	全体	367	50.1	40.1	23.7	22.9	21.3	9.8	7.6	0.3
	男性	191	47.1	39.3	24.1	22.5	21.5	11.0	9.9	0.5
	女性	175	53.1	41.1	23.4	23.4	21.1	8.6	5.1	0.0
中学2年	全体	179	44.7	20.7	5.6	64.2	36.3	13.4	2.8	0.0
	男性	97	40.2	19.6	6.2	52.6	44.3	19.6	5.2	0.0
	女性	82	50.0	22.0	4.9	78.0	26.8	6.1	0.0	0.0

## ②調べものをする時の本とインターネットの使い分け<小5><中2>

問9 あなたは調べものをするとき、本とインターネットのどちらを使うことが多いですか(○印1つ)

### 【小学5年生】

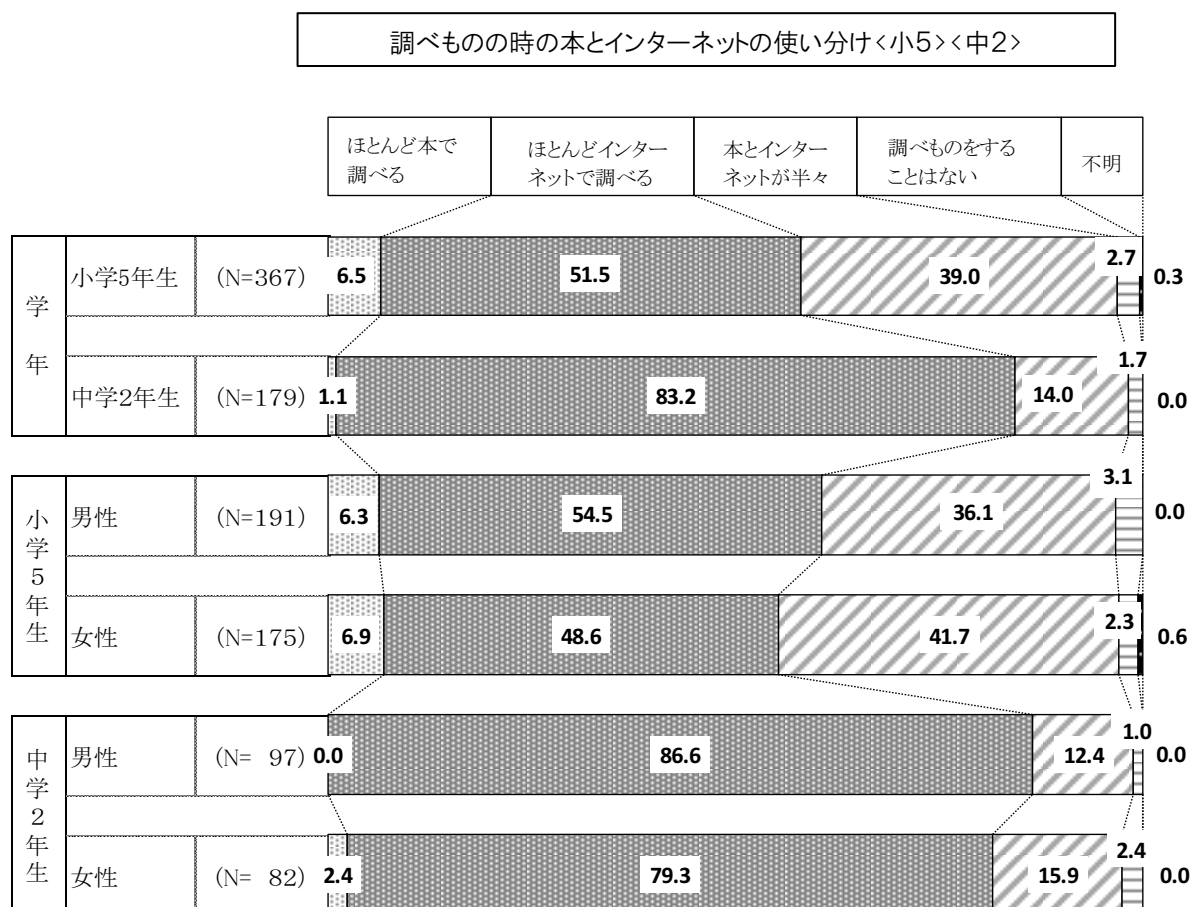
小学5年生では、「ほとんどインターネットで調べる」が 51.5%と半数を超えている。「本とインターネットが半々」(39.0%)も4割と近くとなり、「ほとんど本で調べる」は 6.5%に止まっている。

性別では、「ほとんどインターネットで調べる」は男子が 54.5%、女子生徒が 48.6%で男子がやや高く、「本とインターネットが半々」は男子が 36.1%、女子が 41.7%で、女子がやや高くなっている。

### 【中学2年生】

中学2年生になると、「ほとんどインターネットで調べる」が 83.2%に達する。「本とインターネットが半々」は 14.0%、「ほとんど本で調べる」は 1.1%にとどまり、基本的に「調べものはインターネット」が一般化していることがわかる。

性別では、「ほとんどインターネットで調べる」が男女とももっとも高く(男子 86.6%、女子 79.3%)、「ほとんど本で調べる」は、男子では0人であった。





### (3) 家庭・学校の読書環境

#### ①家庭での読書環境<小5><中2>

問 10 家での読書について、あなたに近いものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

##### 【小学5年生】

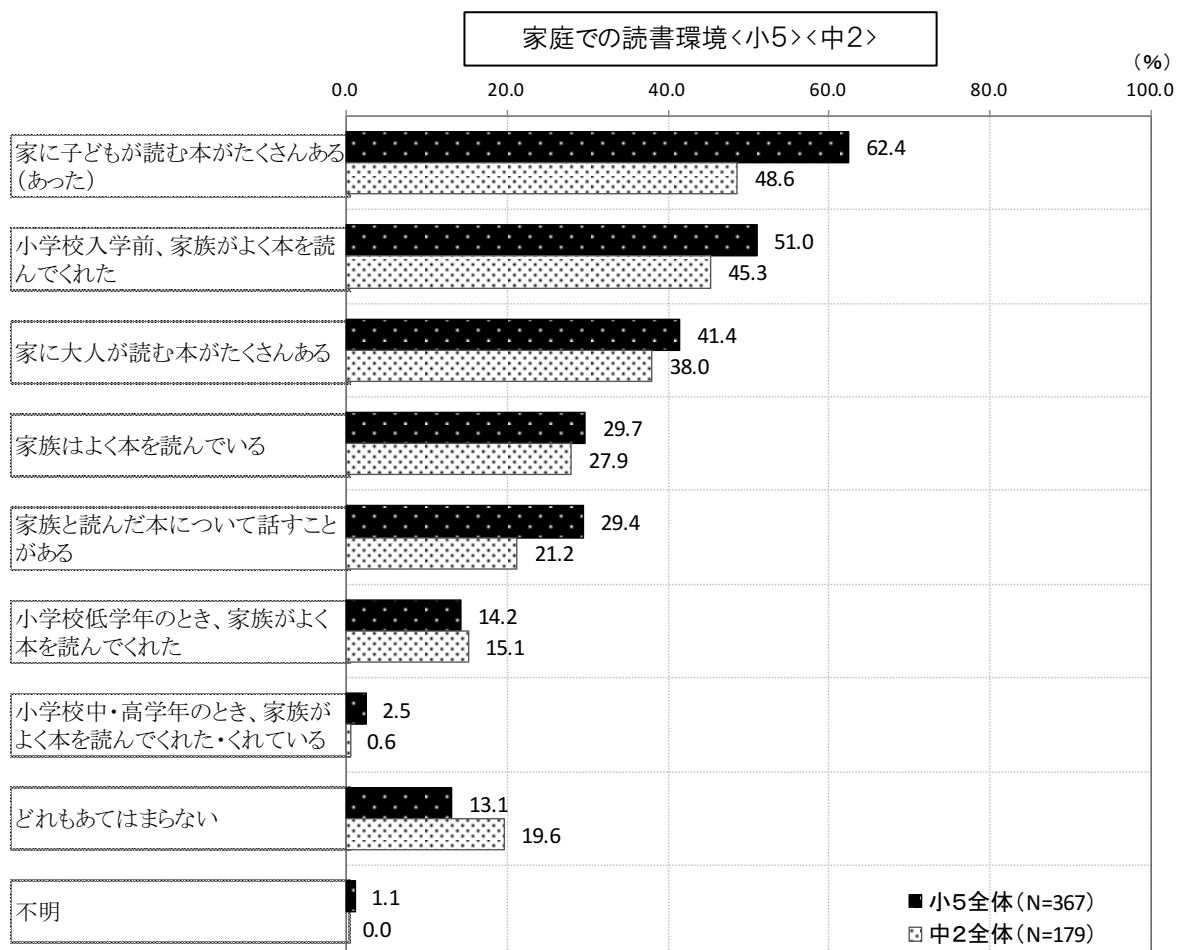
家庭での読書環境としては、「家に子どもが読む本がたくさんある」が 62.4%でもっとも高く、続いて「小学入学前、家族がよく本を読んでくれた」(51.0%)、「家に大人が読む本がたくさんある」(41.4%)が続いている。

性別では、いずれの項目も女子の方が男子より比率が高く、特に「家に子どもが読む本がたくさんある」は、女子(71.4%)と男子(53.9%)の間で 18 ポイント、「小学入学前、家族がよく本を読んでくれた」は女子(61.1%)と男子(41.4%)間で 20 ポイントと、大きな差がみられる。

##### 【中学2年生】

中学2年生でも、「家に子どもが読む本がたくさんある」(48.6%)と、「小学入学前、家族がよく本を読んでくれた」(45.3%)が上位にあげられた。

性別では、小学5年生と同様に多くの選択肢において女子の反応が高く、「家に子どもが読む本がたくさんある」(男子 41.2%、女子 57.3%)、「家族と読んだ本について話すことがある」(男子 14.4%、女子 29.3%)、「家に大人が読む本がたくさんある」(男子 32.0%、女子 45.1%)など、いずれも 10 ポイント以上の差となっている。



性別：家庭での読書環境〈小5〉〈中2〉

(%)

		母数	家に子どもが読む本がたくさんある(あった)	小学校入学前、家族がよく本を読んでもくれた	家に大人が読む本がたくさんある	家族はよく本を読んでいる	家族と読んだ本について話すことがある	小学校低学年のとき、家族がよく本を読んでもくれた	小学校中・高学年のとき、家族がよく本を読んでもくれた(読んでくれている)	どれもあてはまらない	不明
小学5年	全体	367	62.4	51.0	41.4	29.7	29.4	14.2	2.5	13.1	1.1
	男性	191	53.9	41.4	36.6	23.0	19.4	13.1	2.6	18.3	0.5
	女性	175	71.4	61.1	46.9	37.1	40.6	15.4	2.3	7.4	1.7
中学2年	全体	179	48.6	45.3	38.0	27.9	21.2	15.1	0.6	19.6	0.0
	男性	97	41.2	44.3	32.0	26.8	14.4	14.4	0.0	24.7	0.0
	女性	82	57.3	46.3	45.1	29.3	29.3	15.9	1.2	13.4	0.0

## ②学校での読書環境<小5><中2>

問 11 学校での読書について、あなたに近いものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

### 【小学5年生】

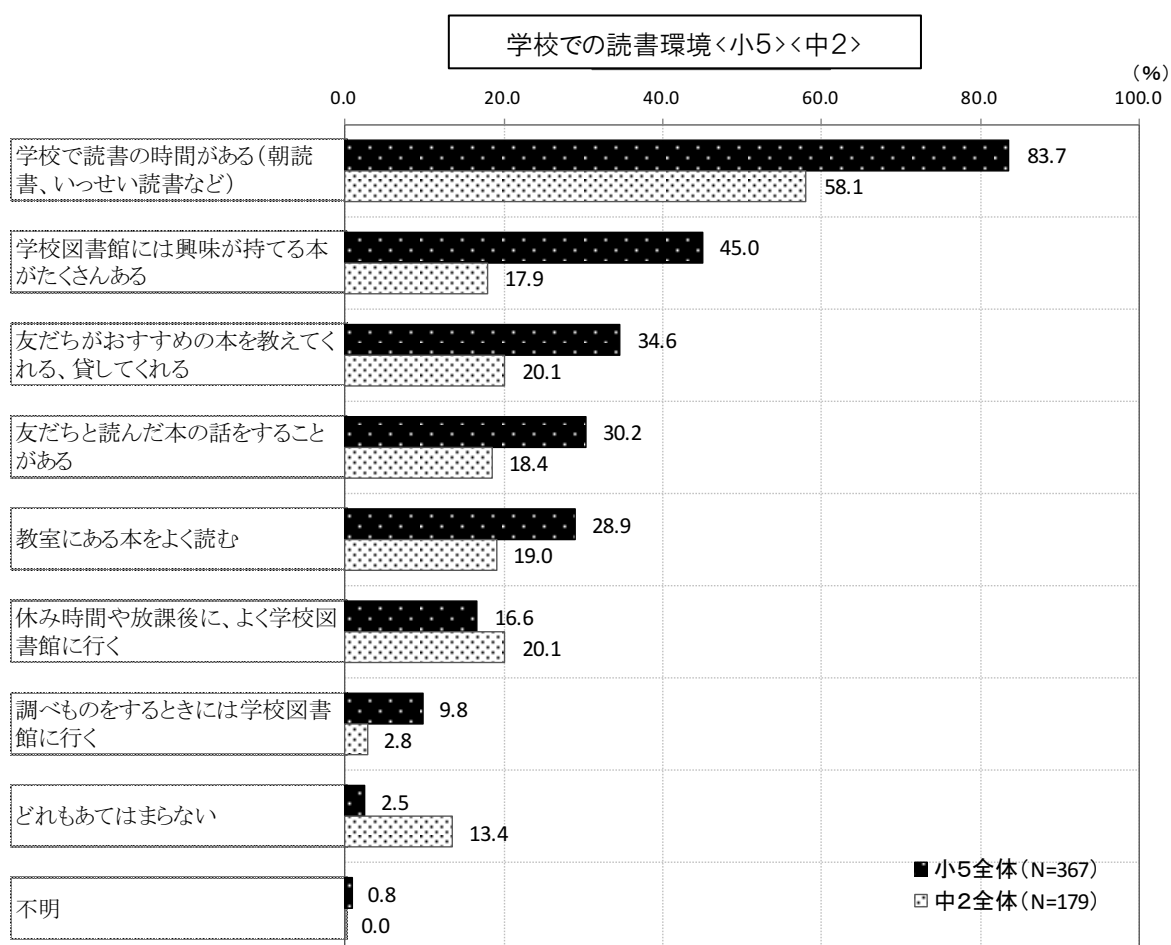
「学校で読書の時間がある」が 83.7%と、多くの学校で本と親しむ時間を設けている。「学校図書館には興味のある本がたくさんある」(45.0%)、「教室にある本をよく読む」(28.9%)など、学校における読書への働きかけに対応した回答がみられる。

性別では、いずれの項目でも女子の方が反応が高いが、特に「友だちがおすすめの本を教えてくれる、貸してくれる」(31.7%)、「友だちと読んだ本の話をする事ができる」(26.8%)については20ポイント以上男子を上回り、友だちとの交流も読書の手助けとなっていることがわかる。一方、男子では「教室にある本をよく読む」(21.6%)が女子を5.7ポイント上回っており、手にとりやすいことが読書の一助となっている。

### 【中学2年生】

中学生も、小学5年生と同様に「学校で読書の時間がある」(58.1%)がトップであるが、その比率は小学5年生より26ポイントほど下回る。その他の項目も、いずれも小学5年生より比率が低く、中学生になって、読書との関わりがやや希薄になっている様子が見えてくる。

性別では、小学5年生と同様、「教室にある本をよく読む」以外は女子生徒の回答割合が男子生徒より高く「友だちがおすすめの本を教えてくれる、貸してくれる」では21ポイント、「友だちと読んだ本の話をする事ができる」は16ポイント、女子の方が高くなっている。



性別：学校での読書環境<小5><中2>

(%)

		母数	学校で読書の時間がある （朝読書、いっせい読書 など）	学校図書館には興味を持 てる本がたくさんある	教えてくれる、貸してく れる	友だちがおすすめの本を 友だちと読んだ本の話を することがある	教室にある本をよく読む	休み時間や放課後に、よ く学校図書館に行く	調べものをするときには 学校図書館に行く	どれもあてはまらない	不明
小学5年	全体	367	83.7	45.0	34.6	30.2	28.9	16.6	9.8	2.5	0.8
	男性	191	76.4	38.2	24.1	20.4	33.5	13.6	8.4	4.2	1.0
	女性	175	91.4	52.0	46.3	41.1	24.0	20.0	11.4	0.6	0.6
中学2年	全体	179	58.1	17.9	20.1	18.4	19.0	20.1	2.8	13.4	0.0
	男性	97	52.6	13.4	10.3	11.3	21.6	16.5	1.0	20.6	0.0
	女性	82	64.6	23.2	31.7	26.8	15.9	24.4	4.9	4.9	0.0

③読書に興味を持つようになったきっかけ〈小5〉〈中2〉

問 20 あなたが本を読むことに興味を持ったり、本を楽しむようになったりしたのは、何が影響していると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

#### 【小学5年生】

「おもしろい本・シリーズとの出会い」が77.4%でもっとも高く、本のコンテンツとしての楽しさが読書習慣の最大のきっかけとなっていることがわかる。ついで「学校の読書の時間」(53.4%)、「家の中に本が置かれていた」(50.7%)、「幼いときの家族等による本の読み聞かせ」(44.4%)、「図書館や書店が身近なところにあること」(40.9%)など、家庭や学校での読書に親しむ環境についての項目が挙げられている。

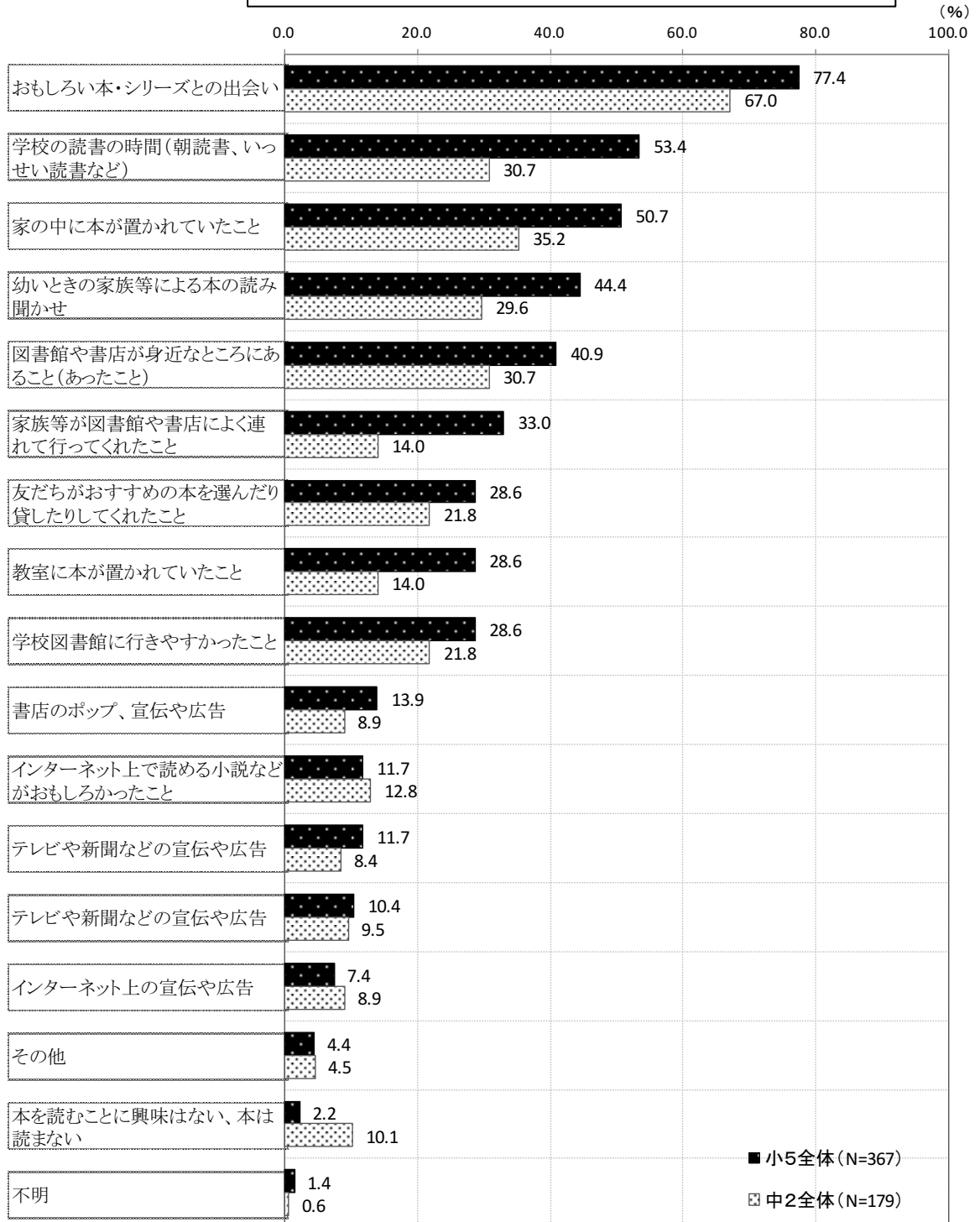
性別では、女子の方が全般に多くの項目に回答している。特に「幼いときの家族等による本の読み聞かせ」(男子 33.5%、女子 56.0%)、「図書館や書店が身近なところにあること」(男子 30.4%、女子 52.0%)が20ポイント以上、女子が高い。

#### 【中学2年生】

項目については小学5年生と大きくは変わらないが、いずれの項目も回答割合は減少している。もっとも高いのは小学5年生と同じく「おもしろい本・シリーズとの出会い」(67.0%)で、ついで「家の中に本が置かれていた」(35.2%)、「図書館や書店が身近なところにあること」(30.7%)、「学校の読書の時間」(30.7%)などがあげられている。

性別では、小学5年生同様、女子が多くの項目に回答しており、「友だちがおすすめの本を選んだり貸したりしてくれたこと」(男子 13.4%、女子 31.7%)は18.3ポイントの差となっている。

読書に興味を持つようになったきっかけ<小5><中2>



性別：読書に興味を持つようになったきっかけ<小5><中2>

(%)

	小学5年			中学2年		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
母数	367	191	175	179	97	82
おもしろい本・シリーズとの出会い	77.4	74.3	80.6	67.0	61.9	73.2
学校の読書の時間(朝読書、いっせい読書など)	53.4	47.1	60.0	30.7	26.8	35.4
家の中に本が置かれていたこと	50.7	46.1	55.4	35.2	32.0	39.0
幼いときの家族等による本の読み聞かせ	44.4	33.5	56.0	29.6	26.8	32.9
図書館や書店が身近なところにあること(あったこと)	40.9	30.4	52.0	30.7	24.7	37.8
家族等が図書館や書店によく連れて行ってくれたこと	33.0	25.7	40.6	14.0	8.2	20.7
友だちがおすすめの本を選んだり貸したりしてくれたこと	28.6	20.9	37.1	21.8	13.4	31.7
教室に本が置かれていたこと	28.6	25.7	31.4	14.0	14.4	13.4
学校図書館に行きやすかったこと	28.6	24.1	33.7	21.8	18.6	25.6
書店のポップ、宣伝や広告	13.9	12.0	16.0	8.9	8.2	9.8
インターネット上で読める小説などがおもしろかったこと	11.7	13.6	9.7	12.8	12.4	13.4
テレビや新聞などの宣伝や広告	11.7	11.5	12.0	8.4	9.3	7.3
学校の先生による読み聞かせ	10.4	10.5	10.3	9.5	8.2	11.0
インターネット上の宣伝や広告	7.4	7.3	7.4	8.9	7.2	11.0
その他	4.4	6.3	2.3	4.5	6.2	2.4
本を読むことに興味はない、本は読まない	2.2	3.7	0.6	10.1	9.3	11.0
不明	1.4	1.6	1.1	0.6	1.0	0.0

#### ④新聞閲読状況<小5><中2>

問 21. あなたは、ふだん新聞を読みますか(○印1つ)

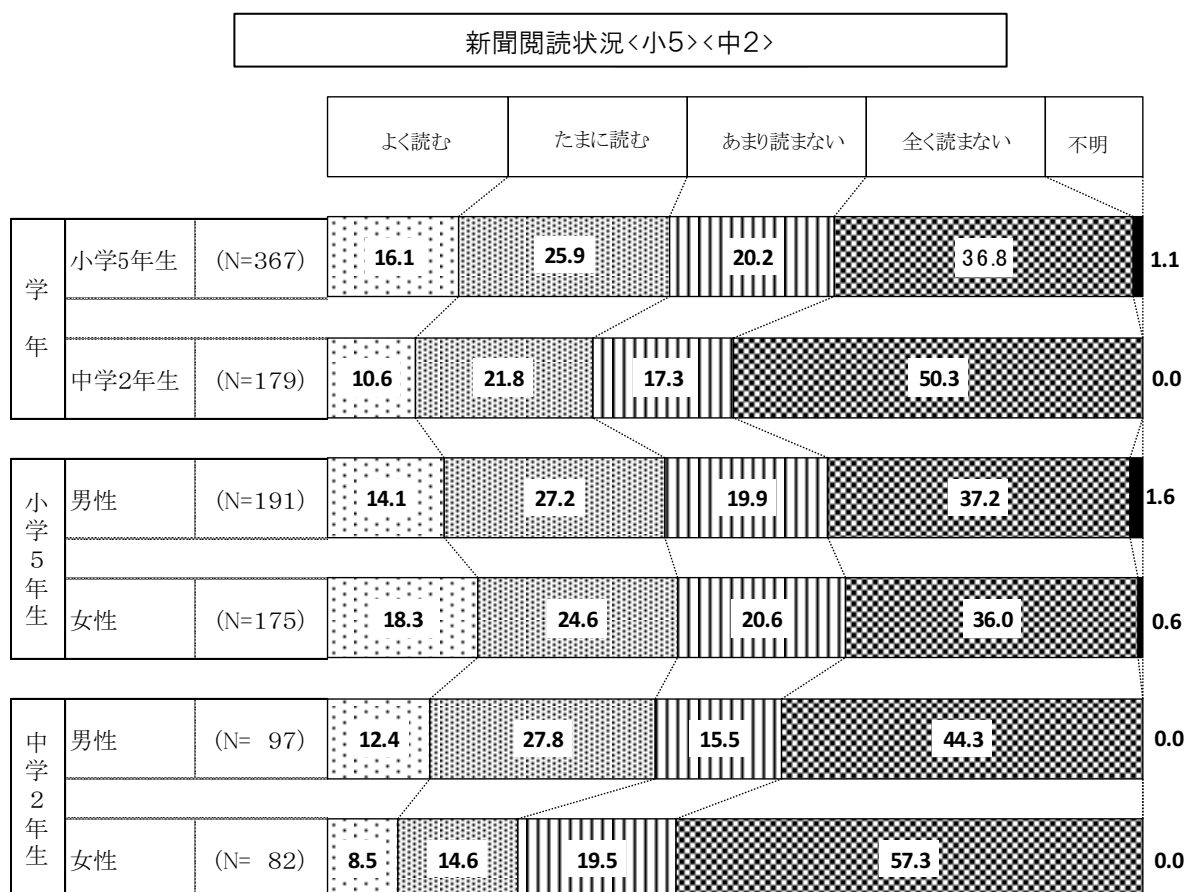
##### 【小学5年生】

「よく読む+たまに読む」が 42.0%、「あまり読まない+全く読まない」が 57.0%で、読まない生徒の方が多い。男女の間では大きな差異は見られない。

##### 【中学2年生】

「よく読む+たまに読む」が 32.4%、「あまり読まない+全く読まない」が 67.6%で、読まない生徒の方が多く、その比率は小学5年生より高くなっている。

性別では、「よく読む+たまに読む」が男子は40.2%であるのに対して女子は23.1%にとどまっており、男子の方が新聞に親しんでいることがわかる。





## (4) 市立図書館の認知と利用

### ①市立図書館の認知<小5><中2>

問 12 あなたはどの市立図書館を知っていますか。(知っているものすべてに○)

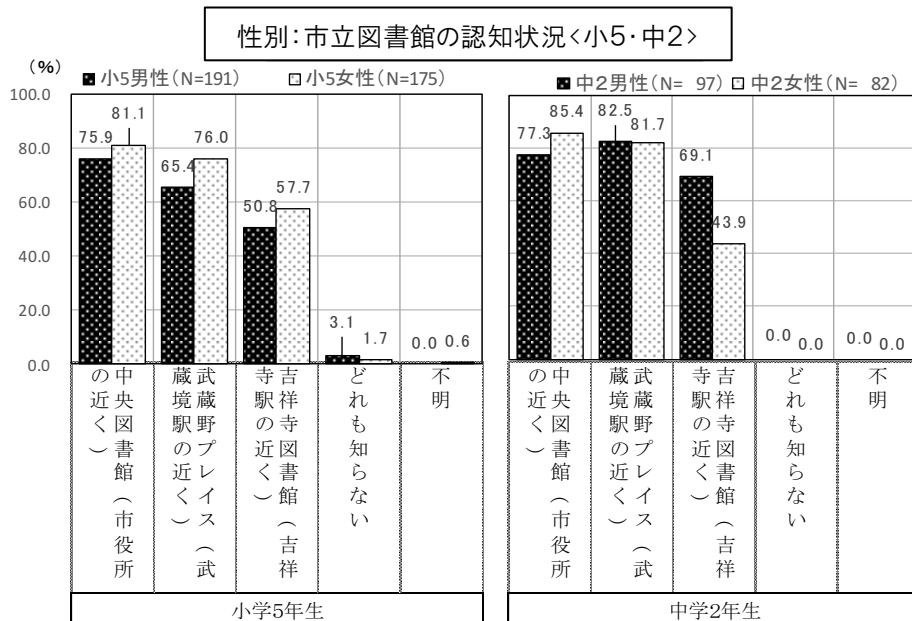
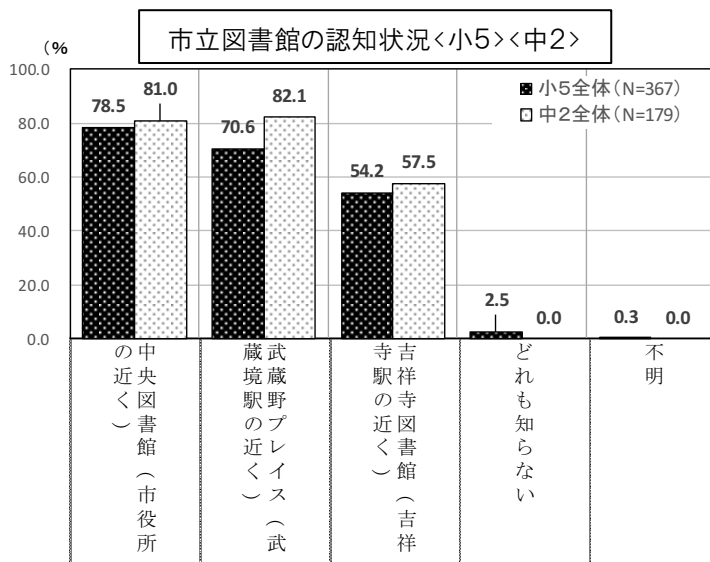
#### 【小学5年生】

市立3つの図書館のうち「中央図書館」(78.5%)と「武蔵野プレイス」(70.6%)は7割以上の高い認知であるが、「吉祥寺図書館」は54.2%とやや低くなっている。

性別では、3館すべてで女子の方が男子生徒より認知率が高く、「中央図書館」(81.1%)は8割を超えた。

#### 【中学2年生】

「中央図書館」(81.0%)、「武蔵野プレイス」(82.1%)の2館は、8割以上の中学2年生が知っていると回答している。「吉祥寺図書館」の認知率は、中学2年生全体では57.5%であるが、男子は69.1%と、女子(43.9%)を25ポイント上回っている。一方で、「中央図書館」は女子(85.4%)が男子(77.3%)を8ポイント上回った。



## ②市立図書館への利用状況<小5><中2>

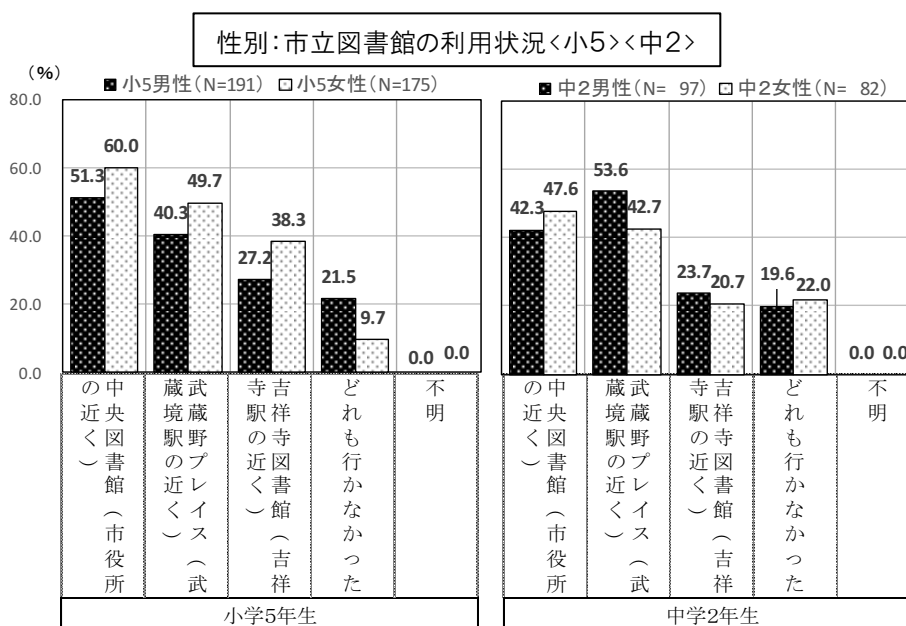
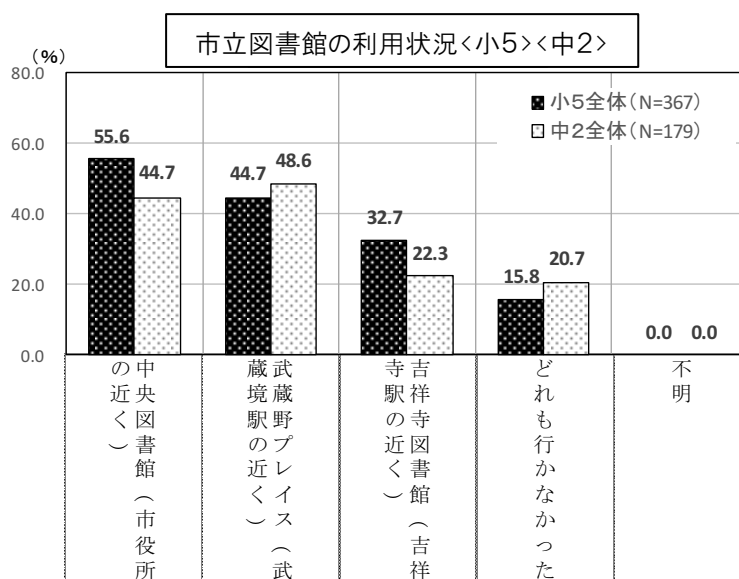
問 14 あなたはこの1年間に、市立図書館に行きましたか。(行った図書館すべてに○)

### 【小学5年生】

この1年間の市立図書館利用では、「中央図書館」が 55.6%、「武蔵野プレイス」が 44.7%、「吉祥寺図書館」が 32.7%となっている。「どれも行かなかった」は全体で 15.8%であり、84.2%の小学5年生は、3館のいずれかを年に1度以上は利用している。3館とも女子の利用率が男子を10ポイントほど上回っており、女子でもっとも利用率が高い「中央図書館」は、女子 60.0%、男子 51.3%であった。

### 【中学2年生】

全体の約8割(79.3%)は、3館のいずれかは年に1度以上利用している(「どれも行かなかった」が 20.7%であることから)。中高生を意識した展開を行っている「武蔵野プレイス」(48.6%)が3館のなかでもっとも高い利用率となっている。男子の「武蔵野プレイス」利用率は 53.6%と半数を超え、女子(42.7%)より10ポイントほど高かった。



### ③市立図書館利用の同行者<小5><中2>

問 15 あなたはこの1年間に、市立図書館に行きましたか。(行った図書館すべてに○)

#### 【小学5年生】

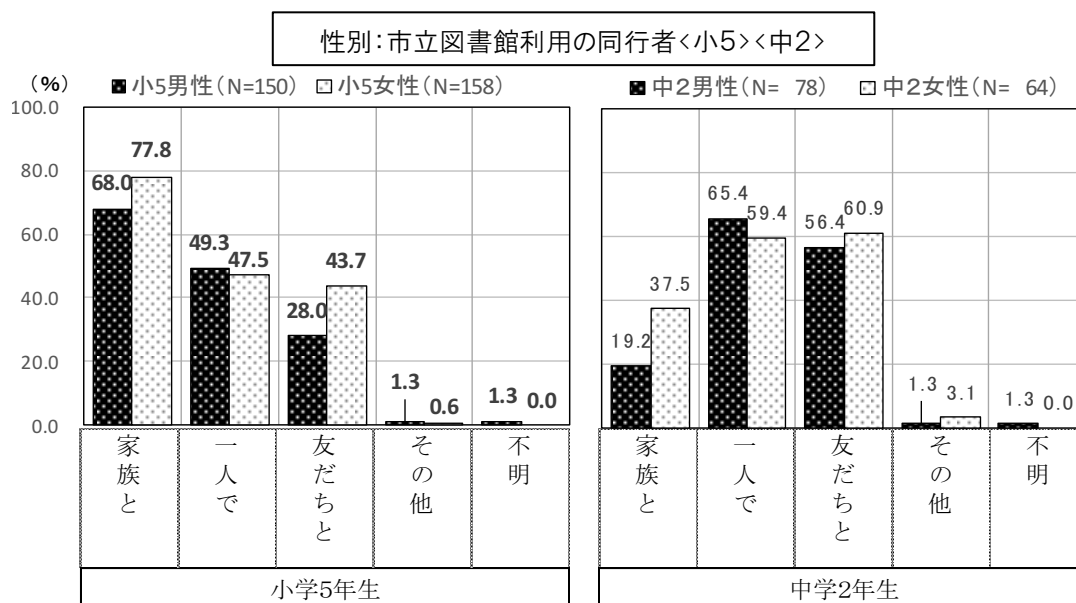
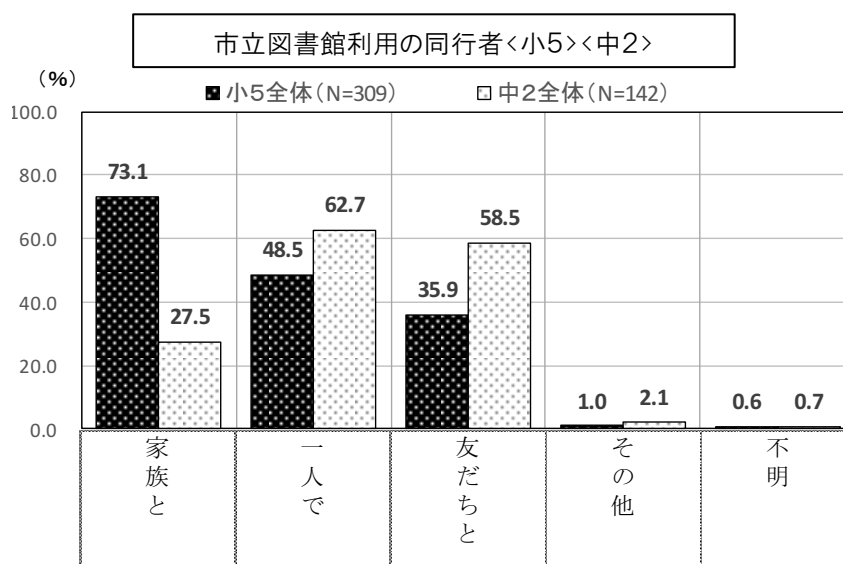
「家族と」の利用が73.1%と最も多く、「一人で」は48.5%、「友だちと」が35.9%となっている。

女子は「家族と」の利用が77.8%で男子生徒より10ポイントほど高く、「友だち」との利用も男子を大きく上回った(女子43.7%、男子28.0%)。「一人で」の利用は男女ほぼ同等となっている。

#### 【中学2年生】

中学生では「家族と」の利用が27.5%と小学5年生に比べ大きく減少し、「一人で」(62.7%)、「友だちと」(58.5%)の利用が多くなっている。特に「友だちと」の利用は小学5年生に比べ22ポイント高くなった。

性別では、男子は「一人で」の利用が女子生徒に比べやや高く、「友だちと」「家族と」は女子で高い傾向がみられる。



#### ④市立図書館利用頻度<小5><中2>

問 16 (問 14 で「1～3」と答えた人にたずねます) だいたい何回くらい行きましたか。複数の図書館に行った人は合計して教えてください。(○印1つ)

##### 【小学5年生】

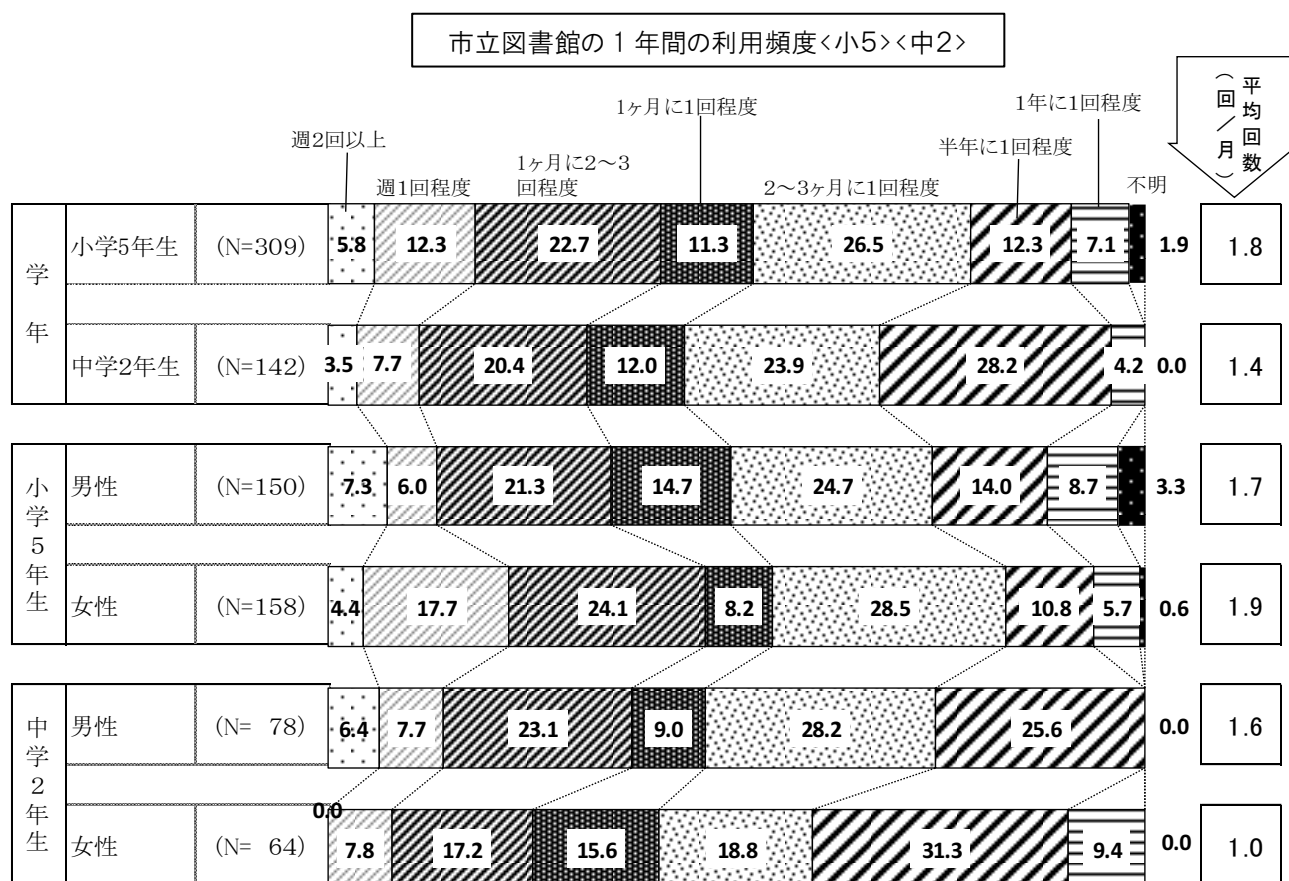
「2～3ヶ月に1回」が 26.5%でもっとも高く、「1ヶ月に2～3回」が 22.7%、「週1回程度」と「半年に1回程度」が 12.3%、「1ヶ月に1回程度」が 11.3%となっている。利用平均回数は1ヶ月に1.8回である。

性別では、全体に女子生徒の利用頻度が高い。1ヶ月の平均利用回数でも女子生徒が1.9回に対し男子生徒は1.7回となっている。

##### 【中学2年生】

中学生は「半年に1回程度」が 28.2%ともっとも高く、「2～3ヶ月に1回程度」が 23.9%、「1年に1回程度」も合わせると「2～3月に1回以下」が 56.3%と、ここまでで6割近くに達している。1ヶ月の平均利用頻度は1.4回で小学生に比べると利用回数が少ない。

性別では、小学校5年生では女子の方が利用回数が多かったが、中学2年生では女子の利用頻度が低く、「週に2回以上」、「週に1回程度」、「1ヶ月に2～3程度」を合わせた割合は男子 37.2%に対し女子は 25.0%にとどまる。平均利用回数でも、男子の1.6回に対し女子は1.0回となっている。



※平均回数は1ヶ月に1回にウエイト値1点を与え、「週に2回以上」に8点、「週に1回」に4点、「1ヶ月に2～3回」に2.5点、「2～3ヶ月に1回程度」に0.4点、「半年に1回程度」に0.17点、「1年に1回程度」に0.08点を与え加重平均算出した値である。(1ヶ月は標準4週間とした)

## ⑤市立図書館利用目的<小5><中2>

問 17 (問 14 で「1～3」と答えた人にたずねます) 市立図書館にはどのような目的で行きますか。  
(あてはまるものすべてに○)

### 【小学5年生】

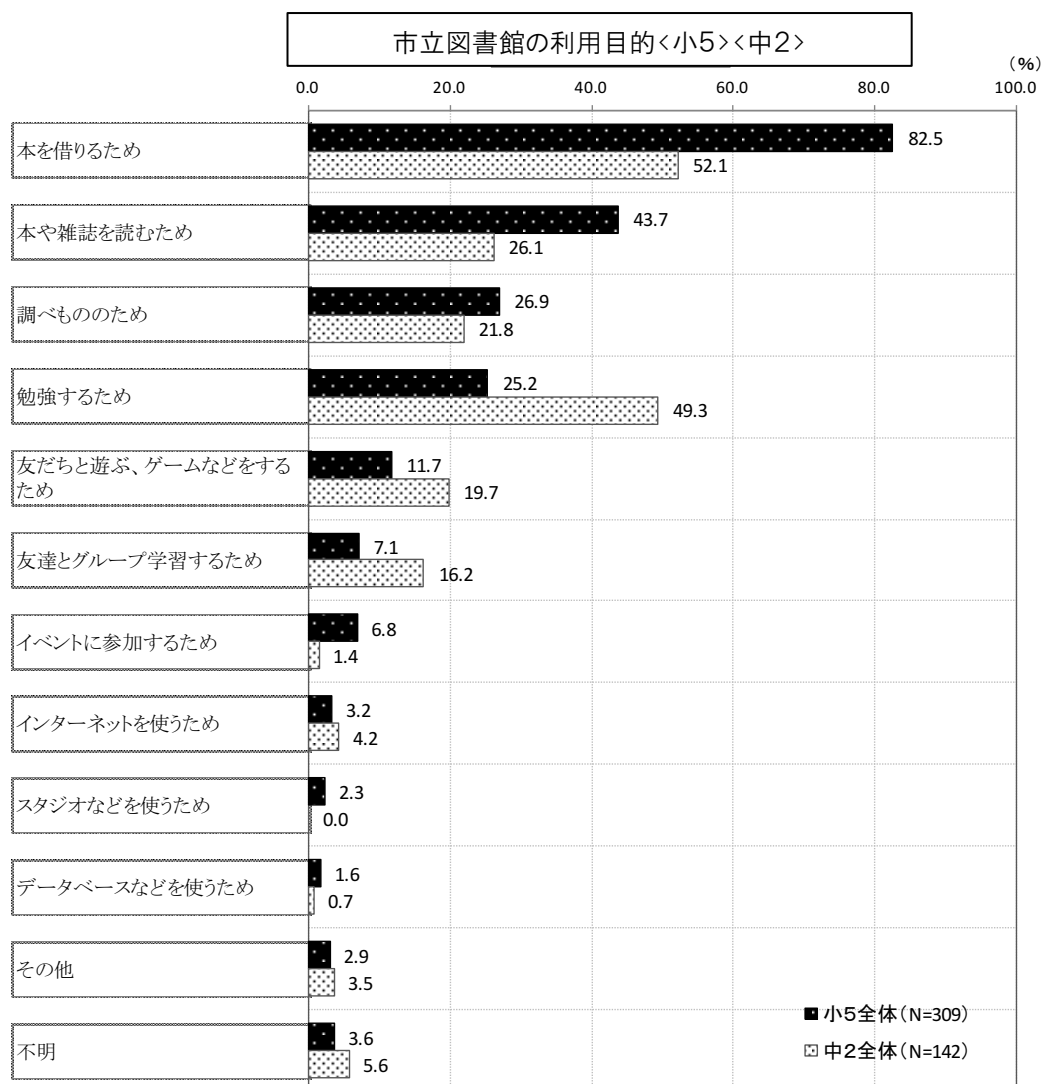
図書館利用経験のある小学5年生に図書館利用目的を聞いたところ、「本を借りるため」が 82.5%と他の目的に比べて際立って高い。ついで「本や雑誌を読むため」が 43.7%、「調べもののため」が 26.9%、「勉強するため」が 25.2%となっている。

性別では、女子は男子に比べてほとんどの項目で比率が高くなっている。特に、「友だちとグループ学習するため」では、女子 12.7%に対し男子 1.3%と、差が大きい。

### 【中学2年生】

「本を借りるため」(52.1%)、「勉強するため」(49.3%)が二大目的となっている。次いで「本や雑誌を読むため」(26.1%)、「調べもののため」(21.8%)、「友だちと遊ぶ、ゲームなどをするため」(19.7%)、「友だちとグループ学習するため」(16.2%)と続く。

性別では、女子が男子より、「本を借りるため」(62.5%)が 19 ポイント、「調べもののため」(26.6%)が9ポイント高いが、他については、ほとんど差はみられない。



性別：市立図書館の利用目的<小5><中2>

(%)

		母数	本を借りるため	本や雑誌を読むため	調べもののため	勉強するため	友だちと遊ぶ、ゲームなどをするため	友達とグループ学習するため	イベントに参加するため	インターネットを使うため	スタジオなどを使うため	データベースなどを使うため	その他	不明
小学5年	全体	309	82.5	43.7	26.9	25.2	11.7	7.1	6.8	3.2	2.3	1.6	2.9	3.6
	男性	150	76.0	36.7	28.7	20.7	10.7	1.3	7.3	4.0	1.3	3.3	6.0	4.0
	女性	158	88.6	50.6	25.3	29.1	12.7	12.7	6.3	2.5	3.2	0.0	0.0	3.2
中学2年	全体	142	52.1	26.1	21.8	49.3	19.7	16.2	1.4	4.2	0.0	0.7	3.5	5.6
	男性	78	43.6	28.2	17.9	48.7	17.9	14.1	0.0	6.4	0.0	1.3	5.1	3.8
	女性	64	62.5	23.4	26.6	50.0	21.9	18.8	3.1	1.6	0.0	0.0	1.6	7.8

## ⑥市立図書館のイベント、パンフレットの認知<小5><中2>

問 13 次にあげる市立図書館のイベントや配布物の中で、どれを知っていますか。(知っているものすべてに○)

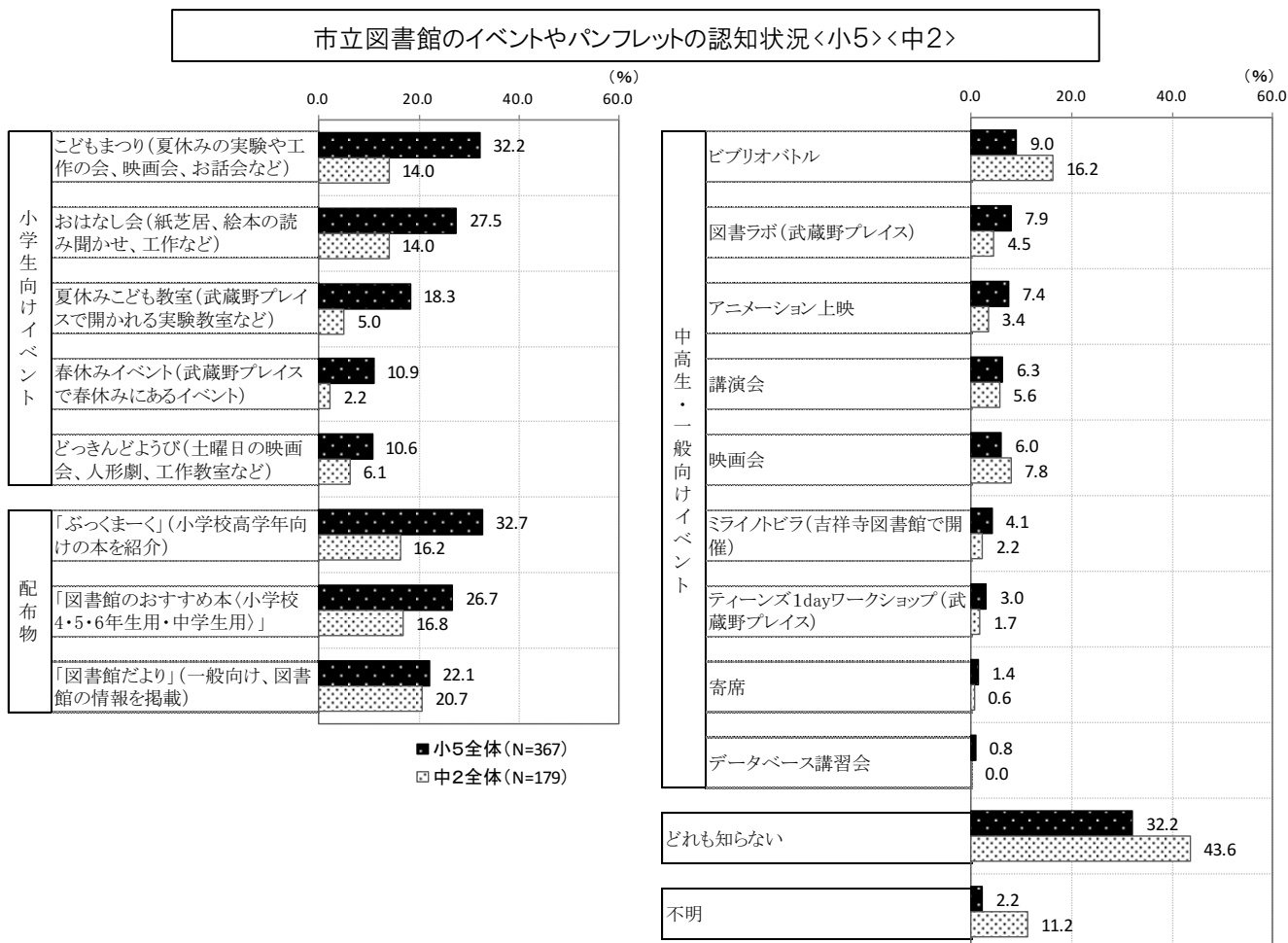
### 【小学5年生】

図書館のイベント等の認知率をみると、小学生向けイベントでは「こどもまつり」(32.2%)と「おはなし会」(27.5%)が3割前後、「夏休みこども教室」(18.3%)、「春休みイベント」(10.9%)、「どっきんどようび」(10.6%)は1割台となっている。中高生・一般向けイベントでは「ビブリオバトル」の9.0%がもっとも高いが、やはり対象年齢が異なるためか、小学5年生にはあまり知られていない。配布物では「ぶっくまーく」(32.7%)、「図書館のおすすめ本」(26.7%)、「図書館だより」(22.1%)などを2～3割が認知している。

一般的に女子の認知が男子を上回り、女子では「ぶっくまーく」は42.9%、「おはなし会」「図書館のおすすめ本」はそれぞれ33.1%、32.6%が認知している。

### 【中学2年生】

中高生向けイベントの中では「ビブリオバトル」の認知率ももっとも高く16.2%であった。前述のとおり、中学2年生では約8割がいずれかの市立図書館を年に1度以上利用しているが、イベントの認知率はビブリオバトル以外は10%未満にとどまった。また、男子の半数は武蔵野プレイスを利用しているが、同館実施のものも含めて男子の認知率は全体に低く、「どれも知らない」が半数を超えている(52.6%)。



性別：市立図書館のイベントやパンフレットの認知状況<小5><中2>

		小学生向けイベント					配布物			
		母数	作の会、映画会、お話し会など	おはなし会（紙芝居、絵本の読み聞かせ、工作など）	夏休み子ども実験教室（武蔵野プレイス）	春休みイベント（武蔵野プレイス）	どきんどきん、人形劇、工作教室など	「ぶっくまーく」（小学校高学年向けの本を紹介）	4・5・6年生用（小学生用）	図書館のおすすめ本（小学校の図書館の情報を掲載）
小学5年	全体	367	32.2	27.5	18.3	10.9	10.6	32.7	26.7	22.1
	男性	191	30.4	22.0	16.8	12.0	7.3	23.0	21.5	18.8
	女性	175	33.7	33.1	20.0	9.7	13.7	42.9	32.6	25.7
中学2年	全体	179	14.0	14.0	5.0	2.2	6.1	16.2	16.8	20.7
	男性	97	11.3	7.2	4.1	1.0	3.1	10.3	16.5	17.5
	女性	82	17.1	22.0	6.1	3.7	9.8	23.2	17.1	24.4

(%)

		中高生・一般向けイベント									どれも知らない	不明	
		母数	ビブリオバトル	図書ラボ（武蔵野プレイス）	アニメーション上映	講演会	映画会	「ミライノトビラ」（吉祥寺図書館で開催。昨年はアニメスタ）	「ミライノトビラ」（吉祥寺図書館で開催。昨年はアニメスタ）	「ミライノトビラ」（吉祥寺図書館で開催。昨年はアニメスタ）			「ミライノトビラ」（吉祥寺図書館で開催。昨年はアニメスタ）
小学5年	全体	367	9.0	7.9	7.4	6.3	6.0	4.1	3.0	1.4	0.8	32.2	2.2
	男性	191	5.8	8.4	6.8	6.8	7.3	5.8	1.6	2.1	1.6	38.7	1.6
	女性	175	12.6	7.4	8.0	5.7	4.6	2.3	4.6	0.6	0.0	25.1	2.9
中学2年	全体	179	16.2	4.5	3.4	5.6	7.8	2.2	1.7	0.6	0.0	43.6	11.2
	男性	97	11.3	4.1	4.1	7.2	7.2	2.1	2.1	1.0	0.0	52.6	11.3
	女性	82	22.0	4.9	2.4	3.7	8.5	2.4	1.2	0.0	0.0	32.9	11.0



## (5) 読書の動機づけ指導

### ①読書動機づけ指導への感想<小5><中2>

問 18 皆さんが小学3年のとき、学校に市立図書館の職員と外部講師が来て本を紹介し、その本をクラスにプレゼントする読書の動機づけ指導がありました。この会をどう思いましたか(○印1つ)

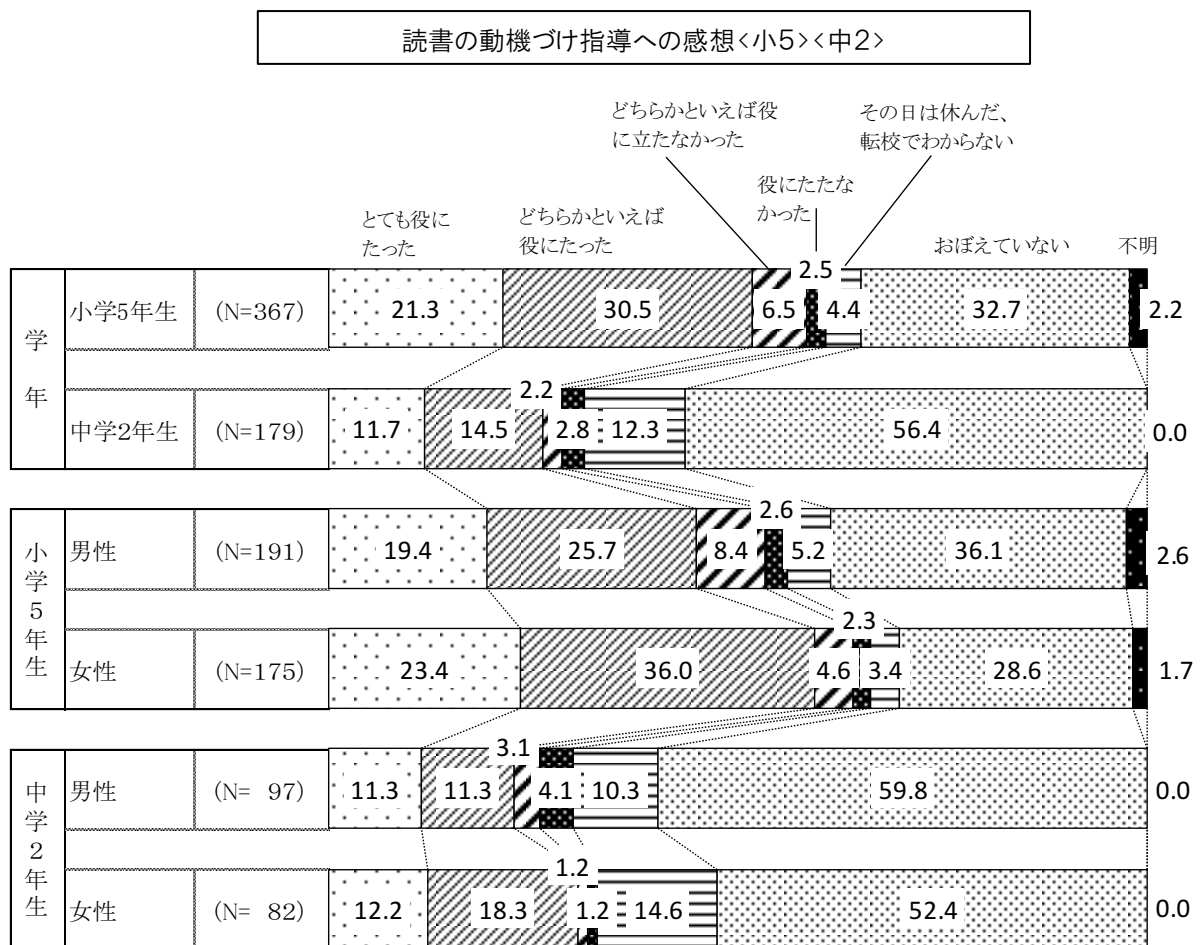
#### 【小学5年生】

小学5年生全体では、「とても役にたった」(21.3%)、「どちらかといえば役にたった」(30.5%)合計の「役にたった」が半数以上となっている。小学3年生のときに行われた指導であるためか、32.7%は「おぼえていない」と回答した。

性別では、「とても+どちらかといえば」を合わせた「役にたった」は、男子が 45.1%、女子が 59.4%と、女子の方が高くなっている。

#### 【中学2年生】

「おぼえていない」が 56.4%であった。「その日はお休みした、転校してきたのでわからない」が 12.3%なので、「指導を受け、その内容をおぼえていて感想を回答した生徒」は 31.2%であり、全体の 26.2%が「とても役にたった+どちらかといえば役にたった」と答えている。



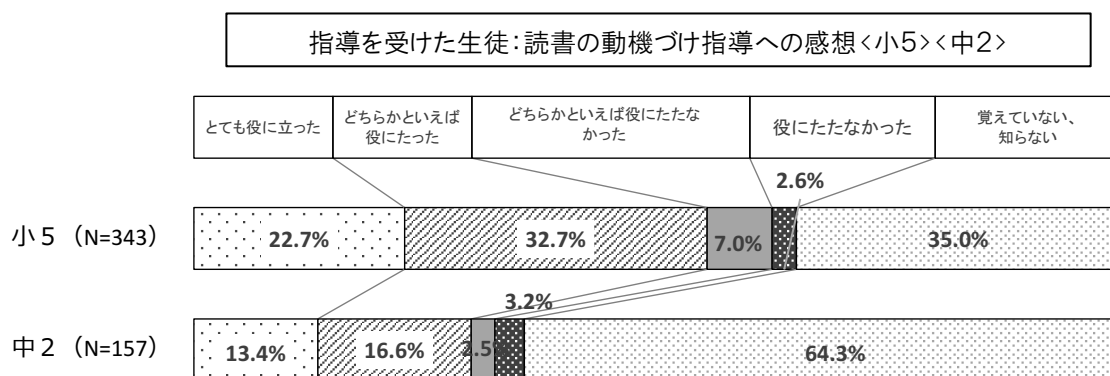
「その日は休んだ、転校してきたので分からない」と「不明」を除いた、「読書の動機づけ指導を受けた対象者」だけを抜き出して集計したものが下記のグラフである。

【小学5年生】

65.0%が指導のことを覚えており、55.4%が「とても＋どちらかといえば」を合わせた「役にたった」と回答した。「とても＋どちらかといえば」を合わせた「役にたたなかった」は合計で 9.6%にとどまっている。

【中学2年生】

小学3年生のときに行われた指導であるため、「おぼえていない」が 64.3%と3分の2を占めた。「とても＋どちらかといえば」を合わせた「役にたった」と回答した生徒は 30.0%であった。



## ② 読書の動機づけ指導後の読書変化<小5><中2>

問 19 (問 18 で「1～4」と答えた人にたずねます) この読書の動機づけ指導のあと、あなたの読書に変化はありましたか。(あてはまるものすべてに○)

### 【小学5年生】

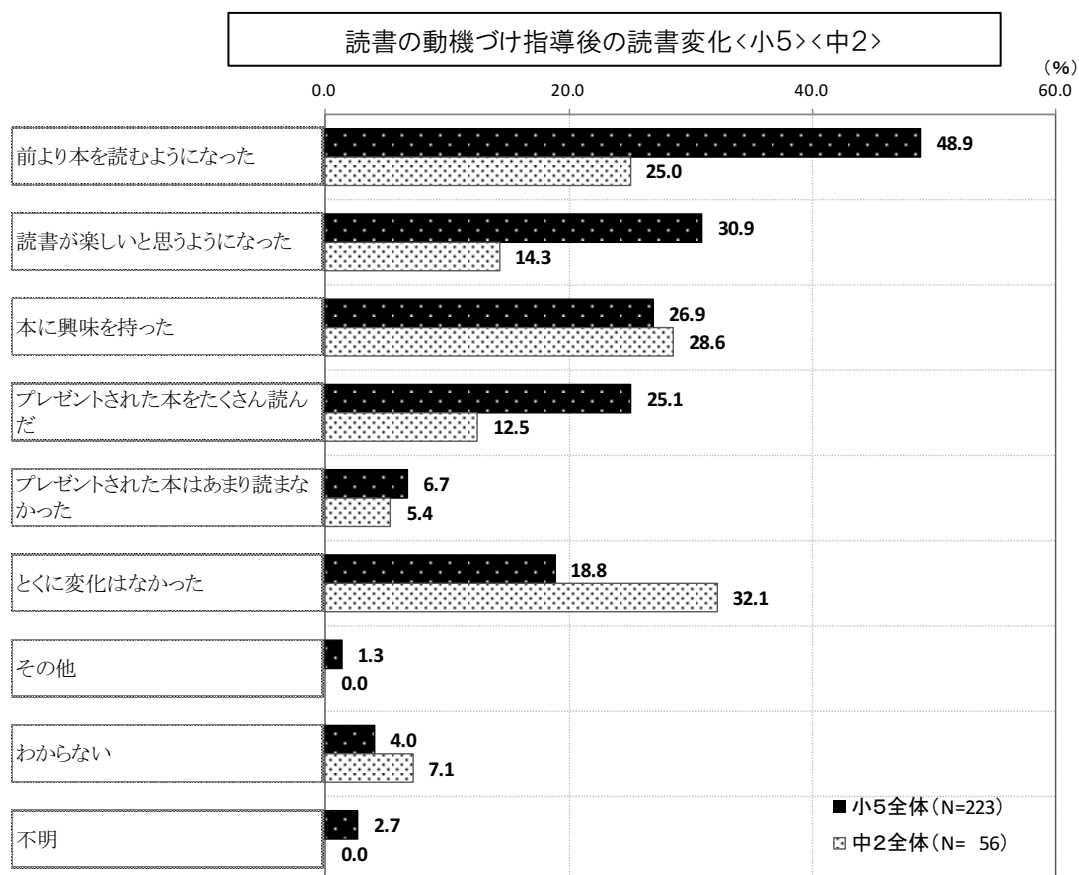
読書の動機づけ指導を受けたことをおぼえていて感想を述べた児童に聞いたところ、指導ののち、「前より本を読むようになった」が 48.9%、「読書が楽しいと思うようになった」が 30.9%、「本に興味をもった」が 26.9%、「プレゼントされた本をたくさん読んだ」が 25.1%であった。一方「とくに変化がなかった」は 18.8%、「プレゼントされた本はあまり読まなかった」は 6.7%にとどまっている。

女子の方が、「前より本を読むようになった」、「読書が楽しいと思うようになった」、「プレゼントされた本をたくさん読んだ」などポジティブな内容に高く反応している。一方で、男子は「とくに変化はなかった」が 21.5%と女子より高くなっている。

### 【中学2年生】

読書の動機づけ指導を受けたことをおぼえていて感想を述べた生徒に聞いたところ、「本に興味をもった」が 28.6%、「前より本を読むようになった」が 25.0%で、「とくに変化はなかった」が 32.1%であった。

性別では、「前より本を読むようになった」(33.3%)で16ポイント、「読書が楽しいと思うようになった」(18.5%)で8ポイント、女子の方が男子より高くなっている。一方で、「本に興味をもった」は、男子が 31.0%と、女子(25.9%)を5ポイント上回っている。



性別：読書の動機づけ指導後の読書変化<小5><中2>

(%)

		母数	前より本を読むようになった	読書が楽しいと思うようになった	本に興味を持った	プレゼントされた本をたくさん読んだ	プレゼントされた本はあまり読まなかった	とくに変化はなかった	その他	わからない	不明
小学5年	全体	223	48.9	30.9	26.9	25.1	6.7	18.8	1.3	4.0	2.7
	男性	107	44.9	23.4	25.2	15.9	6.5	21.5	0.9	5.6	3.7
	女性	116	52.6	37.9	28.4	33.6	6.9	16.4	1.7	2.6	1.7
中学2年	全体	56	25.0	14.3	28.6	12.5	5.4	32.1	0.0	7.1	0.0
	男性	29	17.2	10.3	31.0	10.3	3.4	41.4	0.0	3.4	0.0
	女性	27	33.3	18.5	25.9	14.8	7.4	22.2	0.0	11.1	0.0

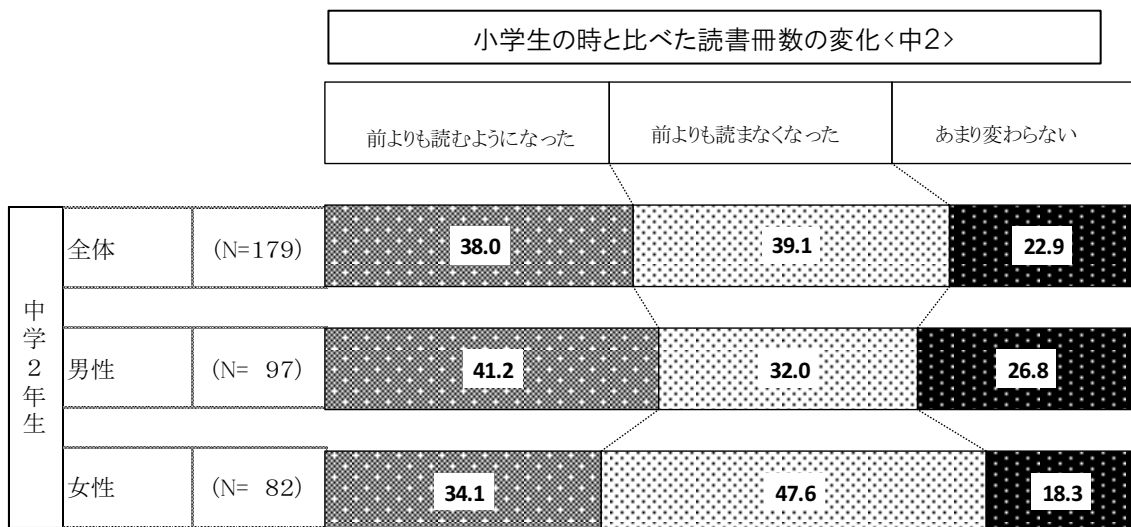
## (6) 読書冊数と読書内容の変化<中2のみ>

### ①読書冊数の変化<中2>

問 22 小学生の頃に比べて、本(紙の本)の読書冊数は変化しましたか。(○印1つ)

小学生のときと比べた読書冊数の増減について、「前よりも読むようになった」が 38.0%、「前よりも読まなくなった」が 39.1%、「あまり変わらない」が 22.9%であった。

性別では、男子は「前より読むようになった」(41.2%)の方が多く、女子はその逆で、「読まなくなった」(47.6%)の方が高くなっている。



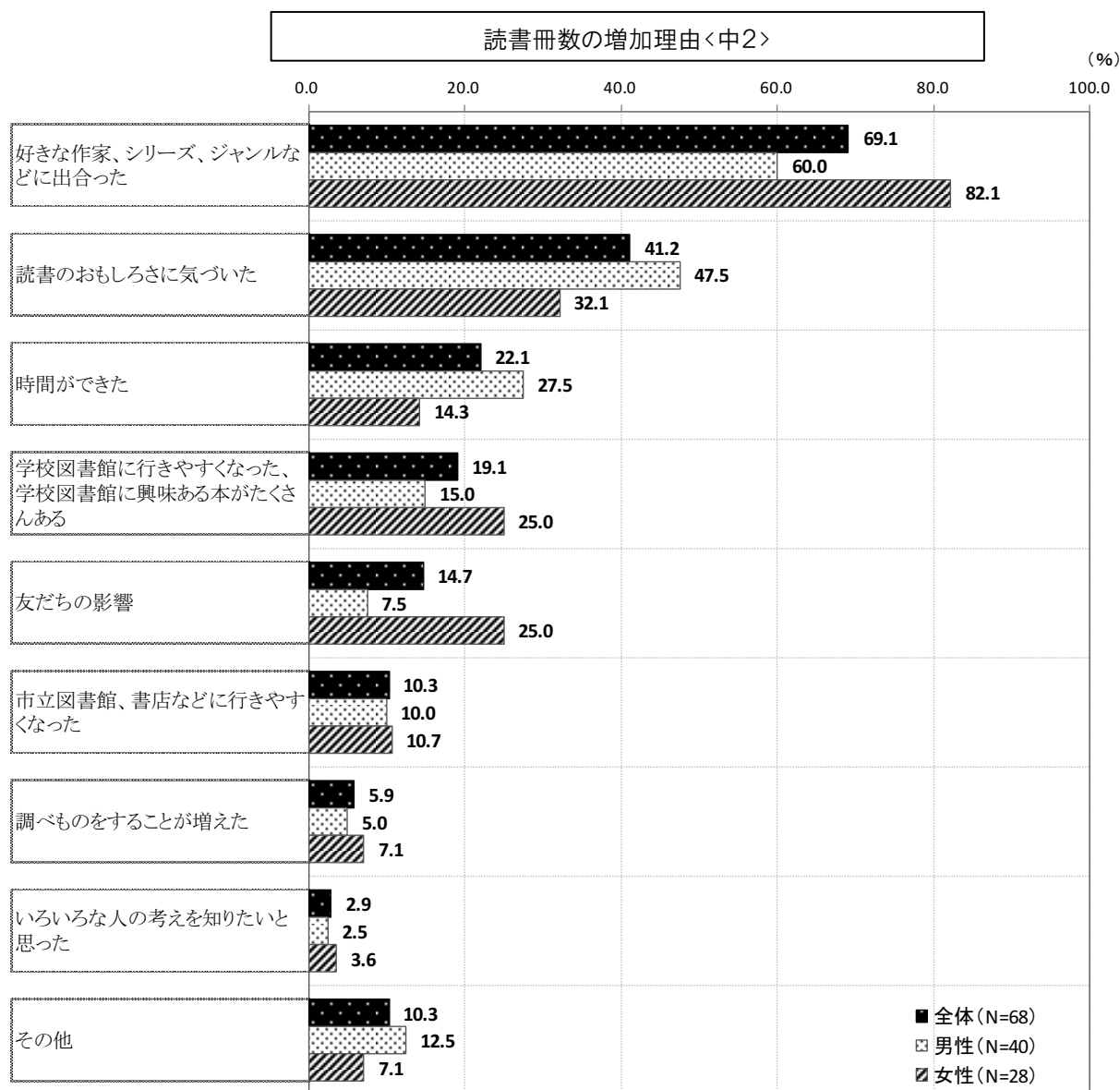
## ②読書冊数の増加理由<中2>

問 23 (問 22で「1」と答えた人にたずねます) 前よりも紙の本を読むようになった理由は何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

「小学生のときより読書冊数が増えた」という人に対して、増えた理由を聞いた。

「好きな作家、シリーズ、ジャンルなどに出会った」(69.1%)がもっとも高く、ついで「読書のおもしろさに気づいた」(41.2%)が続いている。

性別では、男子は「好きな作家、シリーズ、ジャンルなどに出会った」(60.0%)がもっとも高く、ついで「読書のおもしろさに気づいた」が47.5%となっている。女子も順位は男子生徒と変わらないが、「好きな作家、シリーズ、ジャンルなどに出会った」が82.1%と男子生徒より22ポイント高く、「友だちの影響」も25.0%となっている(男子は7.5%)。逆に「読書のおもしろさに気づいた」は32.1%に止まり、男子(47.5%)より15ポイント低くなっている。



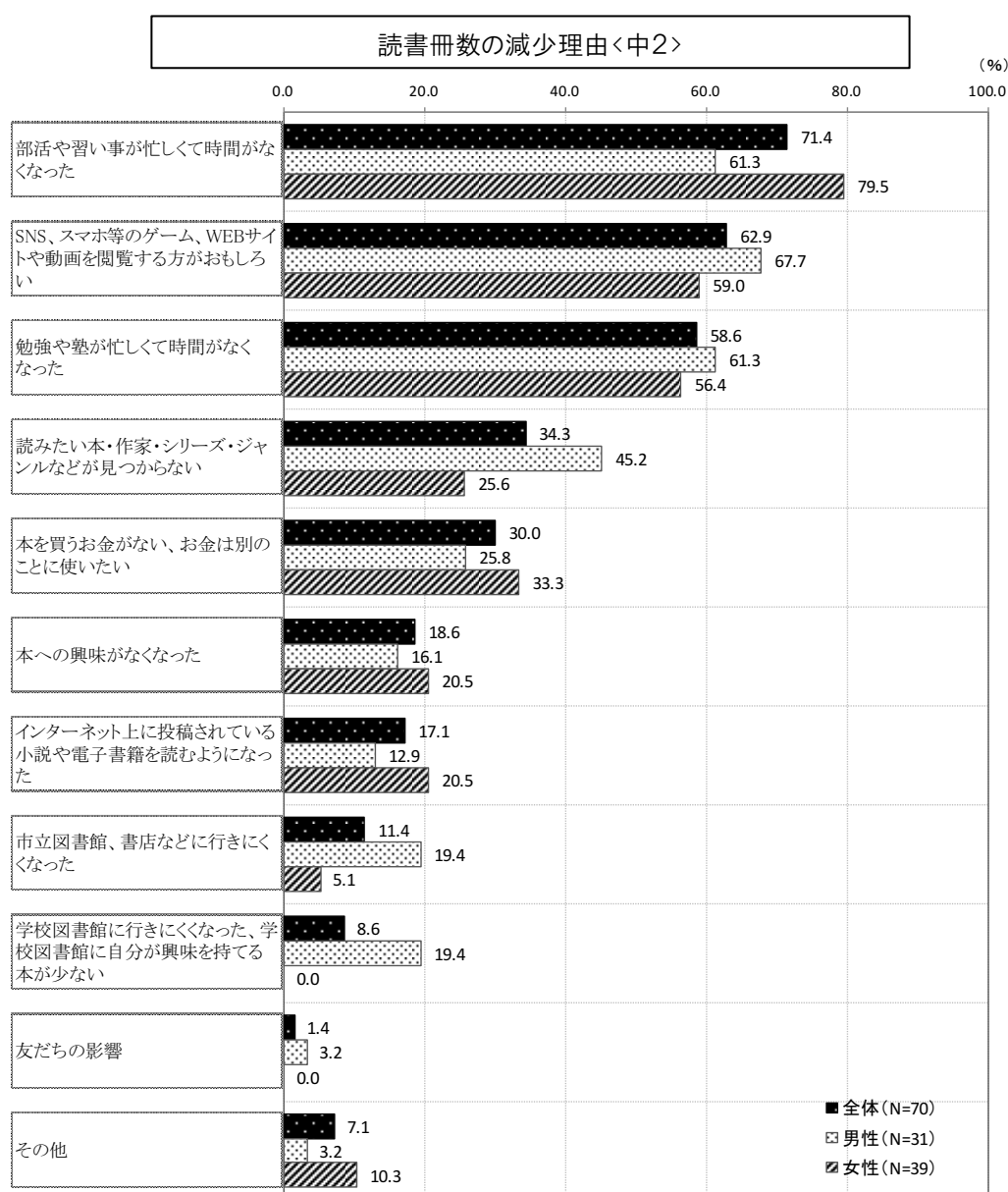
### ③読書冊数の減少理由<中2>

問 24 (問 22 で「2」と答えた人にたずねます) 前よりも紙の本を読まなくなった理由は何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

「小学生のときより読書冊数が減った」という人に対して、減った理由を聞いた。

減った理由としては、「部活や習い事が忙しくて時間がなくなった」(71.4%)および「勉強や塾が忙しくて時間がなくなった」(58.6%)と、時間的制約があげられている。加えて、2番目に「SNS、スマホ等のゲーム、WEBサイトや動画を閲覧する方がおもしろい」(62.9%)があげられた。

性別では、「SNS、スマホ等のゲーム、WEBサイトや動画を閲覧する方がおもしろい」(男子 67.7%、女子 59.0%)、「読みたい本・作家・シリーズ・ジャンルなどが見つからない」(男子 45.2%、女子 35.6%)は男子の方が高い。一方で女子は「部活や習い事が忙しくて時間がなくなった」が男子より18ポイント高くなっている。



## (7) 電子書籍・インターネット上の小説の読書状況<中2のみ>

### ①1ヶ月の電子書籍・インターネット上の小説の読書状況<中2>

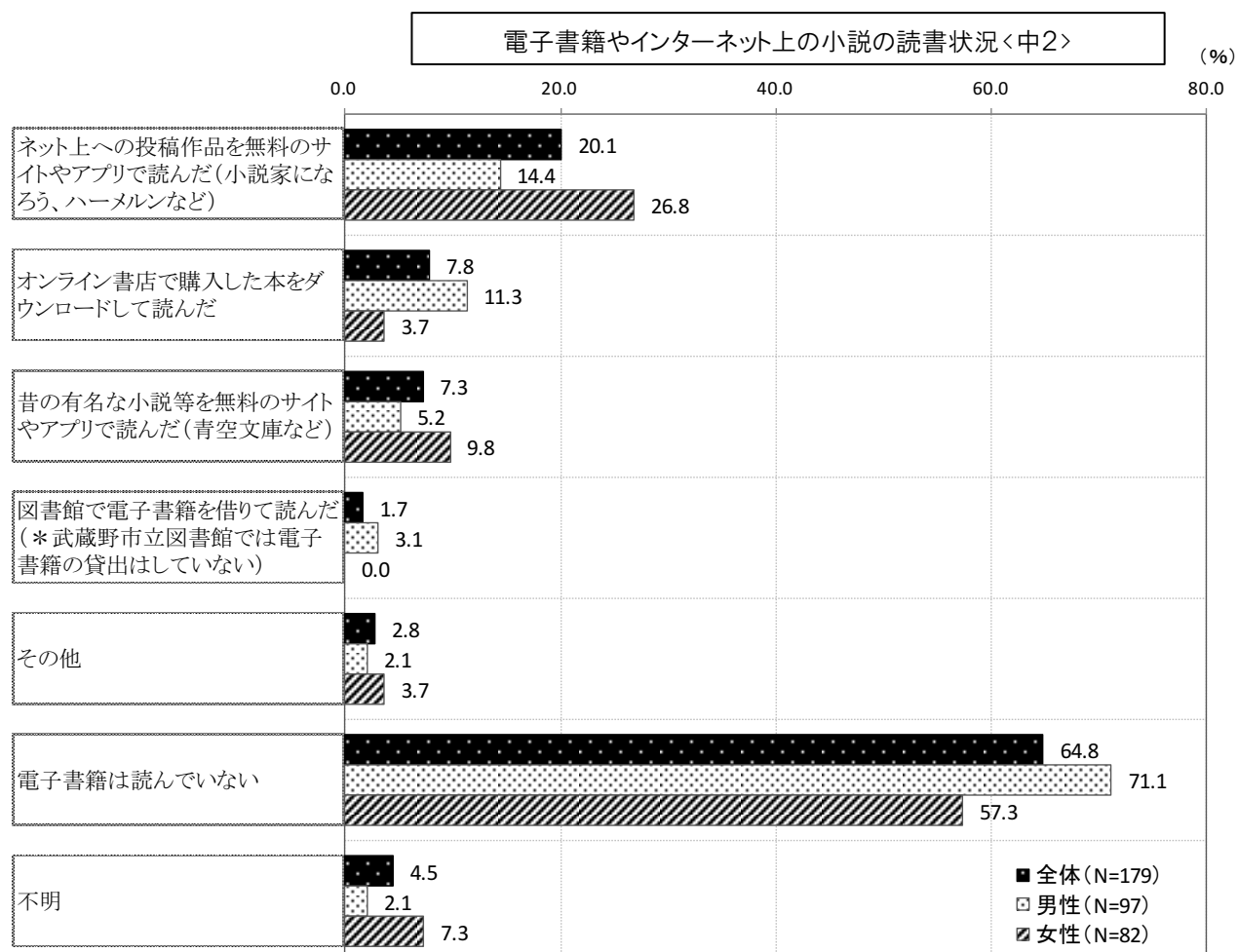
問 25 あなたは過去1カ月に電子書籍やインターネット上の小説などを読みましたか。

(あてはまるものすべてに○)

電子書籍・インターネット上の小説を読んだ中学2年生は30.7%となっている。

読んだコンテンツとしてもっとも多かったのは「(本になっていない)ネット上への投稿作品を無料のサイトやアプリで読んだ」20.1%(読んだ生徒55名の中では65.5%)であり、紙の本を電子化した「オンライン書店で購入した本をダウンロードして読んだ」7.8%(読んだ55名中25.5%)および「昔の有名な小説等を無料のサイトやアプリで読んだ」7.3%(読んだ55名中23.6%)に差をつけている。

性別では、「読んだ」生徒は男子が26.8%、女子が35.4%と女子の方が多い。読んだ内容としては、男女とも「ネット上への投稿作品を無料のサイトやアプリで読んだ」がもっとも多く、男子生徒が14.4%(読んだ26名中53.8%)、女子生徒が26.8%(読んだ29名中75.9%)となっている。



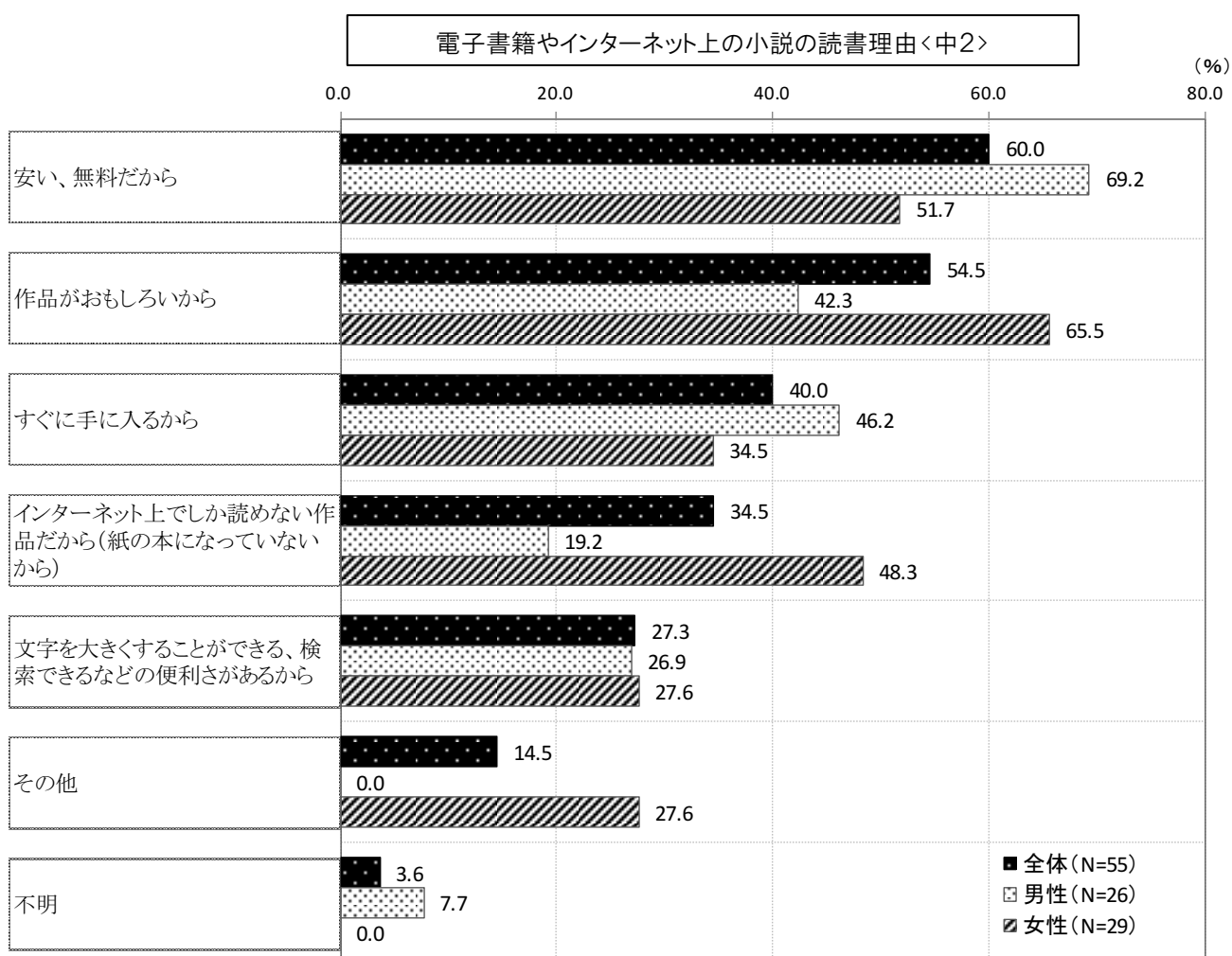


## ②電子書籍やインターネット上の小説読書理由<中2>

問 26 (問 25 で「1～5」と答えた人にたずねます) 電子書籍やインターネット上の小説などを読んだ理由は  
何ですか。(あてはまるものすべてに○)

電子書籍やインターネット上の小説を読む理由では、「安い、無料だから」が 60.0%でもっとも高い。ついで「作品がおもしろいから」が 54.5%、「すぐに手に入るから」が 40.0%、「インターネット上でしか読めない作品だから」が 34.5%、「文字を大きくすることができる、検索ができるなどの便利さがあるから」が 27.3%であった。

性別では、男子では「安い、無料だから」(69.2%)、「すぐに手に入るから」(46.2%)と価格や利便性が上位にあげられ、女子は「作品がおもしろいから」(65.5%)、「インターネット上でしか読めない作品だから」(48.3%)など、コンテンツの魅力を上位にあげている。





---

## 第3章 保護者調査

---

# 1 回答者の属性

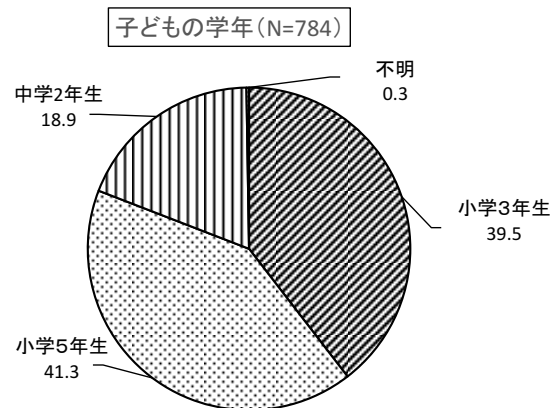
## ◆子どもの学校別構成

		合計	第一小	第二小	第三小	第四小	第五小	大野田小	境南小	本宿小	千川小	井之頭小	関前南小	桜野小
全 体	実数	784	71	48	53	49	60	46	51	57	46	46	50	59
	%	100.0	9.1	6.1	6.8	6.3	7.7	5.9	6.5	7.3	5.9	5.9	6.4	7.5
小学 3年生	実数	310	35	19	27	29	25	22	22	30	18	27	25	31
	%	100.0	11.3	6.1	8.7	9.4	8.1	7.1	7.1	9.7	5.8	8.7	8.1	10.0
小学 5年生	実数	324	36	29	26	20	35	24	27	27	28	19	25	28
	%	100.0	11.1	9.0	8.0	6.2	10.8	7.4	8.3	8.3	8.6	5.9	7.7	8.6

※境南小で学年不明2名

		合計	第一中	第二中	第三中	第四中	第五中	第六中
全 体	実数	748	20	21	22	30	28	27
	%	100.0	2.6	2.7	2.8	3.8	3.6	3.4
中学 2年生	実数	148	20	21	22	30	28	27
	%	100.0	13.5	14.2	14.9	20.3	18.9	18.2

## ◆子どもの学年構成



## ◆子どもの性別構成

子どもの性構成(学年別)

		男 性	女 性
全 体	(N=784)	51.0	49.0
小学3年保護者	(N=310)	50.6	49.4
小学5年保護者	(N=324)	50.6	49.4
中学2年保護者	(N=148)	52.7	47.3

## 2 調査結果

### (1) 子どもの読書状況

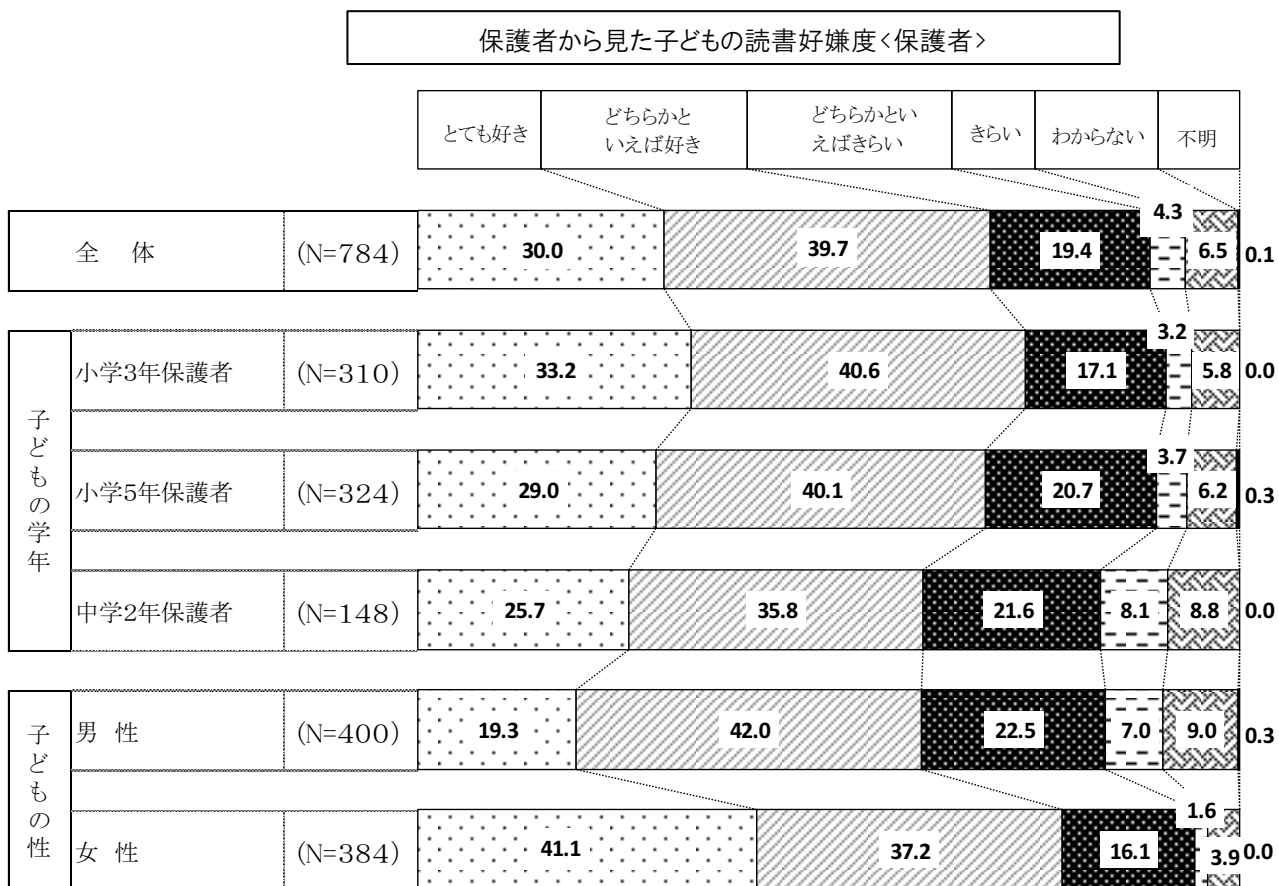
#### ①保護者から見た子どもの読書に対する好嫌度

問4 保護者から見て、お子様は読書が好きですか。(○印1つ)

全体では、「とても好き」(31.0%)、「どちらかといえば好き」(39.7%)、あわせて 69.7%の保護者が、自分の子供は「読書が好き」と思っている。

子どもの学年別(以下学年別)では、小学3年生保護者(以下小3保護者)では「とても好き」は 33.2%、小5保護者は 29.0%、中2保護者は 25.7%と学年があがるにつれて低くなり、「どちらかといえば好き」の割合も同様の傾向がみられるため、「好き(とても好き+どちらかといえば好き)」の割合は小3保護者が 73.8%、小5保護者が 69.1%、中2保護者が 61.5%となっている。

子どもの性別では、男の子の保護者(以下男子保護者)は「とても好き」が 19.3%に対し、女の子の保護者(以下女子保護者)は 41.1%と21.8ポイントの差がある。「好き」の割合でも男子保護者は 61.3%に対し、女子保護者は 78.3%と8割近くに達している。



## ②子どもが読んでいる本の入手方法

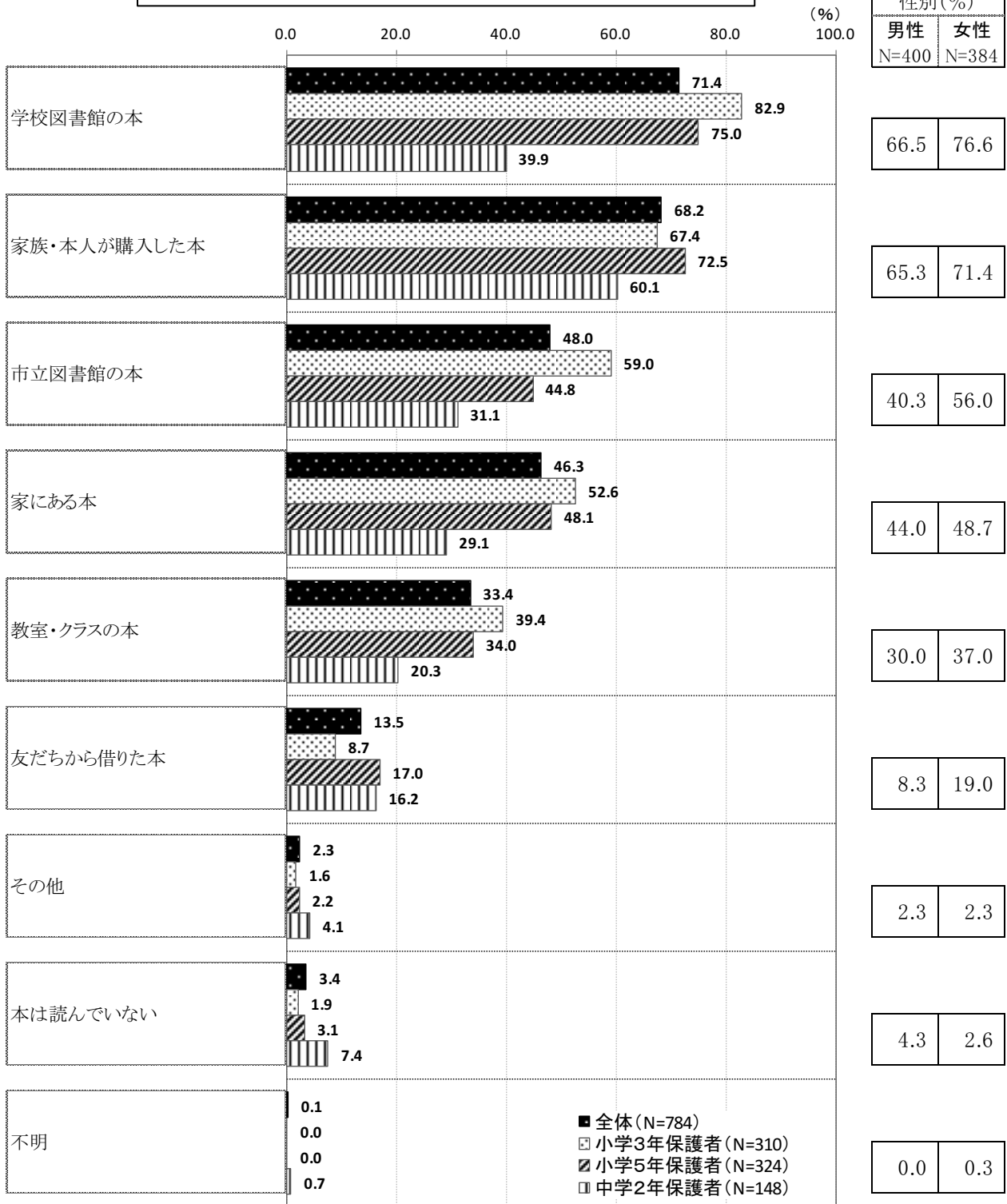
問5 お子様は、主にどういった本を読んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「学校図書館の本」が 71.4%でもっとも高く、ついで「家族・本人が購入した本」(68.2%)、「市立図書館の本」(48.0%)、「家にある本」(46.3%)が続いている。

小3保護者では「学校図書館の本」が 82.9%と8割を超え、3学年でもっとも高い。小3は小5・中2に比べて読書冊数が多いためか、小3保護者は各項目で他の学年の保護者よりも高い割合を示し、入手方法は多岐にわたっている。小5保護者では、「学校図書館の本」(75.0%)と「家族・本人が購入した本」(72.5%)がほぼ同率でもっとも高い。中2保護者になると「家族・本人が購入した本」が 60.1%でもっとも高くなり、続く「学校図書館の本」(39.9%)を大きく上回る。子どもの学年が上がるにつれて「学校図書館の本」から「家族・本人が購入した本」に移行していく様子が見えてくる。

子どもの性別では、女子保護者は男子保護者に比べてほとんどの入手方法の割合が高くなっている。男子保護者では「家族・本人が購入した本」「学校図書館の本」が 66%前後と他の入手方法とは差があり高い割合を示している。

子どもが読んでいる本の入手方法<保護者>



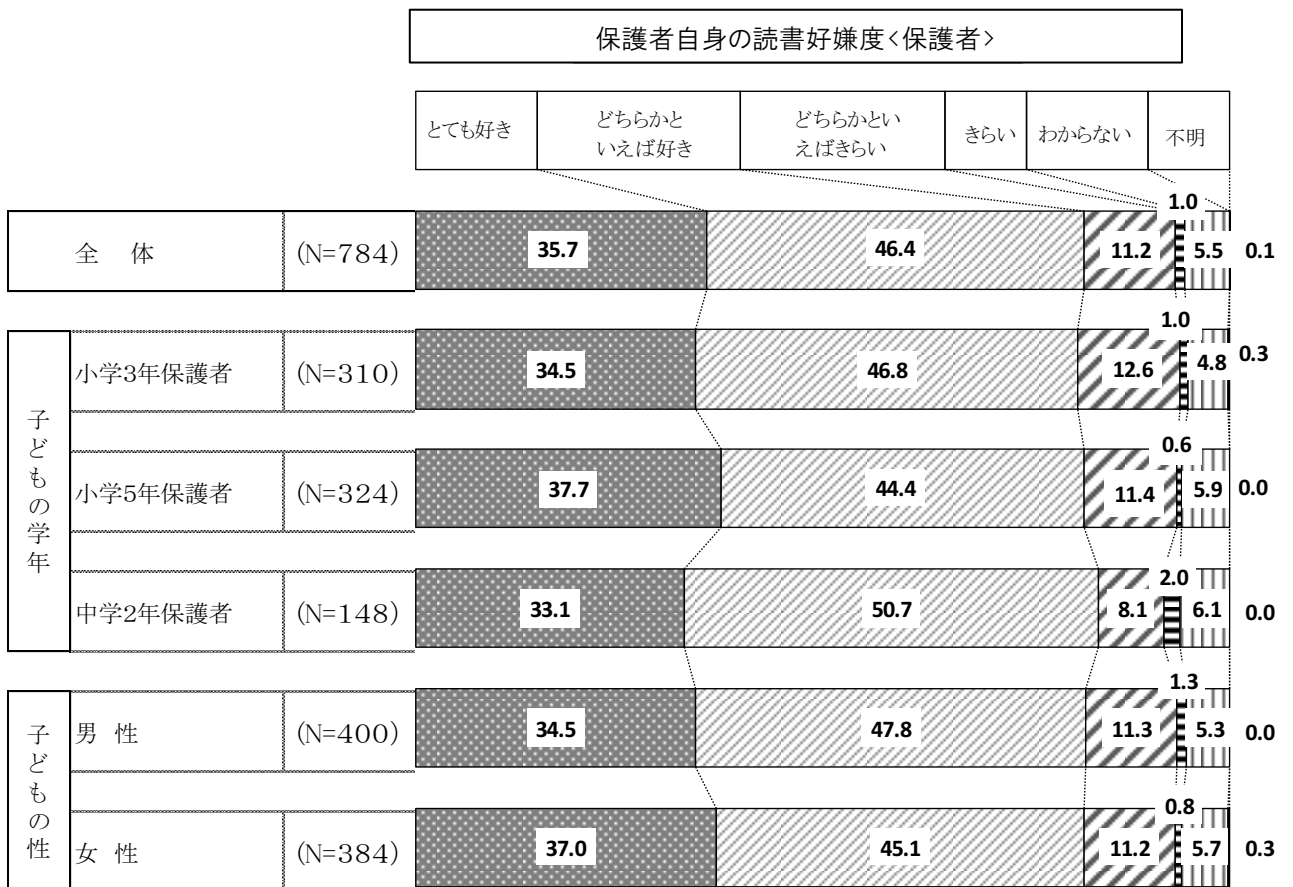
## (2) 保護者自身の読書状況

### ①保護者自身の読書に対する好嫌度

問6 あなたご自身は読書が好きですか。(○印1つ)

保護者自身の読書に対する好嫌度をみると「とても好き」が 35.7%、「どちらかといえば好き」が 46.4%で、「好き(とても好き+どちらかといえば好き)」は 82.1%と、8割を超えている。

子どもの学年別や子どもの性別では大きな差は見られない。





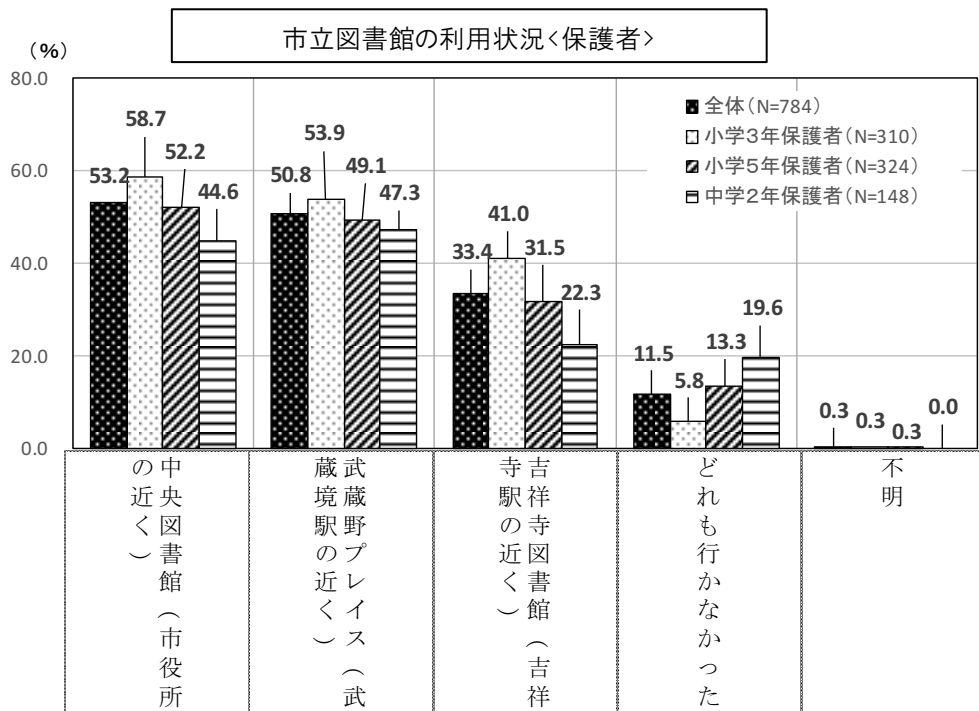
## ②保護者自身のこの1年間の市立図書館利用状況

問7 あなたご自身はこの1年間に、市立図書館に行きましたか。(行った図書館すべてに○)

保護者自身のこの1年間の市立図書館への利用状況を見ると、「中央図書館」が53.2%、「武蔵野プレイス」が50.8%、「吉祥寺図書館」が33.4%となっている。「どれも行かない」は11.5%(+不明0.3%)であることから、88.2%の保護者がいずれかの図書館を利用している。

子どもの学年があがるとともに各図書館への利用率は低くなっている。小3保護者と小5保護者では「中央図書館」が最も高いが、中2保護者は「武蔵野プレイス」がわずかの差であるがもっとも高くなっている。

子どもの性別では、男子保護者より女子保護者の方が、各図書館への利用割合がやや高い傾向がみられる。



子どもの性別:市立図書館の利用状況<保護者>

		母数					(%)
		中央図書館	武蔵野プレイス	吉祥寺図書館	どれも行かなかった	不明	
全体		784	53.2	50.8	33.4	11.5	0.3
子どもの性別	男性	400	51.5	49.3	31.3	13.0	0.3
	女性	384	54.9	52.3	35.7	9.9	0.3

### (3) 読書に関する子どもへの働きかけ

問8 子どもの読書活動を促すために、あなたや家族が行っている(行ってきた)ことは何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

子どもの読書活動促進のために保護者が行っている(行ってきた)ことでは、全体では、「幼児のときに読み聞かせをしていた」が84.6%と最も高い。ついで「子どもが欲しい本を買い与えた・買い与えている」(70.5%)、「子どもが手に取りやすいところに本を置いている・置いていた」(66.2%)、「子どもと一緒に図書館や書店に行った・行っている」(65.3%)、「親がよいと思う本を買い与えた・買い与えている」(51.7%)がいずれも5割を超えている。

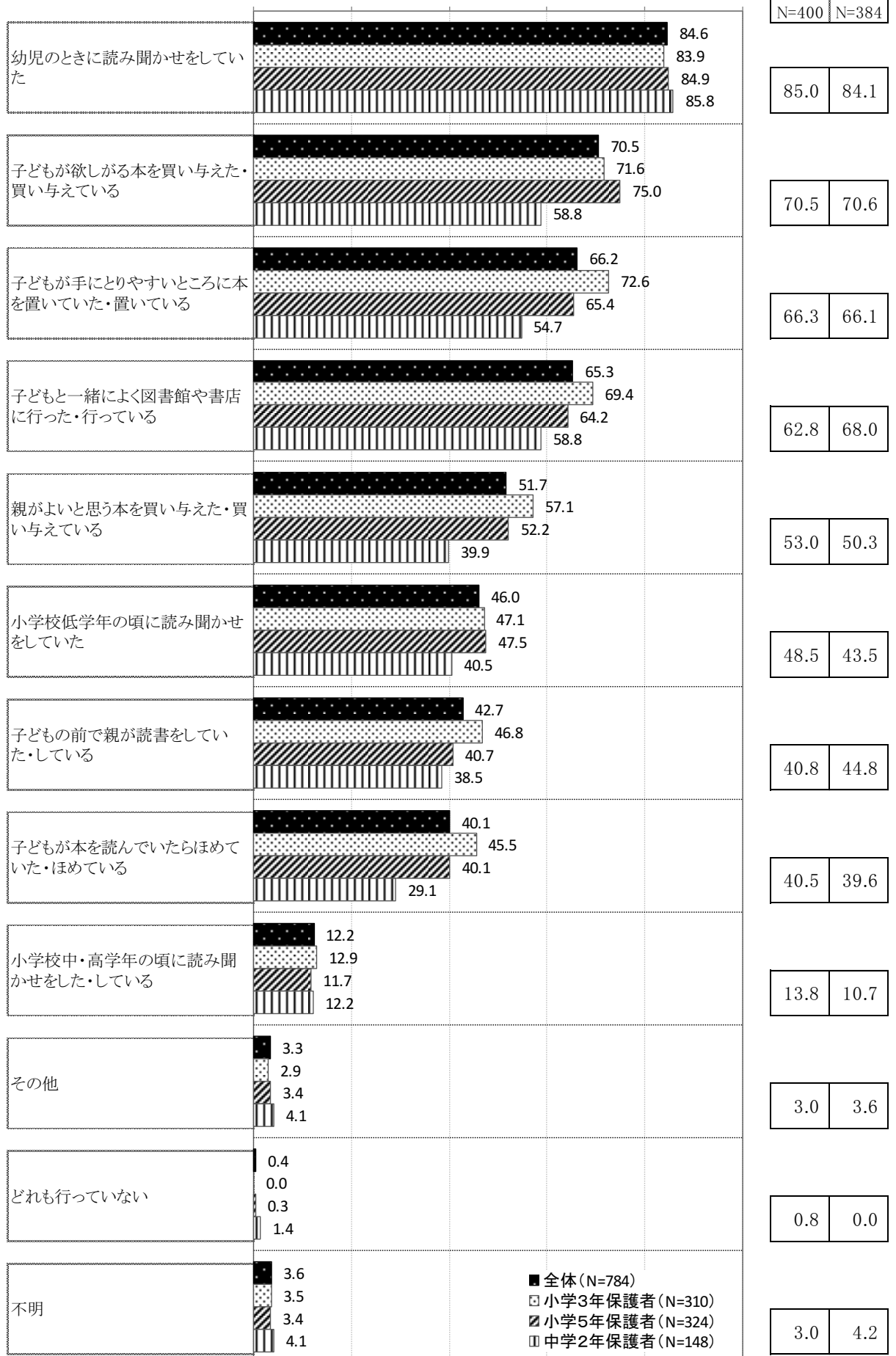
子どもの学年別では、各学年の保護者ともに「幼児のときに読み聞かせをしていた」が80%を超えても最も高い。小3保護者は小5保護者および中2保護者より、多くの取組に回答する傾向がみられた。

子どもの性別では、男子、女子保護者ともに各項目ほとんど同等の割合で、差はみられない。

子どもへの読書に関する働きかけ〈保護者〉

(%)

子どもの性別(%)	
男性	女性
N=400	N=384



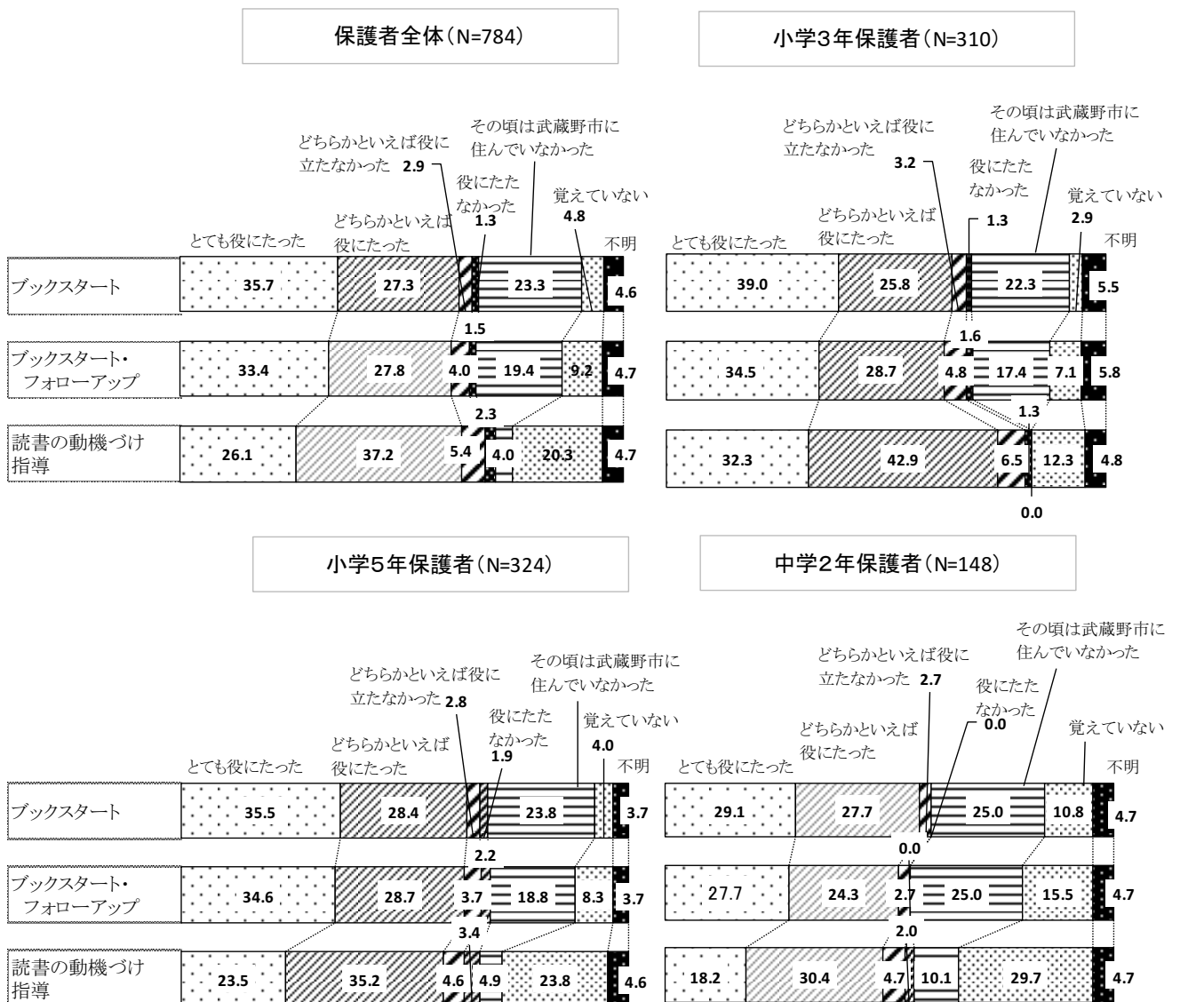
## (4) 武蔵野市による子ども読書推進活動に対する保護者の意識

### ①武蔵野市による子ども読書推進活動に関する取組への感想<保護者>

問9 武蔵野市が行っている次の子ども読書推進活動は、あなたのお子様の読書活動に役立ったと思いますか。(○印はそれぞれ1つ)

武蔵野市が子ども読書推進のために取り組んでいる「ブックスタート」「ブックスタート・フォローアップ」「読書の動機づけ指導」について尋ねたところ、いずれも「役にたった(とても役にたった+どちらかといえば役にたった)」が6割を超えた。

### 武蔵野市による子ども読書推進に関する取組への感想<保護者>



ブックスタート(3~4カ月の乳児検診の際に絵本等を手渡す)  
 ブックスタート・フォローアップ(3歳児検診の際に絵本等を手渡す)  
 読書の動機づけ指導(小3生対象。図書館職員と講師が学校を訪ねて本を紹介し、その本をクラスに贈呈する)

子どもの性別：武蔵野市による子ども読書推進に関する取組への感想〈保護者〉

(%)

		ブックスタート							ブックスタート・フォローアップ							
		母数	とても役に立った	にどちらかといえは役	にどちらかといえは役	役に立った	住その頃は武蔵野市に	ない覚えていない、知ら	不明	とても役に立った	にどちらかといえは役	にどちらかといえは役	役に立った	住その頃は武蔵野市に	ない覚えていない、知ら	不明
全体		784	35.7	27.3	2.9	1.3	23.3	4.8	4.6	33.4	27.8	4.0	1.5	19.4	9.2	4.7
子どもの性別	男性	400	36.5	24.5	3.5	1.3	25.3	4.8	4.3	33.5	26.5	4.0	1.3	19.8	10.5	4.5
	女性	384	34.9	30.2	2.3	1.3	21.4	4.9	4.9	33.3	29.2	3.9	1.8	19.0	7.8	4.9

		読書の動機づけ指導							
		母数	とても役に立った	にどちらかといえは役	にどちらかといえは役	役に立った	住その頃は武蔵野市に	ない覚えていない、知ら	不明
全体		784	26.1	37.2	5.4	2.3	4.0	20.3	4.7
子どもの性別	男性	400	23.3	37.5	5.8	3.0	3.8	23.0	3.8
	女性	384	29.2	37.0	4.9	1.6	4.2	17.4	5.7

ブックスタート(3~4カ月の乳児検診の際に絵本等を手渡す)

ブックスタート・フォローアップ(3歳児検診の際に絵本等を手渡す)

読書の動機づけ指導(小3生対象。図書館職員と講師が学校を訪ねて本を紹介し、その本をクラスに贈呈する)

◆対象者のみの集計

「その頃は武蔵野市に住んでいなかった」と「不明」を除いた、「各取組みの対象者であったと思われる保護者」だけを抜き出して集計したものが次ページのグラフである。

【ブックスタート】

保護者全体の93.3%が覚えており(全体から「覚えていない、知らない」(6.7%)をマイナス)、半数近い49.6%が「とても役に立った」と回答した。「とても+どちらかといえは」を合計した「役に立った」は87.5%に達しており、評価は非常に高い。子どもの年齢が上がるほど「覚えていない」比率はあがるが、いずれの年齢でも高い評価となっている。

【ブックスタート・フォローアップ】

ブックスタートより若干低いものの、保護者全体の87.9%が覚えてお、44.0%が「とても役に立った」と回答した。「とても+どちらかといえは」を合計した「役に立った」は80.6%であり、こちらについても高い評価を得ている。ブックスタートと同じく、年齢が上がるほど「覚えていない」比率があがるが、いずれの年齢でも高い評価であることは変わらない。

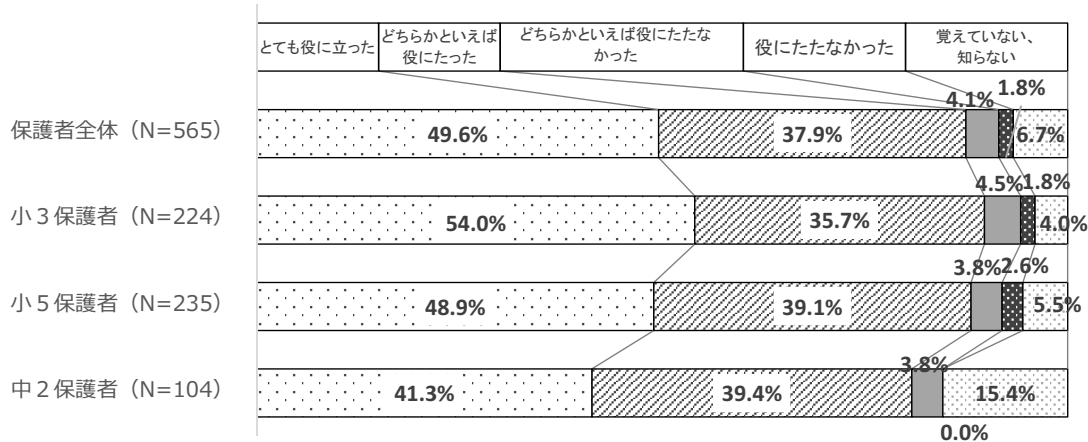
【読書の動機づけ指導】

読書の動機づけ指導は、小学校3年生児童対象であるため(希望する保護者は参加可能)、記憶している保護者は、上記2つの取組よりは少なくなっている。それでも、指導を受けたばかりの小3保護者では87.1%、中2保護者でも3分の2にあたる65.1%が覚えていて何らかの感想を回答した。

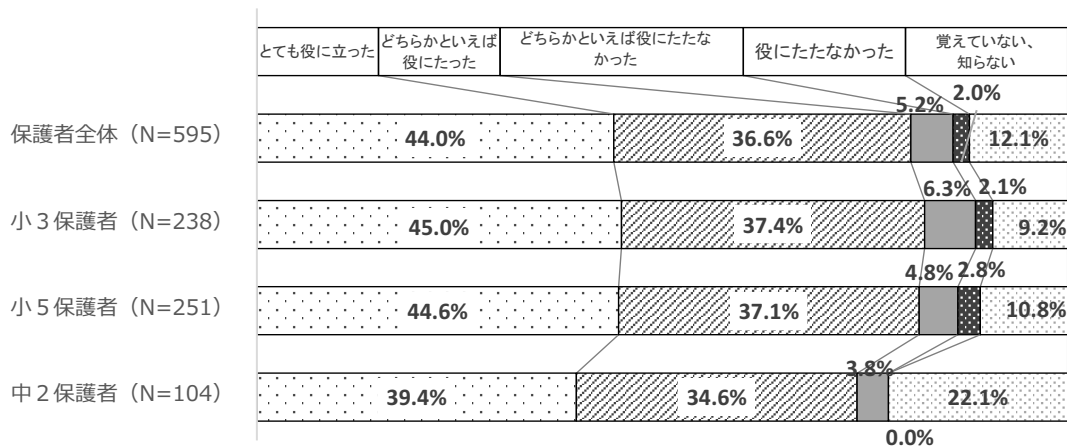
小3保護者では、33.9%が「とても役にたった」と回答し、「とても+どちらかといえば」を合計した「役にたった」は79.0%と、8割近くとなっている。他の学年でも、覚えている保護者の評価は高く、「役にたった」は、小5保護者で64.4%、中2保護者で57.1%であった。

各取組への参加者のみ：武蔵野市による子ども読書推進に関する取組への感想<保護者>

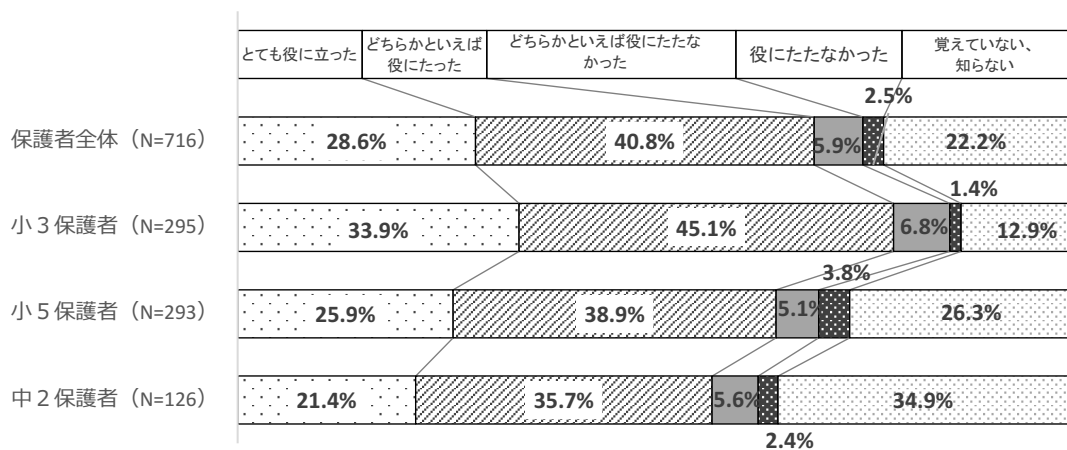
【ブックスタート】



【ブックスタート・フォローアップ】



【読書の動機づけ指導】



## ②子どもの読書活動推進のために望まれる取組<保護者>

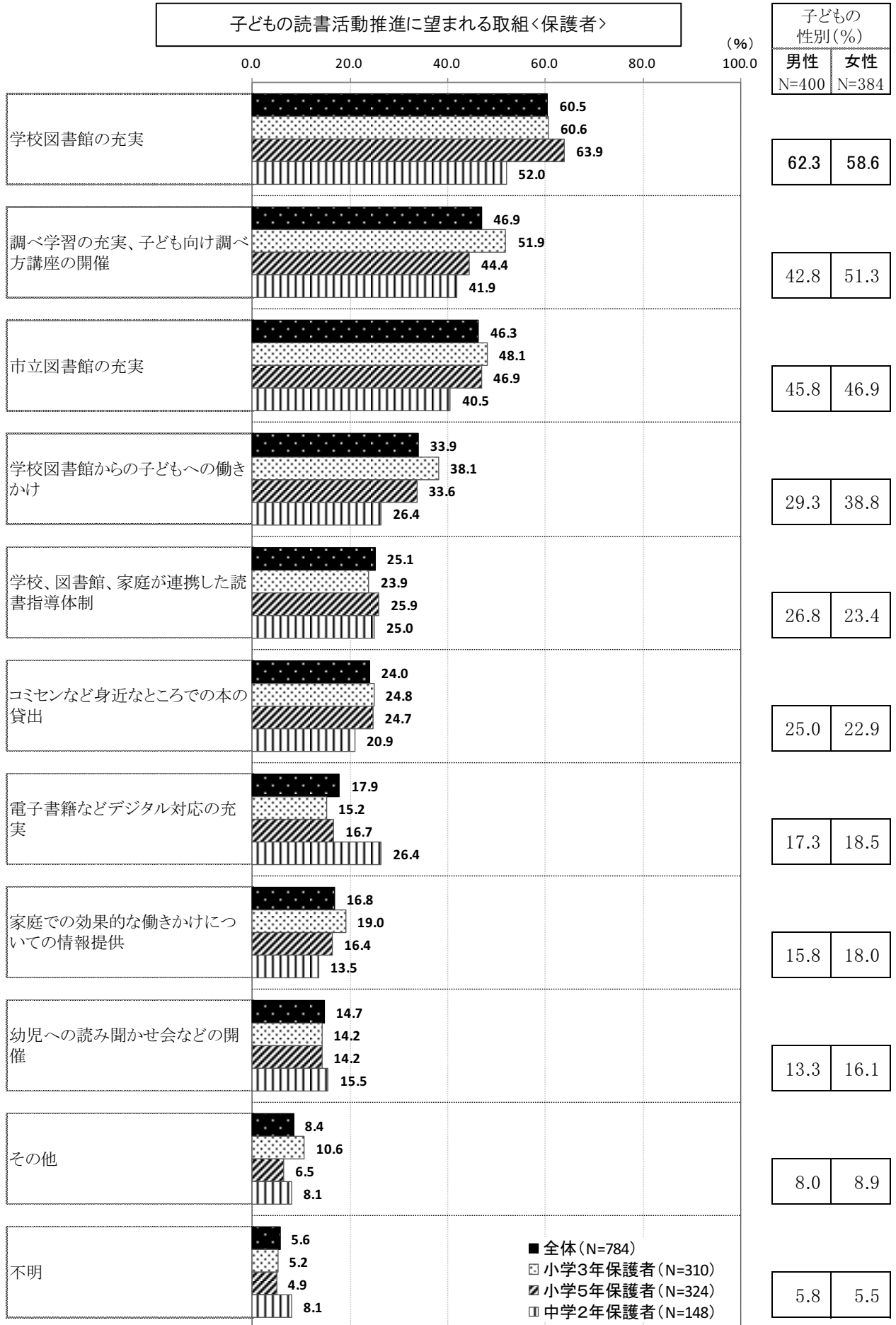
問 10 今後、子どもの読書活動を推進するにあたり、どのような取組があればよいと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

今後、子どもの読書活動を推進するにあたり望まれる取組については、「学校図書館の充実」が 60.5%でトップにあげられた。ついで「調べ学習の充実、子ども向け調べ方講座の開催」(46.9%)、「市立図書館の充実」(46.3%)が続いている。

小3、小5、中2の3学年の保護者すべてで「学校図書館の充実」「調べ学習の充実、子ども向け調べ方講座の開催」「市立図書館の充実」が上位であるのは変わらない。全体に中2保護者は回答の比率が低いが、「電子書籍などデジタル対応の充実」については中2保護者の割合がもっとも高くなっている。

子どもの性別では、「学校図書館から子どもへの働きかけ」「調べ学習の充実、子ども向け調べ方講座の開催」について、女子の方が9ポイント前後高くなっている。

子どもの読書活動推進に望まれる取組<保護者>





---

## 第4章 4つの調査の横断分析

---

# 1 回答者属性

## ◆回答者学校名

【小3・小5・中2調査:学校名】

	母数	第一小	第二小	第三小	第四小	第五小	大野田小	境南小	本宿小	千川小	井之頭小	関前南小	桜野小
小学3年	(N=348)	10.1	7.2	8.9	8.6	8.0	8.9	8.0	9.5	5.7	8.0	7.2	9.8
小学5年	(N=367)	9.5	8.2	7.9	5.7	9.8	8.7	10.1	8.2	7.6	7.4	6.8	10.1

(%)

	母数	第一中	第二中	第三中	第四中	第五中	第六中
中学2年	(N=179)	10.1	7.2	8.9	8.6	8.0	8.9

【保護者調査:子どもが通っている学校名】

	母数	第一小	第二小	第三小	第四小	第五小	大野田小	境南小	本宿小	千川小	井之頭小	関前南小	桜野小
小学3年生	(N=310)	11.3	6.1	8.7	9.4	8.1	7.1	7.1	9.7	5.8	8.7	8.1	10.0
小学5年生	(N=324)	11.1	9.0	8.0	6.2	10.8	7.4	8.3	8.3	8.6	5.9	7.7	8.6

(%)

※境南小で学年不明2名

	母数	第一中	第二中	第三中	第四中	第五中	第六中
中学2年生	(N=148)	13.5	14.2	14.9	20.3	18.9	18.2

## ◆回答者性別

		母数	男性	女性	不明
生徒調査・児童	小学3年	(N=348)	52.9	46.8	0.3
	小学5年	(N=367)	52.0	47.7	0.3
	中学2年	(N=179)	54.2	45.8	0.0
子ども保護者調査	小学3年	(N=310)	50.6	49.4	0.0
	小学5年	(N=324)	50.6	49.4	0.0
	中学2年	(N=148)	52.7	47.3	0.0

(%)

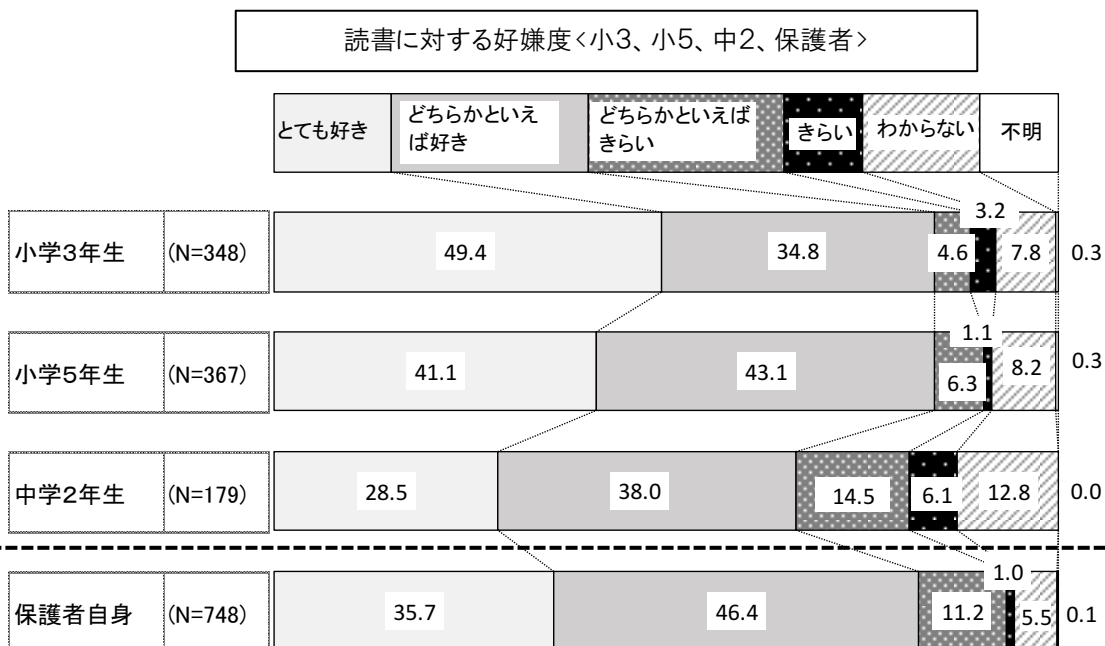
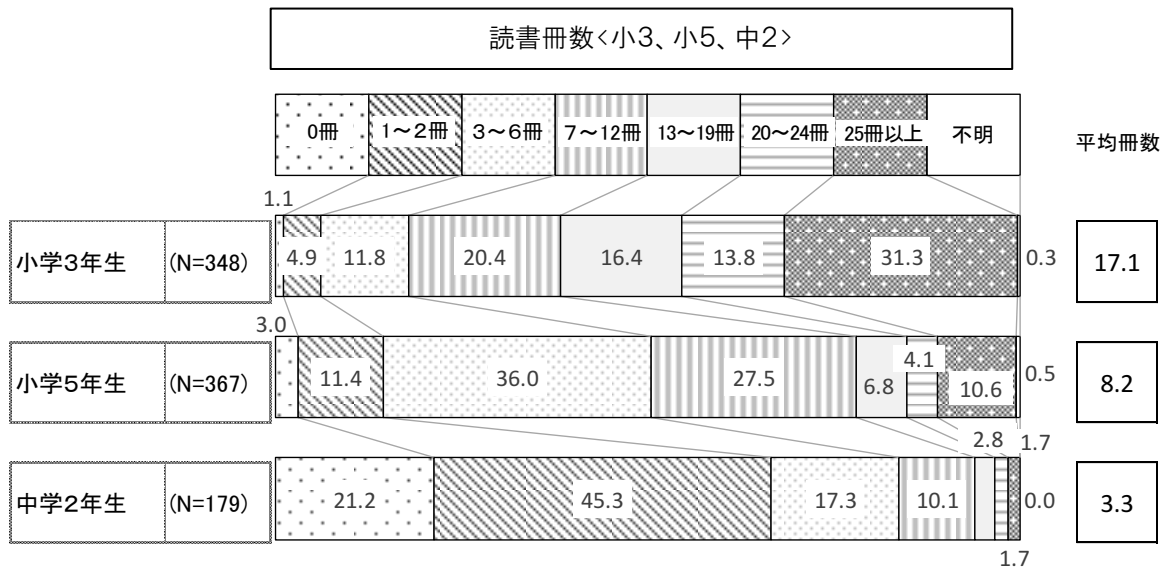
## 2 調査結果

### (1) 読書の状況

#### ①読書量・読書への意欲<小3、小5、中2>

年齢が低いほど読書に対して積極的であり、読書量も多い。小学3年生で1.1%だった不読率は中学2年生では21.1%まであがり、また、読書冊数も大きく異なっている。小学3年生では1ヶ月に17.1冊であった1ヶ月平均読書冊数は、中学2年生では3.3冊まで減少している。

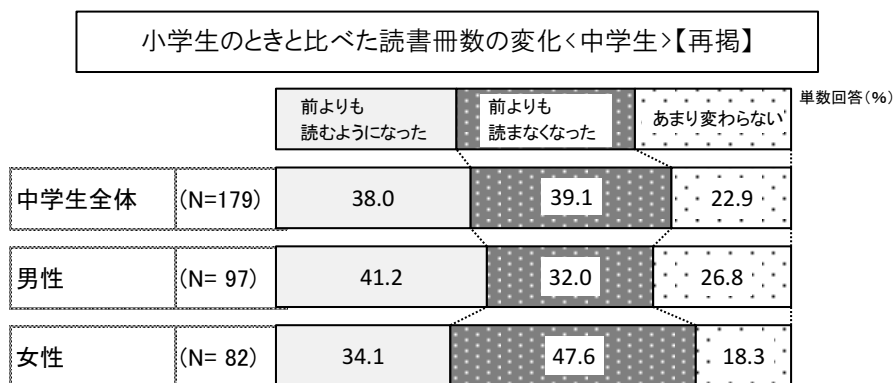
読書冊数と比例するように、読書に対する意欲(好意)も、年齢が上がるほど下がっていく。ただし、小学3年生で84.2%と非常に高かった「とても+どちらかといえば」を合計した「読書が好き」は、中学2年生でも減少したとはいえ66.5%は維持しており、中学2年生も3分の2は読書が「好き」と考えている。



## ②読書量の変化

中学2年生に、小学生時代からの読書量の変化を聞いたところ、「前よりも読まなくなった」と「前よりも読むようになった」は同程度となっている。この結果だけみれば、読書量は小5と大差ないはずであるが、実態的には、小学5年生と比べて不読率はあがっており、また、平均読書冊数も減少している。

前述のように、中学生の読書の好嫌度は、小5の時と比べて読書冊数ほどは大きく変わっていないことから、中学生本人の意識としては、読書量が減っているとはあまり認識していない可能性も考えられる。



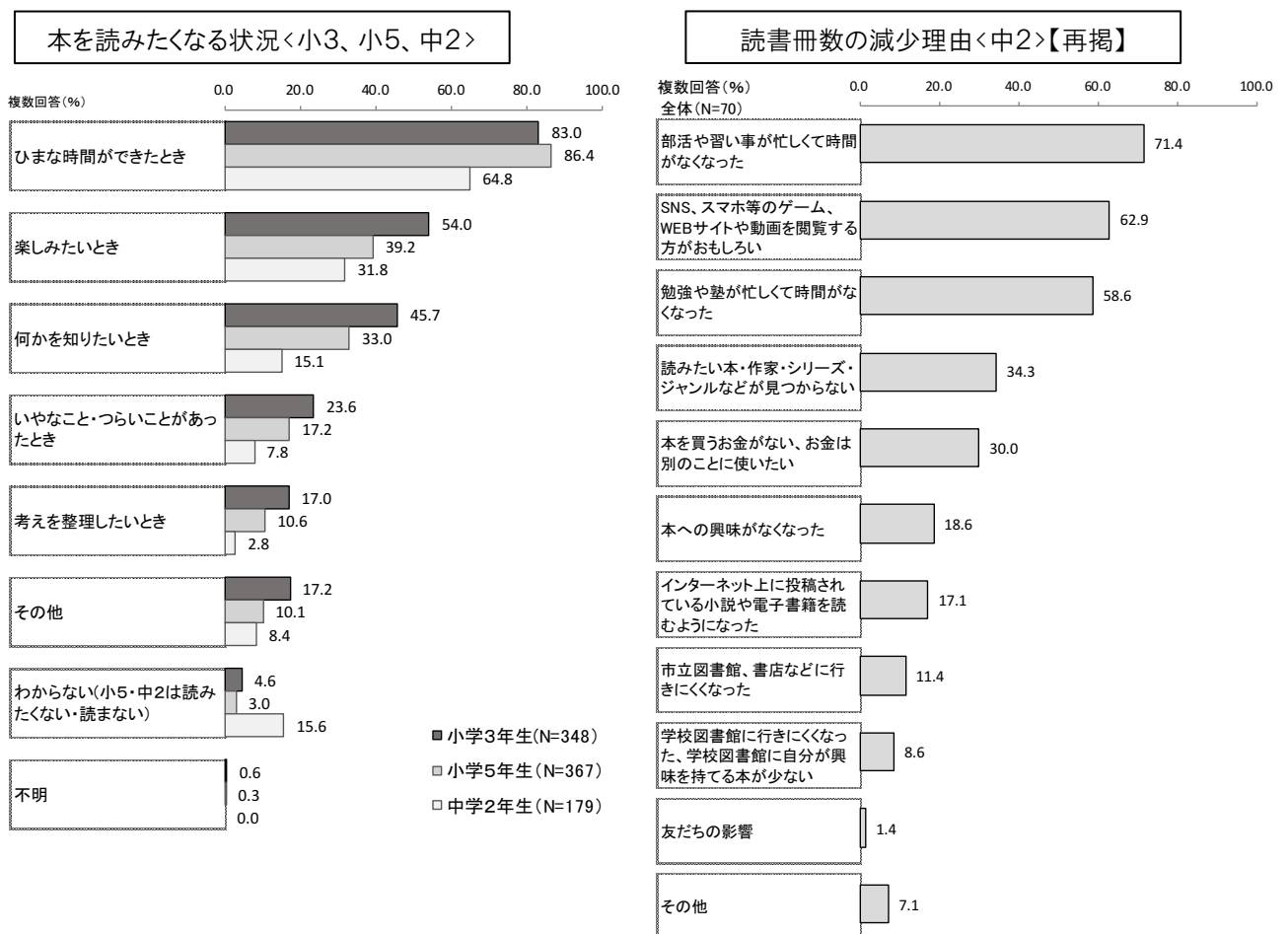
## (2) 子どもにとっての読書

### ①本を読む理由や状況<小3、小5、中2>

子どもにとっての本の魅力を知るため、本を読みたくなるシチュエーションを聞いたところ、全ての学年で「ひまな時間ができたとき」が最も多く、次いで「楽しみたいとき」が続いた。年齢によりパーセンテージには差異はあるものの、順位は変わらない。

「ひまつぶし」や「楽しさ」が読書の理由になっていることから、年齢があがり忙しくなったり、ゲームやスマホなど多様な楽しみに触れたりするようになると、相対的に読書への欲求が下がっていくと推察される。

実際に、中2で「小学生のときと比べて読書冊数が減った」と回答した層の理由として、「部活や習い事が忙しくて時間がなくなった」に次いで「SNS、スマホ等のゲーム、WEBサイトや動画を閲覧する方がおもしろい」が挙げられている。



## ②子どもにとっての読書の魅力

小学5年生・中学2年生に読書に興味を持ったり、本を楽しむようになったきっかけを聞いたところ、性・学年に関わらず「おもしろい本・シリーズとの出会い」が1位に挙げられた。ちなみに、2位以下は、小学5年生では「学校の読書の時間」、中学2年生では「家の中に本が置かれていたこと」を挙げており、ある程度強制的でも本に接する機会を持たせることで、読書の楽しさに気づききっかけとなっていることがわかる。

また、中学2年生で「小学生のときと比べて読書冊数が増えた」と回答した層に理由を聞いたところ、最も多かったのが「好きな作家、シリーズ、ジャンルに出会ったこと」となっていることから、本のコンテンツとしての魅力が、読書習慣をけん引していることを示している。

先に見たように、この傾向は女子の方が強いようだ。例えば、電子書籍を読んだ理由(中学2年生のみ)について、男子では「安い、無料だから」(69.2%)、「すぐに手に入るから」(46.2%)と価格や利便性を上位にあげたが、女子は「作品がおもしろいから」(65.5%)、「インターネット上でしか読めない作品だから」(48.3%)など、コンテンツの魅力を上位にあげている。

本を読んだり、楽しんだりするようになったきっかけ<小5、中2>

(%)

	小5男子(N=191)		小5女子(N=175)		中2男子(N= 97)		中2女子(N= 82)	
1位	おもしろい本・シリーズとの出会い	74.3	おもしろい本・シリーズとの出会い	80.6	おもしろい本・シリーズとの出会い	61.9	おもしろい本・シリーズとの出会い	73.2
2位	学校の読書の時間(朝読書、いっせ読書など)	47.1	学校の読書の時間(朝読書、いっせ読書など)	60.0	家の中に本が置かれていたこと	32.0	家の中に本が置かれていたこと	39.0
3位	家の中に本が置かれていたこと	46.1	幼いときの家族等による本の読み聞かせ	56.0	学校の読書の時間(朝読書、いっせ読書など)	26.8	図書館や書店が身近なところにあること(あったこと)	37.8
4位	幼いときの家族等による本の読み聞かせ	33.5	家の中に本が置かれていたこと	55.4	幼いときの家族等による本の読み聞かせ	26.8	学校の読書の時間(朝読書、いっせ読書など)	35.4
5位	図書館や書店が身近なところにあること(あったこと)	30.4	図書館や書店が身近なところにあること(あったこと)	52.0	図書館や書店が身近なところにあること(あったこと)	24.7	幼いときの家族等による本の読み聞かせ	32.9

電子書籍やインターネット上の小説の読書理由<中2>

(%)

	中2男子(N= 26)		中2女子(N= 29)	
1位	安い、無料だから	69.2	作品がおもしろいから	65.5
2位	すぐに手に入るから	46.2	安い、無料だから	51.7
3位	作品がおもしろいから	42.3	インターネット上でしか読めない作品だから(紙の本になっていないから)	48.3
4位	文字を大きくすることができる、検索できるなどの便利さがあるから	26.9	すぐに手に入るから	34.5
5位	インターネット上でしか読めない作品だから(紙の本になっていないから)	19.2	文字を大きくすることができる、検索できるなどの便利さがあるから	27.6

### (3) 子どもの読書を促進する環境

#### ①10月に読んだ本の本の入手方法<小3、小5、中2>

いずれの学年でも、「学校図書館の本」と「自分の本」が1位2位となっている。同じ1位でも小学3年生と中学2年生ではパーセンテージに大きな差があるが、これは読書冊数と比例していると推察される。

小学生では学校図書館の利用率が7～8割と高く、また、小学3年生では「クラスの本」も 58.9%が利用している。

10月に読んだ本の入手方法・ランキング<小3、小5、中2>

複数回答(%)

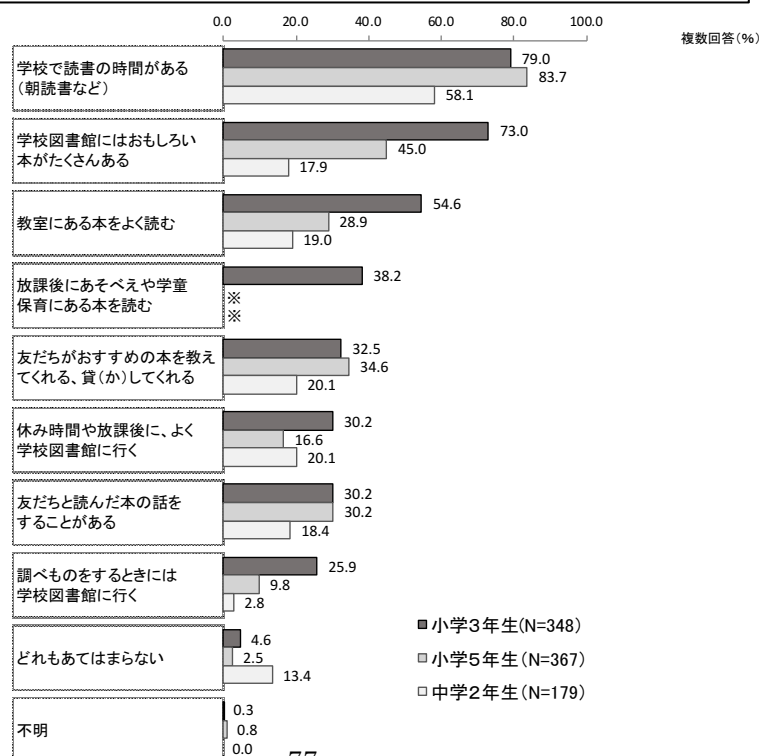
	小学3年生(N=348)		小学5年生(N=367)		中学2年生(N=179)	
1位	学校図書館の本	81.6	学校図書館の本	71.7	自分の本(買った本)	47.5
2位	自分の本(買った本)	63.8	自分の本(買った本)	68.7	学校図書館の本	29.1
3位	家にあった本	60.9	家にあった本	54.5	家にあった本	27.9
4位	クラスの本	58.9	武蔵野市の図書館の本	32.7	クラスの本	15.1
5位	武蔵野市の図書館の本	48.0	クラスの本	30.2	武蔵野市の図書館の本	8.9
6位	友だちから借りた本	16.7	友だちから借りた本	19.9	友だちから借りた本	6.1

#### ②学校での読書環境

先に見たように、「本を読んだり楽しんだりするようになったきっかけ」として、多くの小中学生が「学校の読書の時間」を挙げている(前ページ参照)。以下のグラフでも明らかのように、武蔵野市では多くの小学校で読書の時間を設けており、これが子どもの読書習慣に良い影響を与えていることが推察される。

また、「学校図書館にはおもしろい本がたくさんある」(小3:73.0%、小5:45.0%)、「教室にある本をよく読む」(小3:54.6%、小5:28.9%)など、低学年を中心に学校図書館や教室にある本が、読書の楽しさに導ききっかけになっている。

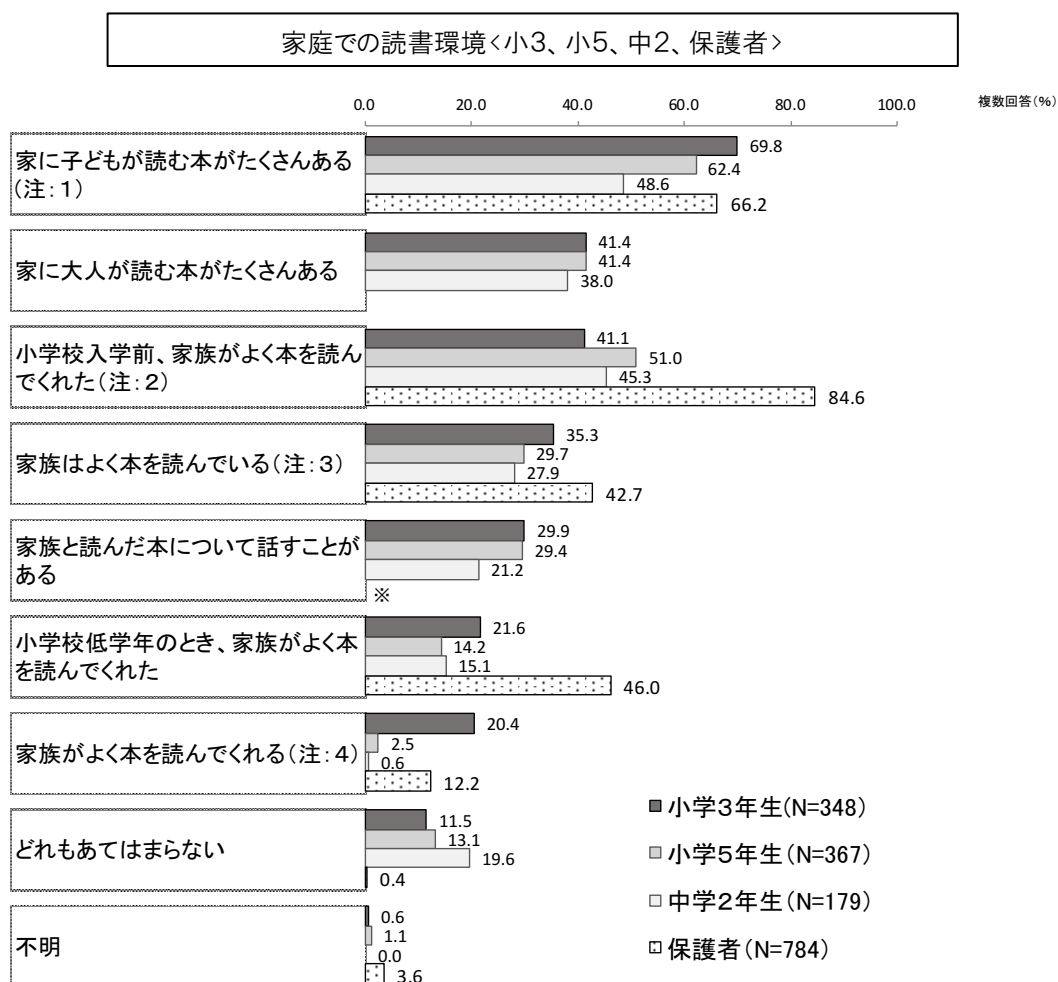
学校での読書環境<小3、小5、中2>



### ③家庭での読書環境

家庭での読書環境については全ての対象者に聞いた。

保護者の8割は「幼児のときに読み聞かせをしていた」と考えているが、「小学校入学前、家族がよく本を読んできた」と答えた子どもは4～5割にとどまるなど、親子で認識に違いが見られる。



注1: 保護者の質問項目では「子どもが手にとりやすいところに本を置いていた・置いている」  
 注2: 保護者の質問項目では「幼児のときに読み聞かせをしていた」  
 注3: 保護者の質問項目では「子どもの前で親が読書をしていた・している」  
 注4: 小5・中2・保護者の質問項目では、「小学校中・高学年のとき、家族がよく本を読んできた」  
 ※印は該当項目なし



#### ④子どもの読書量に影響すると思われる家庭での読書環境

##### ア) 家庭での読書環境と平均読書冊数

子どもの読書量に影響を与える要因を探るため、まず、「家庭での読書環境」の各選択肢に○をつけた児童生徒ごとに平均読書冊数を算出した。

これを見ると、「家に大人が読む本がたくさんある」「家族と読んだ本について話すことがある」など、読書および関連する行動が日常に取り込まれている家庭の児童生徒で平均読書冊数が多く、「小学校入学前に、家族がよく本を読んできた」「家に子どもが読む本がたくさんある(あった)」など、子どもが本に自然に接する家庭環境より、いずれの学年でも高くなっている。

家庭での読書環境別の10月1ヶ月の読書冊数<小3、小5、中2>

	小3(N=348)		小5(N=367)		中2(N=179)	
平均	*小3平均読書冊数(全体)	17.1冊	*小5平均読書冊数(全体)	9.2冊	*中2平均読書冊数(全体)	3.5冊
1位	家族と読んだ本について話すことがある	22.3冊	家に大人が読む本がたくさんある	11.3冊	家族と読んだ本について話すことがある	5.3冊
2位	家族はよく本を読んでいる	21.2冊	家族と読んだ本について話すことがある	11.2冊	家に大人が読む本がたくさんある	5.2冊
3位	家族がよく本を読んでもくれる	20.9冊	家族はよく本を読んでいる	10.7冊	家族はよく本を読んでいる	3.9冊
4位	小学校入学前、家族がよく本を読んできた	19.8冊	小学校入学前、家族がよく本を読んできた	10.0冊	家に子どもが読む本がたくさんある(あった)	3.8冊
5位	家に子どもが読む本がたくさんある(あった)	18.9冊	家に子どもが読む本がたくさんある(あった)	9.8冊	小学校入学前、家族がよく本を読んできた	3.7冊
6位	家に大人が読む本がたくさんある	18.6冊	小学校低学年のとき、家族がよく本を読んできた	9.4冊	小学校低学年のとき、家族がよく本を読んできた	3.6冊

\*冊数は各選択肢に○をつけた児童生徒が回答した、10月1か月間の読書冊数の平均値

##### イ) 家庭での読書環境と本の好き嫌い

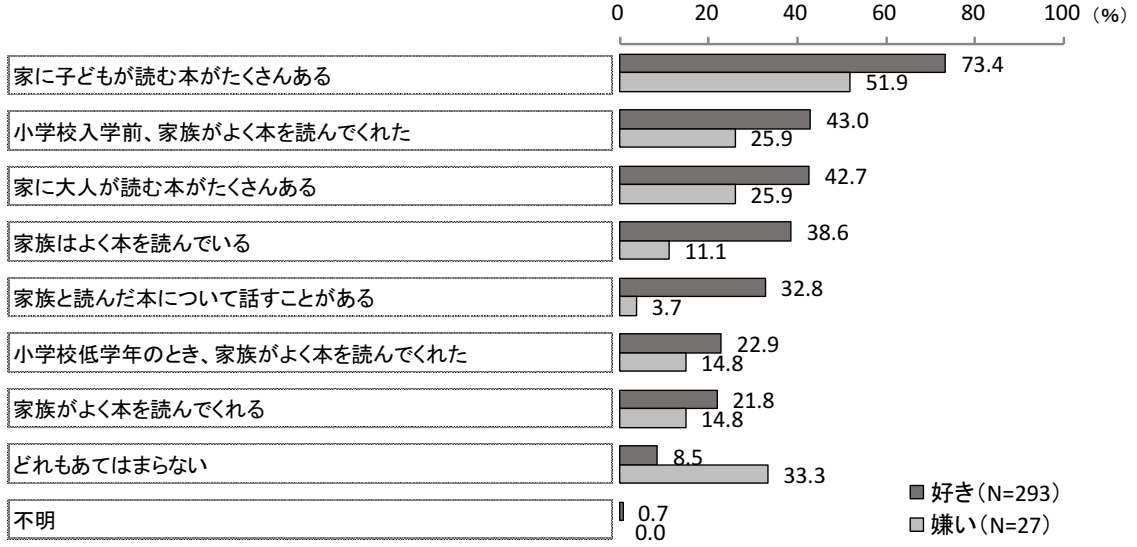
家庭での読書環境と読書の好き嫌いの相関関係を見ると、「好き」「嫌い」いずれについても「家に子どもが読む本がたくさんある(あった)」「小学校入学前、家族がよく本を読んできた」などが上位となった。

一方で、「好き」「嫌い」の差異に着目すると、「家に大人が読む本がたくさんある」「家族と読んだ本について話すことがある」などで差異の大きさが目立つことから、やはりこれらの項目は、読書に親しむための大きな要素であると推察される。

いずれの学年でも「どれもあてはまらない」は「嫌い」で多いことを見ても、本に親しむ家庭環境や、読み聞かせなどの働きかけは、読書に親しむための一定の効果を挙げていると考えられる。

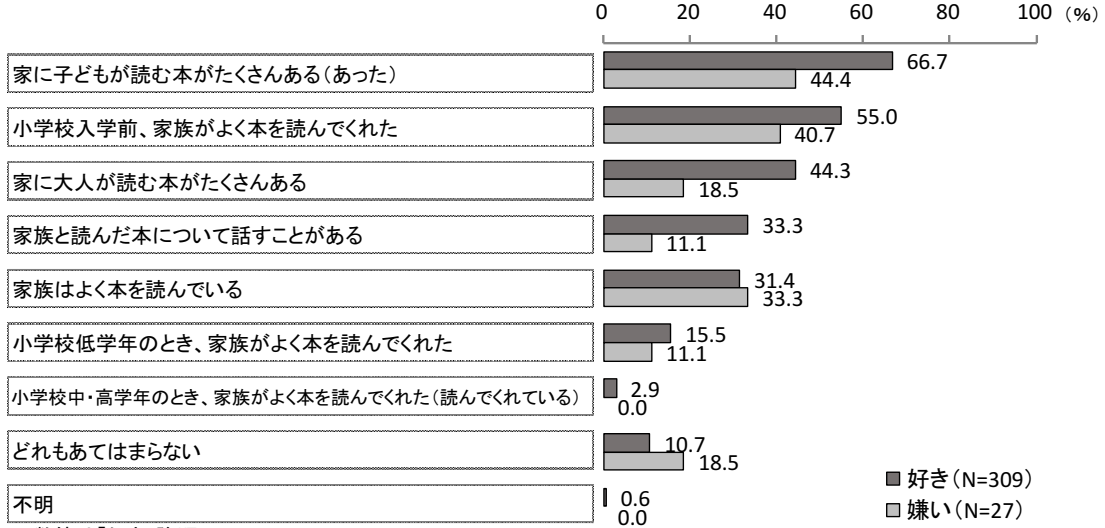
家庭での読書環境×読書の好き嫌い<小3、小5、中2>

<小学3年生>



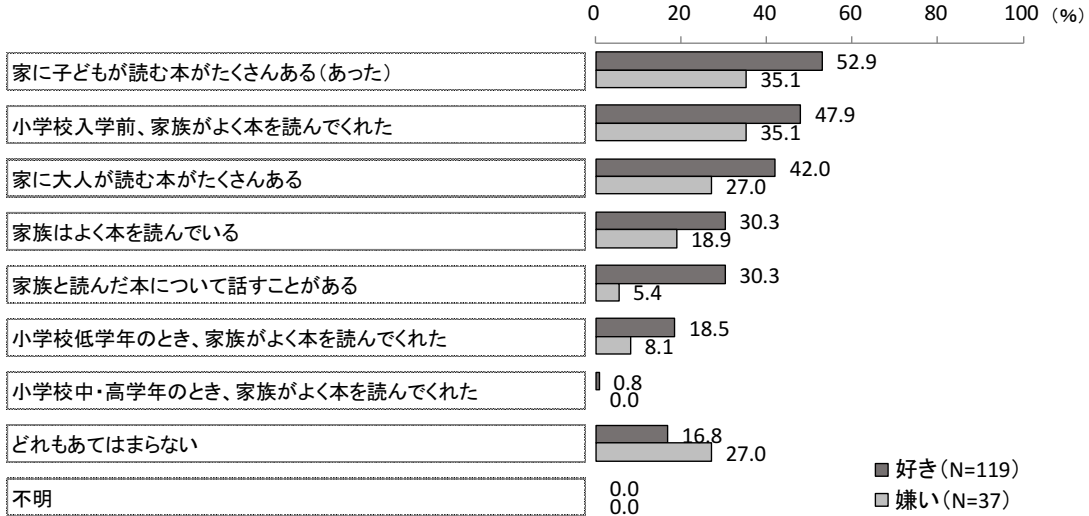
※数値は「好き」降順でソート

<小学5年生>



※数値は「好き」降順でソート

<中学2年生>



※数値は「好き」降順でソート

※いずれも、好きは「とても好き」「どちらかといえば好き」の合計、「嫌い」は「どちらかといえば嫌い」「嫌い」の合計

## ⑤子どもの読書量に影響すると思われる学校での読書環境

### ア) 学校での読書環境と平均読書冊数

学校での読書環境ごとに読書冊数を調べたところ、いずれも「休み時間や放課後に、よく学校図書館に行く」という、児童生徒本人の能動的な学校図書館利用が1位となった。

2位以降は学年により異なり、小3では「友達と読んだ本の話をする」という友人とのコミュニケーション、小5では「調べものをするときには学校図書館に行く」という図書館の利便性(あるいは、調べ物指導などでの図書館利用)、中2では「学校図書館には興味が持てる本がたくさんある」という図書館自体の魅力が挙げられた。

学校での読書環境別の10月1ヶ月の読書冊数<小3、小5、中2>

	小3(N=348)		小5(N=367)		中2(N=179)	
平均	*小3平均読書冊数(全体)	17.1冊	*小5平均読書冊数(全体)	9.2冊	*中2平均読書冊数(全体)	3.5冊
1位	休み時間や放課後に、よく学校図書館に行く	22.0冊	休み時間や放課後に、よく学校図書館に行く	14.7冊	休み時間や放課後に、よく学校図書館に行く	7.1冊
2位	友達と読んだ本の話をする	21.7冊	調べものをするときには学校図書館に行く	14.0冊	学校図書館には興味が持てる本がたくさんある	7.1冊
3位	調べものをするときには学校図書館に行く	20.9冊	学校図書館には興味が持てる本がたくさんある	12.2冊	友達と読んだ本の話をする	5.6冊
4位	放課後にあそべえや学童保育にある本を読む	20.2冊	友達と読んだ本の話をする	12.2冊	教室にある本をよく読む	4.7冊
5位	教室にある本をよく読む	19.4冊	友だちがおすすめの本を教えられる、貸してくれる	10.3冊	友だちがおすすめの本を教えられる、貸してくれる	4.7冊
6位	友だちがおすすめの本を教えられる、貸してくれる	18.8冊	教室にある本をよく読む	10.1冊	学校で読書の時間がある(朝読書、いっせい読書など)	3.8冊

\*冊数は各選択肢に○をつけた児童生徒が回答した、10月1か月間の読書冊数の平均値

### ア) 学校での読書環境と本の好き嫌い

学校での読書環境と読書の好き嫌いの相関関係を見ると、「好き」「嫌い」いずれについても「学校で読書の時間がある(朝読書、いっせい読書など)」、「学校図書館にはおもしろい／興味が持てる本がたくさんある」など、読書習慣をつけるための学校からの働きかけが挙げられた。

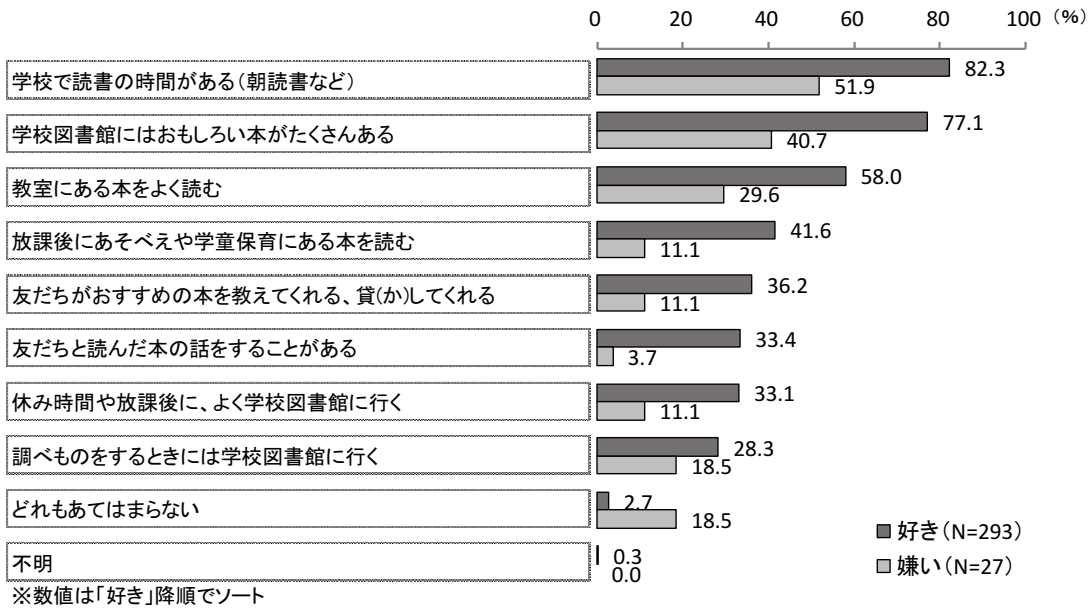
「好き」「嫌い」の差異に着目すると、家庭環境に比べて、どの項目でも差異が大きい傾向がみられた。小3で「学校で読書の時間がある(朝読書、いっせい読書など)」が「好き」「嫌い」で30ポイント以上の差があり、低学年においては、朝読書などの学校側からの積極的な読書指導が、「好き」「嫌い」に影響を及ぼす可能性が推察される。

「休み時間や放課後に、よく学校図書館に行く」「友達と読んだ本の話をする」というなどは、本が好きな子が積極的に読書環境を活用していることを示すので、「好き」「嫌い」で差異が大きいのは当然といえる。一方で、「教室にある本をよく読む」は、小5・中1では差異がほとんどない、もしくは「嫌い」で数値が高いが、これは、「嫌い」は読書に積極的ではないので図書館までは行かないが、身近にあるなら手に取ることがあるということであろう。

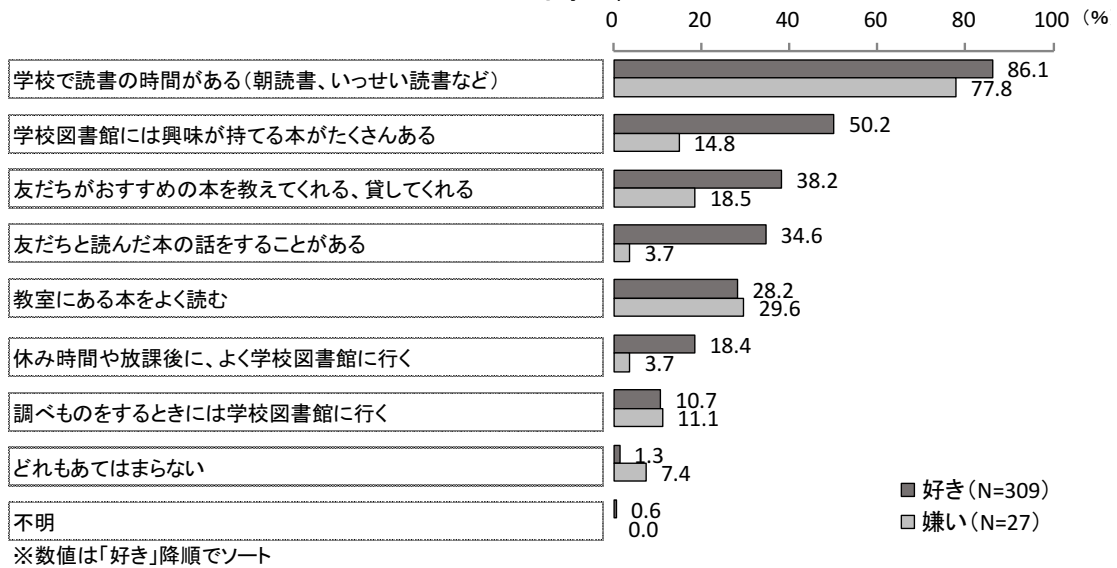
「学校図書館にはおもしろい(興味が持てる)本がたくさんある」も差異が大きい、これは「好き」がよく学校図書館を利用するためと思われる。「嫌い」を「好き」にするためというより、「好き」な層がさらに知的好奇心を満たし、充実した読書生活を送るために必要な条件と考えられる

学校での読書環境×読書の好き嫌い<小3、小5、中2>

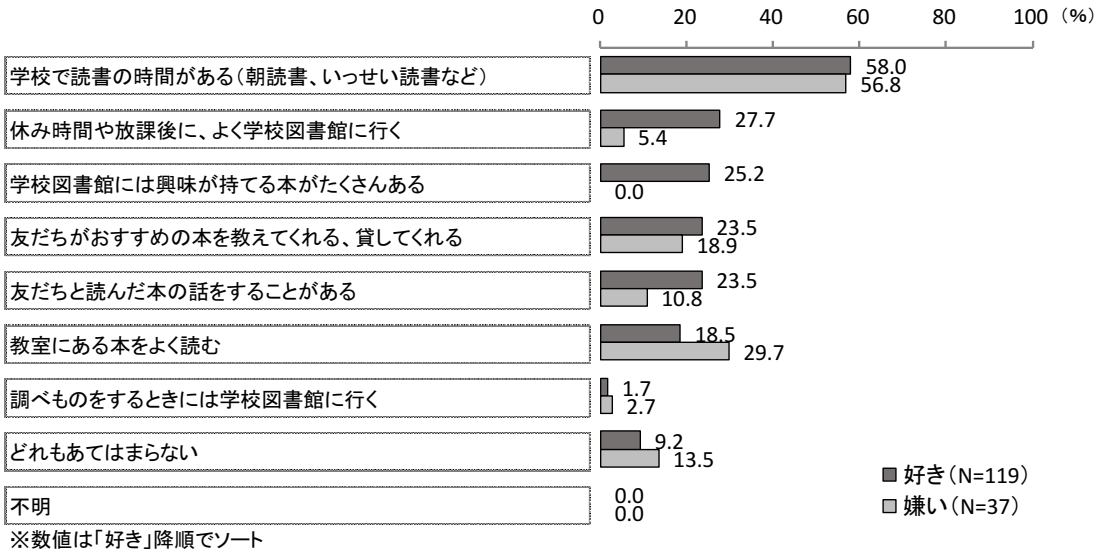
<小学3年生>



<小学5年生>



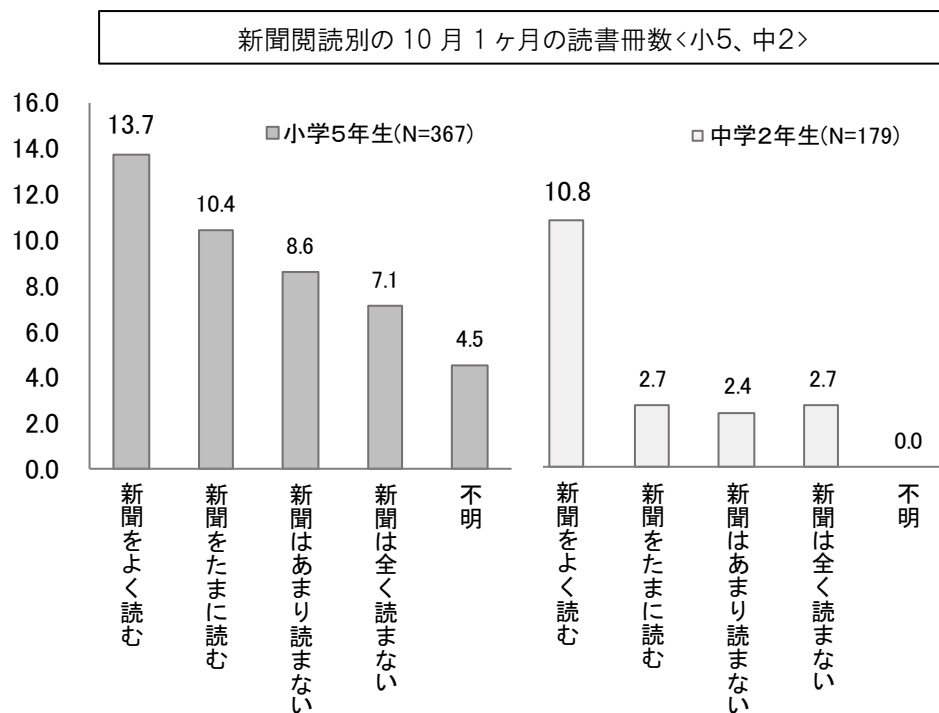
<中学2年生>



※いずれも、好きは「とても好き」「どちらかといえば好き」の合計、「嫌い」は「どちらかといえば嫌い」「嫌い」の合計

## ⑥新聞閲読と読書との相関関係

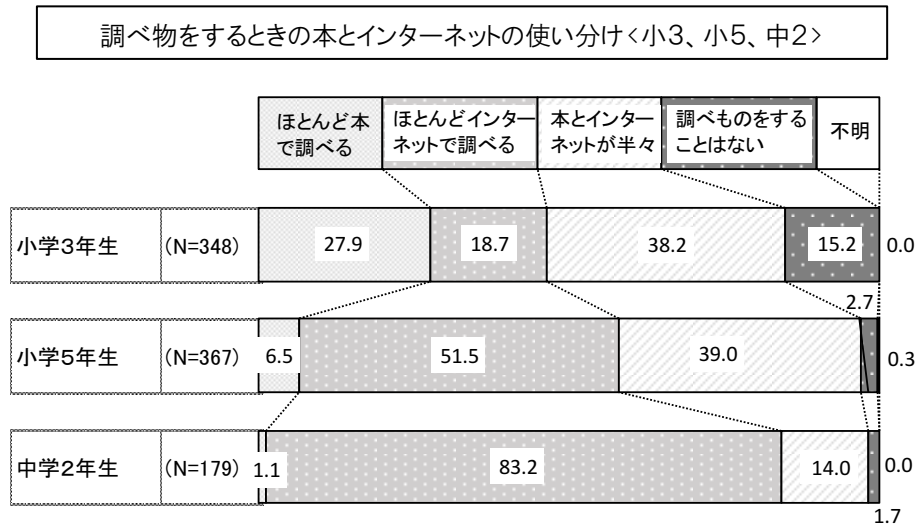
新聞の閲読状況ごとに読書冊数を調べたところ、小学5年生、中学2年生のいずれも「新聞を読む」と回答した子どもの方が、読まない子よりも読書の平均冊数が多い結果となった。



#### (4) 調べものをする時の本とインターネットの使い分け

年代が上がるほど、調べものをする時には本よりもインターネットを利用する割合が多くなっている。

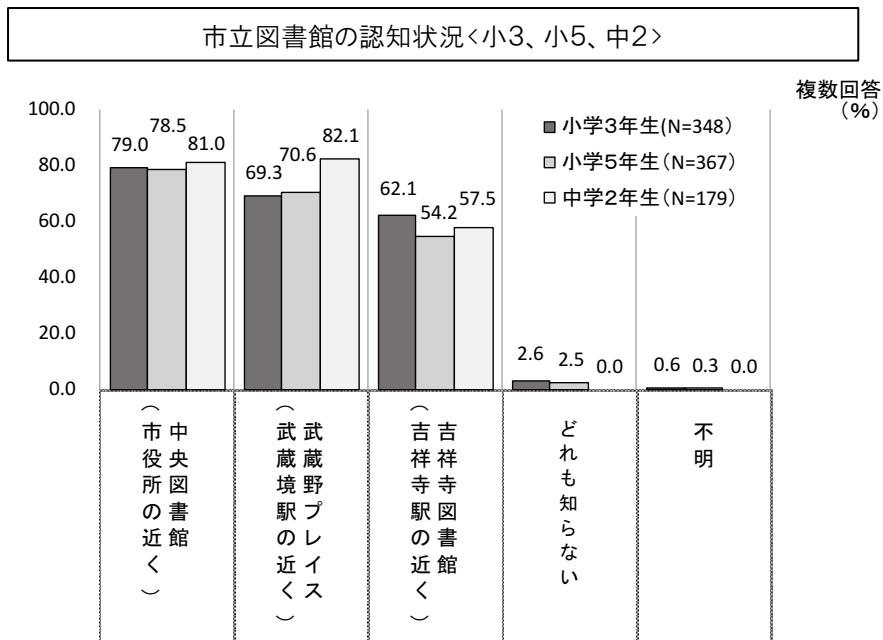
小学3年生では「本とインターネットが半々」が最も多く、小学5年生では「ほとんどインターネットで調べる」が5割を超え、中学2年生では8割を超える。



## (5) 市立図書館の利用状況

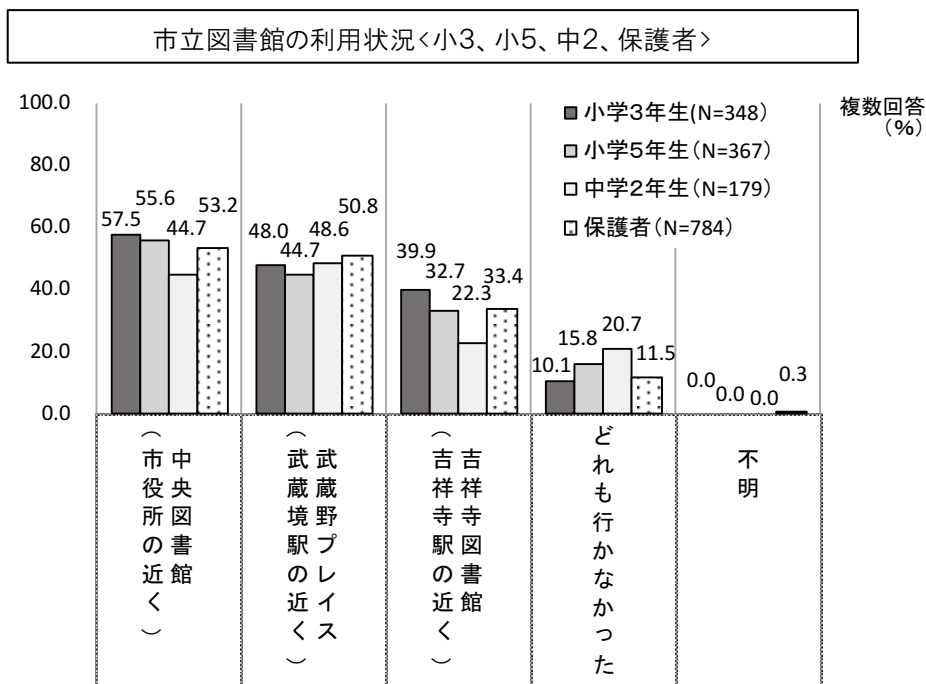
### ①市立図書館の認知状況

「中央図書館」はいずれの学年でもよく知られており、中学2年生では「武蔵野プレイス」の認知度が高くなっている。どの学年でも「どれも知らない」は3%未満にとどまる。



### ②市立図書館の利用状況

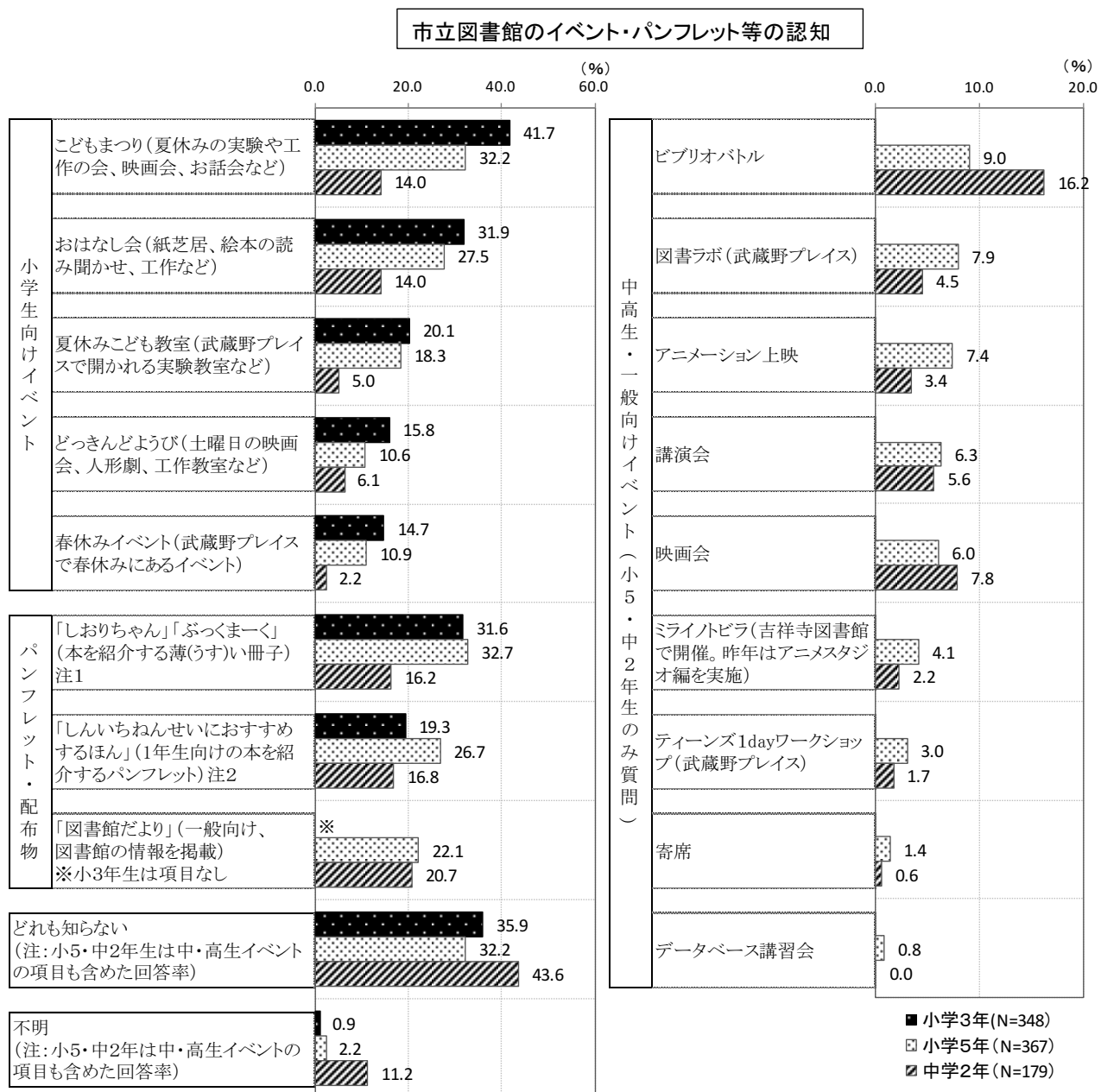
小3では9割、「どれも行かなかった」がもっとも多い中学生でも8割近くが、1年間にいずれかを利用しており、市立図書館が市民に親しまれていることを示している。どの世代でも中央図書館の利用率が高いが、中学2年生では「武蔵野プレイス」が最も高く、認知状況と似た結果となっている。



### ③ 市立図書館のイベント・パンフレット等の認知

市立図書館のイベントやパンフレット等について、自分(の世代)に関係があるものには一定の認知が見られた。

ただし、中高生向けのイベントに対する中学2年生の認知率は、ビブリオバトル以外は10%未満にとどまった。また、中学2年生男子の半数は1年間に1度以上、武蔵野プレイスを利用しているが、同館実施のものも含めて男子のイベント認知率は全体に低く、「どれも知らない」が半数を超えている(52.6%)。



注1:小5・中2質問項目では「ブックマーク」(小学高学年向けの本を紹介)

注2:小5・中2質問項目では「図書館のおすすめ本<小学校4・5・6年生用>」「図書館のおすすめ本<中学生用>」

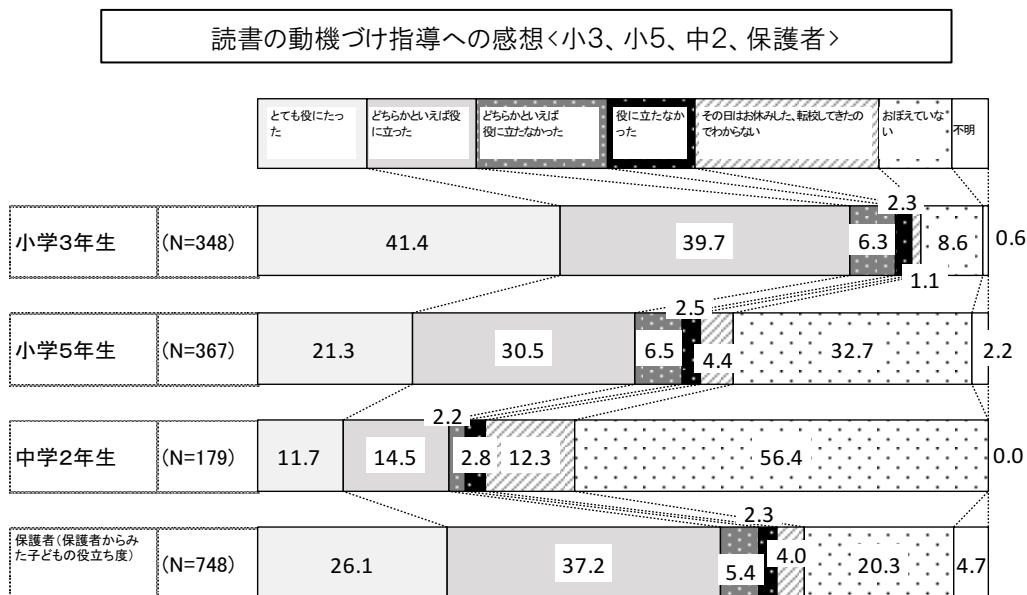


## (6) 武蔵野市による子ども読書推進活動の効果

### ①読書の動機づけ指導

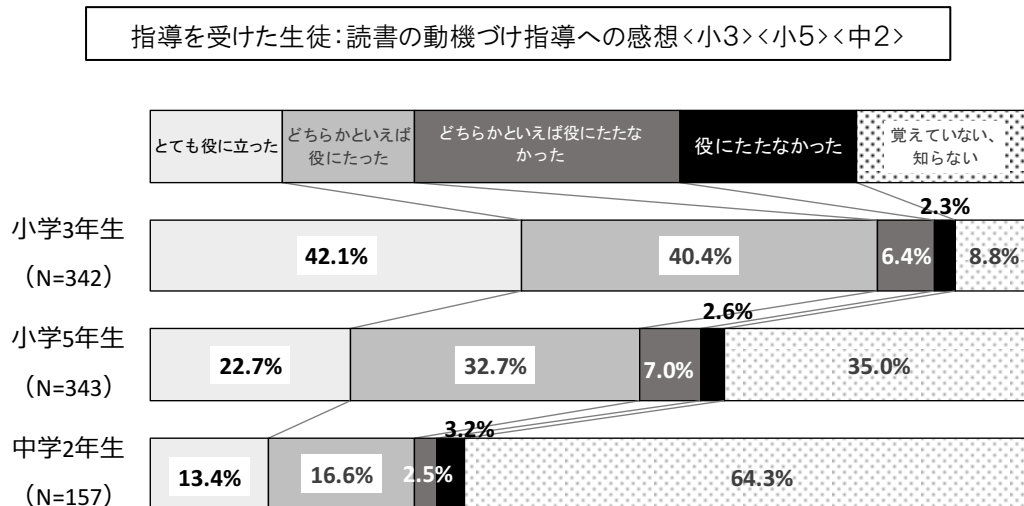
#### ア) 感想

小学3年生では、役に立った(「とても役にたった」と「どちらかといえば役にたった」の合計)が8割を超える。小学5年生では5割、中学2年生では2割超と減少していくが、その背景として、年代が上がる程「覚えていない」比率が上がっている。



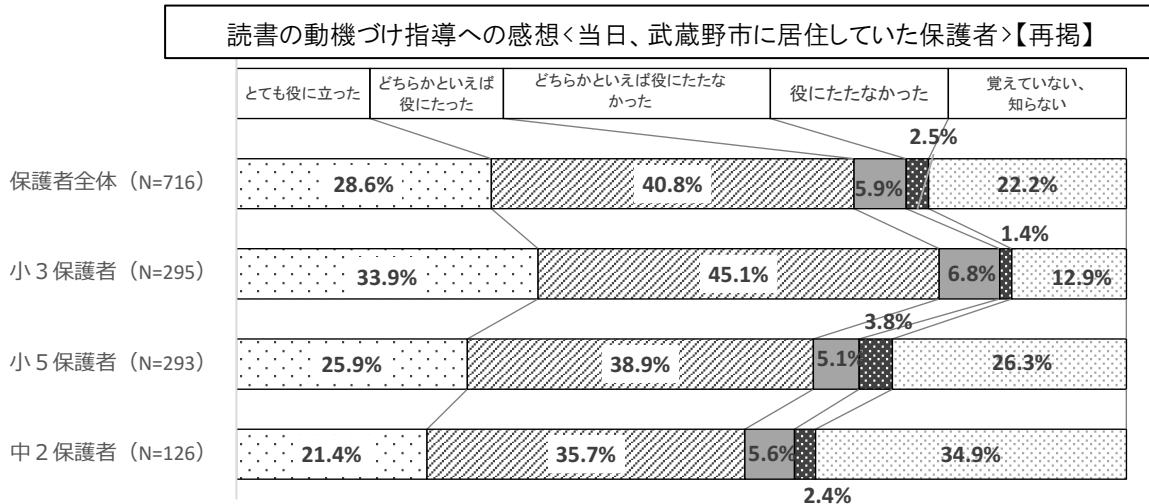
「その日は休んだ、転校してきたので分からない」と「不明」を除いた、「読書の動機づけ指導を受けた対象者」だけを抜き出して集計すると、小5では 55.4%が「とても+どちらかといえば」を合わせた「役にたった」と回答した。

小学3年生のときに行われた指導であるため、中2では「覚えていない」が64.3%と3分の2を占めている。それでも、「とても+どちらかといえば」を合わせた「役にたった」と回答した生徒が30.0%あった。



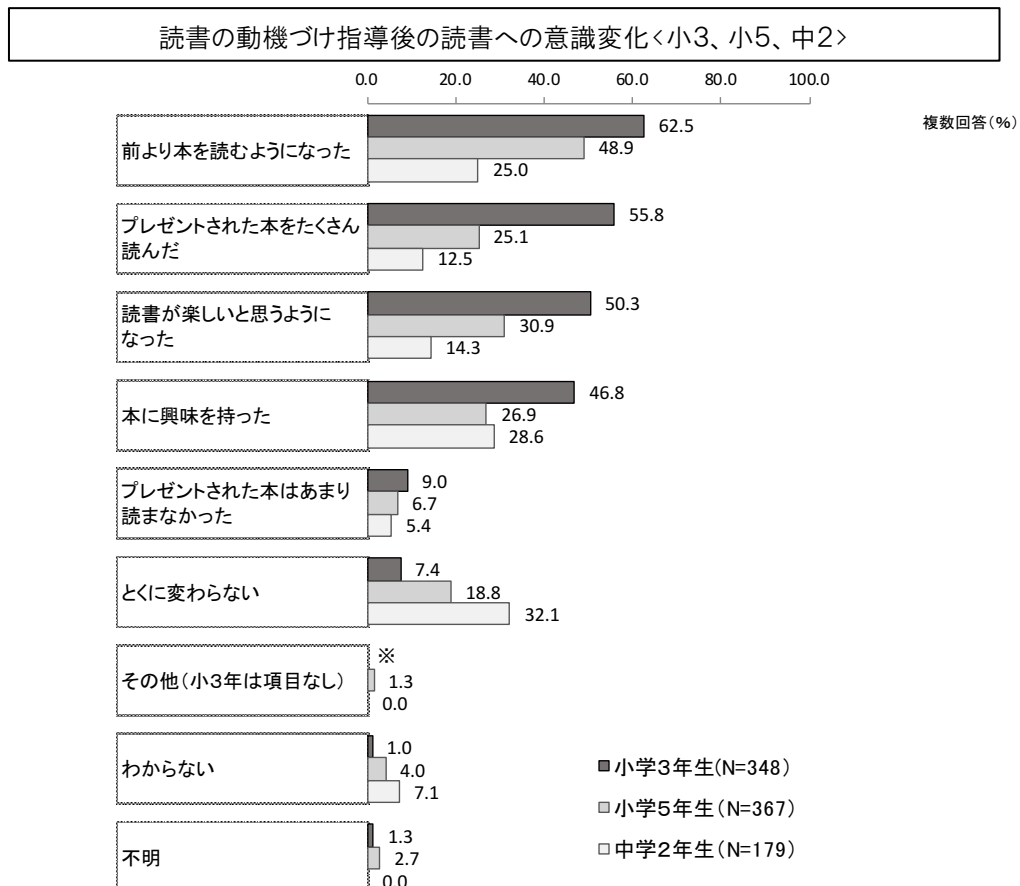
保護者についても、「(各取組が行われた)その頃は武蔵野市に住んでいなかった」と「不明」を除いた、「各取組みの対象者であった保護者」だけを抜き出して集計したのが以下のグラフである。

読書の動機づけ指導は、小学校3年生児童対象であるが、指導を受けたばかりの小3保護者では「とてもどちらかといえば」を合計した「役にたった」は 79.0%と、8割近くとなっている。他の学年でも、覚えている保護者の評価は高く、「役にたった」は、小5保護者で 64.4%、中2保護者で 57.1%であった。



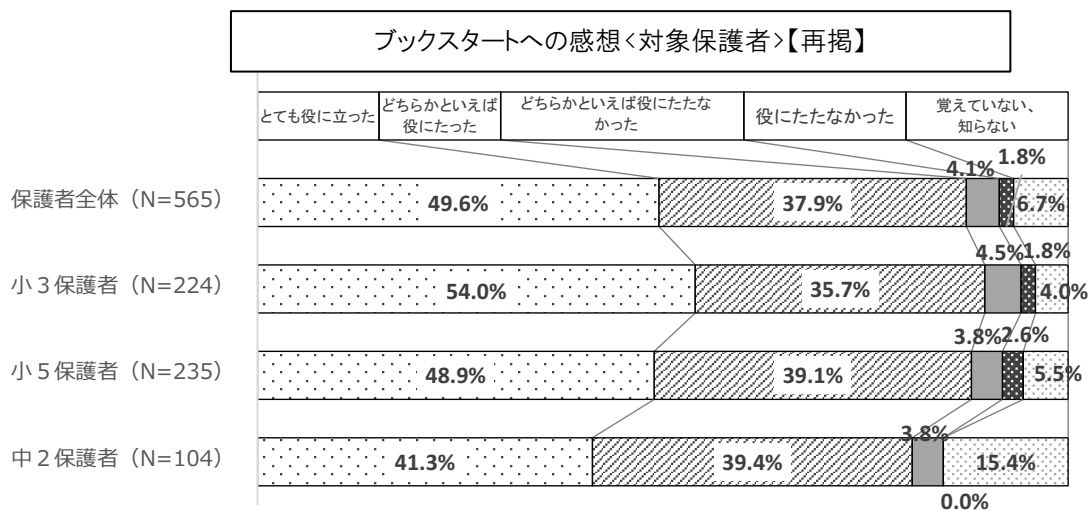
## イ) 読書の動機づけ指導後の読書への意識変化

読書の動機づけ指導後、小学3年生で6割、小学5年生で5割近くが「前より本を読むようになった」と回答した。小学3年生では、指導後に「プレゼントされた本をたくさん読んだ」、「読書が楽しいと思うようになった」との回答も5割を超えている。



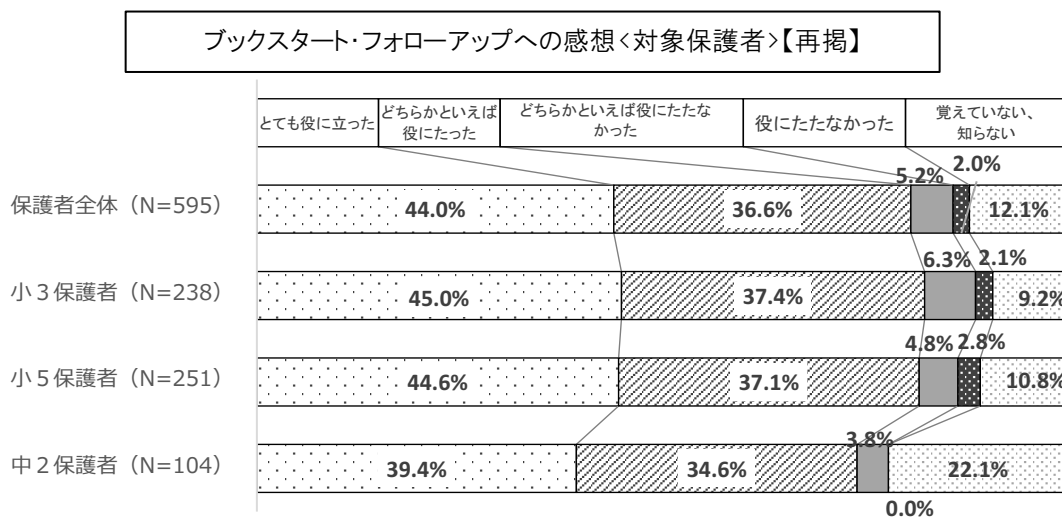
## ②ブックスタート

対象であった保護者全体の93.3%が覚えており、半数近い49.6%が「とても役に立った」と回答した。「とても+どちらかといえば」を合計した「役に立った」は87.5%に達しており、評価は非常に高い。子どもの年齢が上がるほど「覚えていない」比率があがるが、いずれの年齢でも高い評価となっている。



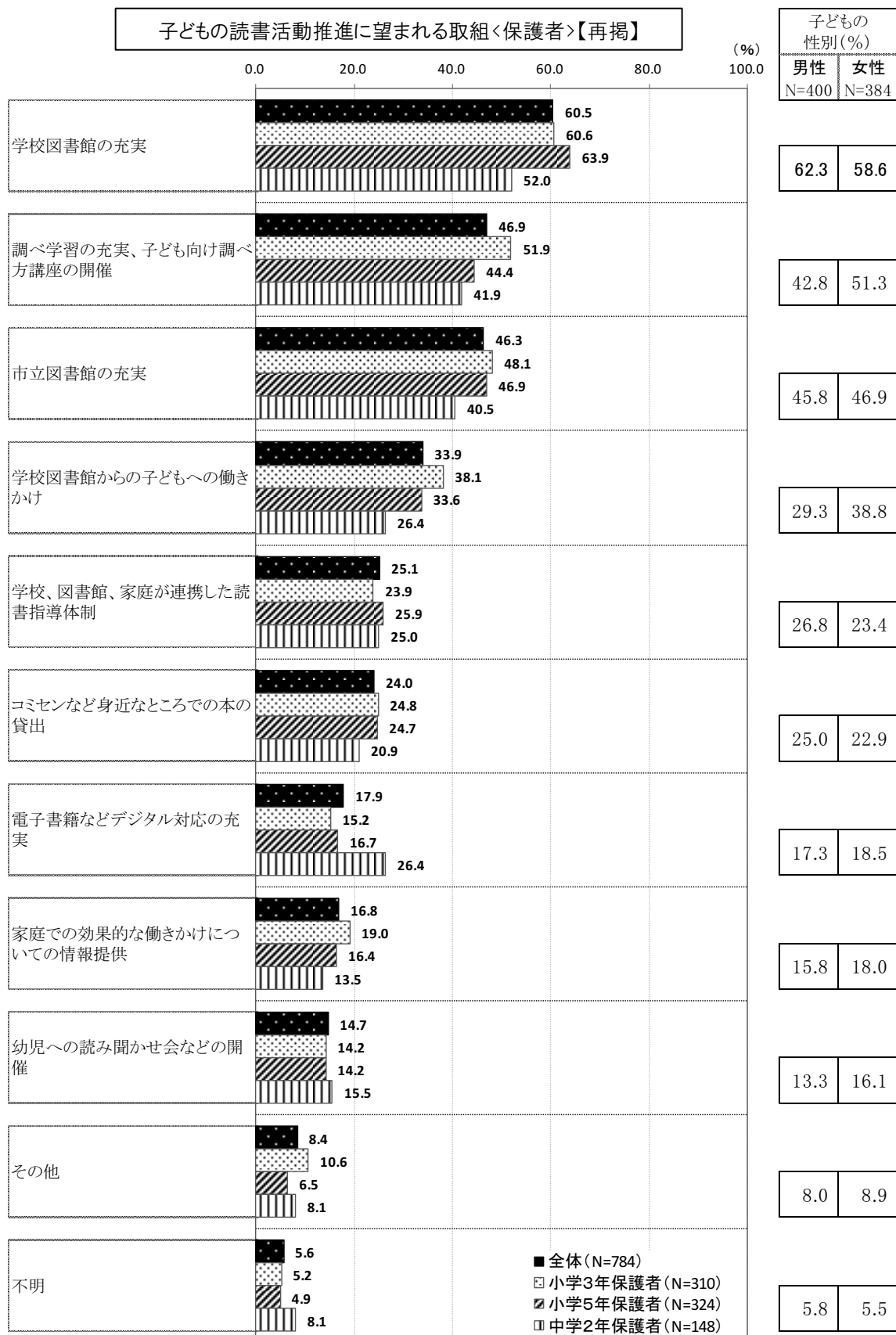
## ③ブックスタート・フォローアップ

保護者全体の87.9%が覚えており、44.0%が「とても役に立った」と回答した。「とても+どちらかといえば」を合計した「役に立った」は80.6%であり、こちらについても高い評価を得ている。ブックスタートと同じく、年齢が上がるほど「覚えていない」比率があがるが、いずれの年齢でも高い評価であることは変わらない。



#### ④子どもの読書活動推進に望まれる取組<保護者>

今後、子どもの読書活動を推進するにあたり保護者が望む取組については、「学校図書館の充実」が60.5%でトップにあげられた。ついで「調べ学習の充実、子ども向け調べ方講座の開催」(46.9%)、「市立図書館の充実」(46.3%)が続いている。



## <参考資料>

### 各設問の「その他」における記載

#### 小学5年生

問7. 本を読みたくなる状況:その他

その他内容	件数
寝るとき、眠れないとき	10
ストレス解消、心を落ち着かせたい時	4
そのときの気分、本を読みたいと思ったとき	4
いつでも読みたい、いつも読みたい	2
おもしろい本を見つけたとき	2
きれいな景色が見える時、落ち着く場所にいる時	1
静かな夜11時	1
疲れている時	1
テレビのニュースの内容で関係のある本が家にあった時(首里城とか)	1
友達が読んだ本が面白そうと思った時	1
一人になりたい時	1
部屋を整理した時	1
勉強の休憩時間	1
本を友達に勧められた時	1
母に読んで言われた時	1
無記入	5

#### 小学5年生

問17. 市図書館来館目的:その他

その他内容	件数
DVDを見るため	2
お母さんの読み聞かせ	1
講習会	1
集合場所になった	1
宿題で読まなければいけなかった	1
暇つぶし	1
プレイスに食事をしに行くため	1
本を紹介するため	1

#### 小学5年生

問19. 読書動機づけ指導後の変化

その他内容	件数
詩に興味を持った	1
友達から本を借りるようになった	1
前よりも本が好きになった	1

#### 小学5年生

問20. 本を読むことに興味・楽しむきっかけ・動機

その他内容	件数
たまたま読みたい本があったから	3
映画を見て、映画が面白かった	2
家族がよく本を読む、母がよく本を読んでいた	2
年長の頃、自分で本が読めるようになったこと	1
親が話していたことを知りたくて本を買った	1
受験で出題されたから	1
世界遺産にある鉄道に興味があるから	1
先生に教えてもらった	1
題名を見て面白そうだった	1
本を買いに行つて	1
保護者の方による読み聞かせ	1
無記入	1

### 中学2年生

問7. 本を読みたくなる状況:その他

その他内容	件数
その時の気分、気が向いた時	5
本を読みたい気分になった時	3
寝る前	1
常に読みたい	1
ゲームが出来ない時	1
本のことを思いだしたら	1
本の続きが知りたい時	1
移動中	1
無記入	1

### 中学2年生

問17. 市図書館来館目的:その他

その他内容	件数
職場体験	2
本を返却	1
待ち合わせ	1
自転車を置きにいくため	1

### 中学2年生

問20. 本を読むことに興味・楽しむきっかけ・動機

その他内容	件数
アニメの原作を読んでみたいと思った	1
家にいる時間が一番長くて暇な時間があった時に本を読むようになった	1
いつの間にか興味を持てた	1
家族が本を勧めてくれた	1
学校での読書感想文	1
父が特にとても本が好きだから	1
テレビドラマの本バージョンをよく読むこと	1
本屋に行って自分が面白いと思ったから	1

### 中学2年生

問23. 小学生の時より読書が増えた理由

その他内容	件数
朝の読書	2
兄の勧め・影響	1
自然と読むようになった	1
図書委員会に入ったから	1
速く読めるようになった	1
見るアニメの量が増え原作を見たいと思った	1

### 中学2年生

問24. 小学生の時より読書が減った理由

その他内容	件数
本よりもマンガを読むようになった	3
学校で図書の時間が無くなった	1
元々全く本に興味がない。文を読むと疲れるから嫌い	1

### 中学2年生

問25. 電子書籍、インターネット上の小説読書状況

その他内容	件数
親が見せてくれた	1
学習のタブレットで本が読めるので読んだ	1
チャレンジウェブの学びライブラリー	1
通信教育のタブレットのアプリで読んだ	1
何かの付録にあったから読んだ	1

### 中学2年生

問26. 電子書籍、インターネット上の小説読書理由

その他内容	件数
家で読めるから、外に出なくてよいかから	2
かさばらない	1
暇な時にその場ですぐに読むことが出来る	1
本を読みたくて不意に思ったから	1
本を読みたくて買ったり借りたりする時間が	1
持ち運んで移動中にも読める	1
二次創作などが好きだから	1

## 保護者

問5. 子どもが主に読んでいる本:その他

その他内容	件数
自分で気に入った本を買う、自分が興味のある本を買っている	2
あそべえにある本、マンガ	1
占いの本	1
英語の本	1
学童保育の本	1
サッカーの雑誌	1
ジブリマンガ	1
友人の勧め	1
趣味の本	1
チャレンジパッド内	1
出先で置いてある本	1
電子書籍	1
友達と貸し借りした本。	1
無記入	4

問8. 子どもの読書活動促進のためにおこなっていること

その他内容	件数
親が読んで楽しかった本を与える、同じ本を読んで、共通の話題にすること	6
子どもの好きそうな本を図書館で借りている、お勧めの本を図書館で借りてくる	5
子どもが自分でよく図書館に行っていた、休日は図書館に行く	2
祖父(母方)がよく本をプレゼントとして送って来てくれた	2
子どもが気に入った本があると、その本の作者について子どもと調べたり、他の作品を探した。	1
姉が本好きなので	1
生まれたての頃から読み聞かせをしていた。	1
下の子が本を借りに図書館へ行くと、兄のものも探して借りてくる。	1
自分が子どもの頃読んでいた絵本等を実家から送ってもらっている	1
ご褒美に本を買ってあげた。	1
読書会ボランティアの活動をしていた。	1
無記入	4

保護者

問10. 今後、子どもの読書活動を推進するためのほしい取組

今後、子どもの読書活動を推進するためのほしい取組:その他内容(数値は回答件数)	
学校の読書指導関連について	9
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語や社会、理科などの時間に子どもたちだけで教科書を読む時間が過ごせるような授業もあってよい</li> <li>・子どもが読み聞かせを行う。未就学児に?低学年の児童に?</li> <li>・授業内での読書の時間の確保</li> <li>・スマホがあるのであえて本を手取る機会が減ったかなと感じています。一人一人興味があることに関連した本を自分で選んで皆でワイワイ感想を言い合うなどはどうでしょう</li> <li>・低学年において自分が選んだ本(絵本)の読み聞かせを、子ども自身がクラスみんなにやるこの考えは高学年は恥ずかしさもあって向かないかも。高学年が低学年への読み聞かせをしてもいいかも。</li> <li>・読書時間の確保、タイプ別すいせん図書</li> <li>・図書を担任する先生の器量</li> <li>・パソコンではなく、本での調べ学習を充実してほしい。</li> <li>・読むことが人生においてなぜ必要・重要であるか子どもだけでなく理解すること。</li> </ul>	
学校図書館・図書関連について	9
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と市立図書館の連携い、予約の受け取りなど。市立図書館が遠くても大丈夫だから。</li> <li>・今の子どもたちが興味のあるものをジャンルを問わず置いておく。子どもたちから本のリクエストを聴く</li> <li>・子供を連れて市立図書館へ行く時間が取れない。親の負担軽減の為に、学校図書の時間が増えるとういのは?</li> <li>・桜野は人数が多いため自由に図書室に入出入りが出来ないのが残念。学校の図書館で子どもの興味に応えられる本探しを手伝う体制があればよい。</li> <li>・授業で先生が勧めてくれる本が学校図書室にないため購入している。ぜひ先生と連携して置いてほしい。市立図書館には、もう少し最新刊を置いてほしい。あまりにも昔のものばかりで足が遠のきます。</li> <li>・学校の図書室の本が少ないので増やしてほしい。</li> <li>・学校図書の貸出し制限を設けない。図鑑なども貸出しOKにするなど。何の種類から興味を持つかわからないのに、貸出し可能な本に制限を設けないでほしい。学校図書はすべて貸出しOKにするべき。</li> <li>・学校での読書の時間の確保</li> <li>・学校図書の時間の充実。小1になりぐっと減り、本人も親も残念に思っている。</li> </ul>	
お勧め本・本の紹介関連について	7
<ul style="list-style-type: none"> <li>・おすすめの本の紹介など</li> <li>・おすすめの本ランキング作製</li> <li>・新刊やお勧めの本の紹介</li> <li>・先輩からのおすすめを紹介</li> <li>・その学年に合った本の紹介</li> <li>・年齢別お勧めの本の紹介</li> <li>・本屋さんのあるようなおススメコメント。過去の課題図書の紹介。</li> </ul>	
本の貸出し・予約関連について	7
<ul style="list-style-type: none"> <li>・予約なしで、オンデマンドで借りられたら便利ですね。</li> <li>・図書館で人気の本は、予約しても数カ月以上待ちなので、可能ならもう少し増やしてほしい。</li> <li>・図書館で人気の本は貸出し中のことが多く、予約しても何週間か先になってしまい、なかなか読めないということが多い。</li> <li>・図書館では、読みたい本は予約しないとなかなか読めないなので、増冊してくれるとありがたい。</li> <li>・図書館を利用したいと思ってもずっと新聞をよんでいる老人がいて席が空いていないことがあるので対策をたててください</li> <li>・人気のある本が借りられないので、数を増やして下さい。借りた本の手帳など(学校)。借りる事が楽しくなるような工夫。</li> <li>・紹介があったり、人気の本が中々借りられないので興味が冷めないうちに借りられるとうれしい</li> </ul>	
図書・読書通帳の導入関連について	6
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある自治体で実施しているような読書通帳(貯金)や読書日記などあるとういと思います。</li> <li>・以前テレビで他の市の図書館の取り組みを見たが、図書カードが銀行通帳のようになっていて、今まで読んだ本を預金残高の冊数にして確認できたり、どんな本を読んだのかが見返せたりと子ども達も楽しめて、とても良さそうに思っていました。</li> <li>・他の自治体で導入されている「読書通帳」をぜひ導入してほしい。</li> <li>・他の図書館で返却したい。通帳型の貸出履歴記入帳にしてほしい。</li> <li>・読書履歴がわかる通帳があったらいい</li> <li>・図書預金通帳の導入</li> </ul>	



図書のイベント関連について	5
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生にも本の渡しがあるとよい、選べるとか。</li> <li>・図書館でのイベントなど</li> <li>・作家の方との交流</li> <li>・中・高校生向きの本のイベント</li> <li>・マンガに手がのびてしまうが、マンガ以外の本や長文の楽しさを伝えるイベントや活動。</li> </ul>	
蔵書冊数関連について	4
<ul style="list-style-type: none"> <li>・吉祥寺図書館の児童書をもっと多くしてほしい。中央図書館にしかいい本がないと遠くまでわざわざ行ってしまう。</li> <li>・吉祥寺の蔵書が少ない</li> <li>・学童の図書</li> <li>・洋書(特に小学～高校)の本がまったくないので入れてほしい</li> </ul>	
コミセン・学童保育での読書環境関連について	3
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミセン・・・本の種類を増やしてほしい。</li> <li>・本の贈呈 コミセン…子供にやさしくない所が多すぎる。子供が行けない場所。</li> <li>・あそべえでの本の充実</li> </ul>	
市の図書館施設数関連について	3
<ul style="list-style-type: none"> <li>・武蔵野市は図書館が少なすぎ。学校図書室の常設開設、司書の常時在籍を強く望みます。あんなにいい図書室があるのに自由に使えないのはもったいない。</li> <li>・西部図書館の復活</li> <li>・出張図書館</li> </ul>	
読書環境関連について	2
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実は一番本が読まれている病院、レストラン、駅などへのよい本の設置</li> <li>・児童のスペースをもう少しガチャガチャしても良い環境になると、もっと行きやすいです。</li> </ul>	
その他	8
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校からの情報、で読みたい本が増えているので、ありがたいです。</li> <li>・駅近くに返却ポストがほしい。</li> <li>・スマホの抑制実施</li> <li>・本宿は昼休み以外は決まった曜日しか借りられなくてとても残念。(外遊び推奨のため)本に触れる機会を奪っていると思う</li> <li>・本に出てくる食事が給食に出る自治体があり、よい取組みだと思う</li> <li>・今のままで十分</li> <li>・充実している</li> <li>・推進する必要はない。好きなものは人それぞれ。</li> </ul>	
無記入	3



## 武蔵野市子どもの読書活動に関する調査

発行年月 令和2（2020）年3月  
発行 武蔵野市教育委員会教育部図書館  
武蔵野市吉祥寺北町4丁目8番3号  
0422-51-5145